

**第二期南あわじ市  
子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査結果報告書**

**平成 31 年 3 月  
兵庫県 南あわじ市**



# 目 次

<b>第1章 調査実施の概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
3 調査票の配布と回収状況.....	4
4 報告書の見方について.....	4
(1) 年齢・学年の定義.....	4
(2) 電算処理の注意点.....	4
(3) グラフの見方について.....	5
5 調査対象者の属性・家族状況.....	5
(1) 子どもについて.....	5
(2) 居住地区.....	6
(3) 調査回答者について.....	7
6 調査結果からみた課題・分析.....	9
<b>第2章 子育て家庭を取り巻く環境</b> .....	<b>13</b>
1 子育ての環境について.....	13
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況.....	13
(2) 子育てに関する相談者の状況.....	16
2 主な保育者とその就労状況.....	17
(1) 就学前児童の母親の就労状況.....	17
(2) 就学前児童の父親の就労状況.....	20
<b>第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望</b> .....	<b>25</b>
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望.....	25
(1) 平日の定期的な教育・保育事業.....	25
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由.....	28
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	31
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	31
(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）.....	33

3	地域の子育て支援事業の利用状況.....	34
	(1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況.....	34
	(2) 今後の利用意向.....	35
	(3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用意向について.....	36
4	病児・病後児保育事業の潜在ニーズ.....	37
	(1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処について.....	37
5	不定期の一時保育の利用について.....	40
	(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況.....	40
	(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況.....	43
6	放課後の過ごし方について.....	45
	(1) 平日の放課後の過ごし方について.....	45
	(2) 平日の放課後の過ごし方の希望.....	47
	(3) 土曜日、日曜・長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望.....	52
<b>第4章 育児休業制度の利用状況.....</b>		<b>57</b>
1	育児と仕事の両立支援制度について.....	57
	(1) 育児休業制度の利用状況.....	57
2	子育ての環境や支援への満足度.....	62
<b>第5章 子ども・子育て支援に関する自由意見.....</b>		<b>67</b>
1	就学前児童の保護者の自由意見.....	67
	(1) 共起ネットワーク.....	67
	(2) 就学前児童の保護者の自由意見.....	68
2	小学生の保護者の自由意見.....	70
	(1) 小学生の保護者の自由意見.....	70
<b>資料編.....</b>		<b>73</b>
1	就学前児童の調査票.....	73
2	小学生の調査票.....	77

# 第1章

## 調査実施の概要



# 第1章 調査実施の概要

## 1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、平成27年3月に「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいますが、本計画が平成27年度から31年度までの5か年計画であることから、2020年度を始期とする第2期計画の策定を予定しています。

第2期計画策定にあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭のニーズの動向分析等を行い、本市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題の整理を目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

## 2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数および調査期間・方法は、以下のとおりです。

### ■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査のお願い」 (就学前児童の保護者の方へ)	
調査対象者	平成30年4月2日時点で南あわじ市に在住の就学前児童を持つ世帯 (無作為抽出)
調査票配布数	1,000人
調査期間	平成31年1月10日～平成31年1月21日
調査方法	園を通じ配布・回収
②調査票「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査のお願い」 (小学生の保護者の方へ)	
調査対象者	平成30年4月2日時点で南あわじ市に在住の放課後児童クラブ利用児 を持つ世帯(無作為抽出)
調査票配布数	200人
調査期間	平成31年1月10日～平成31年1月21日
調査方法	放課後児童クラブを通じ配布・回収

### 3 調査票の配布と回収状況

調査対象者別による配布・回収状況は、以下のとおりです。

#### ■ 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	1,000	670	67.0
小学生の保護者	200	140	70.0

### 4 報告書の見方について

#### (1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	平成29年4月以降	6歳児	平成23年4月～平成24年3月
1歳児	平成28年4月～平成29年3月	7歳児	平成22年4月～平成23年3月
2歳児	平成27年4月～平成28年3月	8歳児	平成21年4月～平成22年3月
3歳児	平成26年4月～平成27年3月	9歳児	平成20年4月～平成21年3月
4歳児	平成25年4月～平成26年3月	10歳児	平成19年4月～平成20年3月
5歳児	平成24年4月～平成25年3月	11歳児	平成18年4月～平成19年3月

(注) 調査期間【平成30年度】における年齢定義

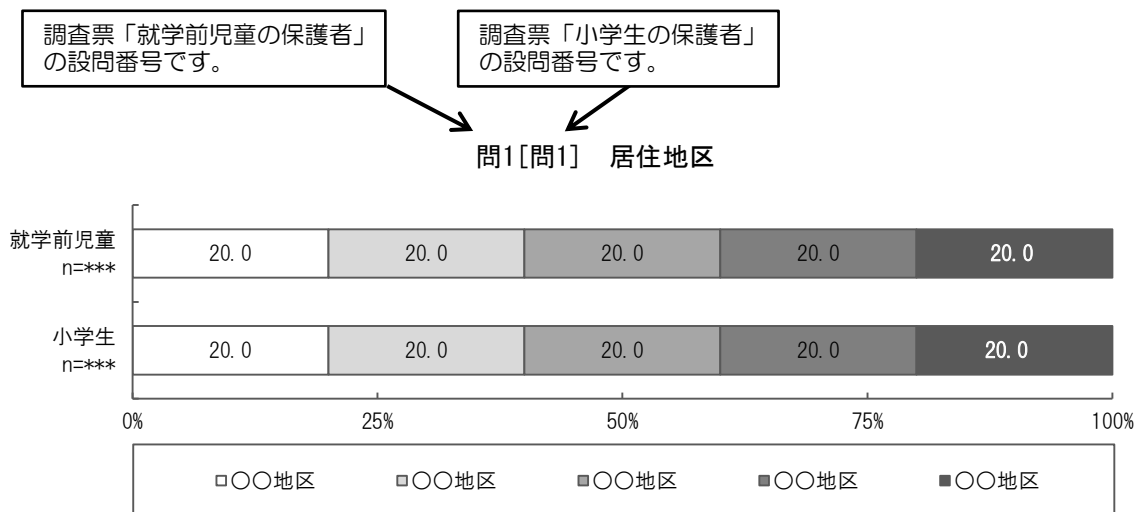
#### (2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。



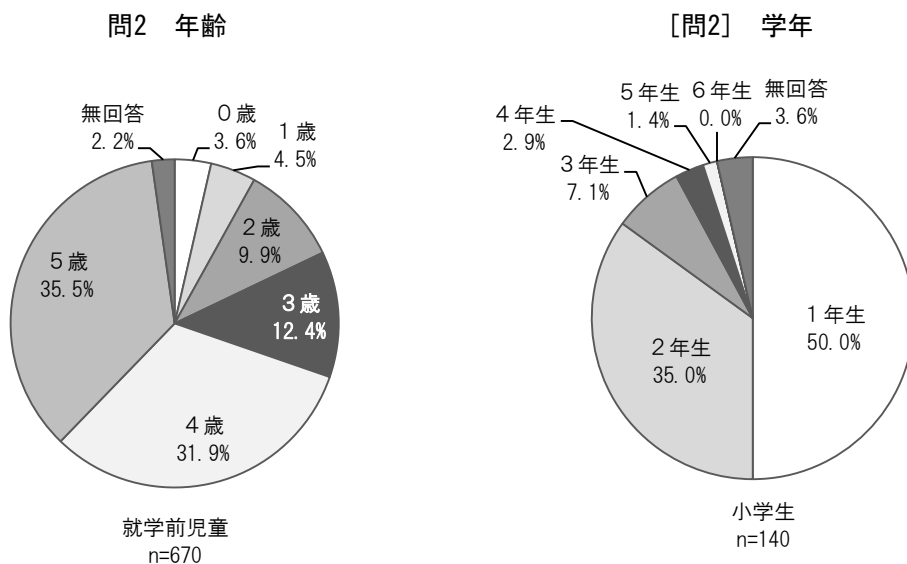
(3) グラフの見方について



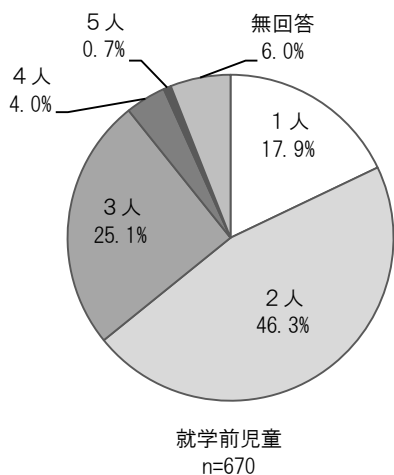
5 調査対象者の属性・家族状況

(1) 子どもについて

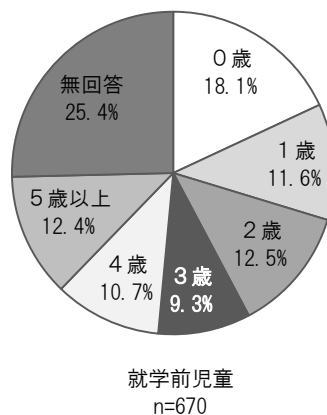
○就学前児童670人、小学生140人の内訳は、以下のとおりです。



問3 子どもの人数



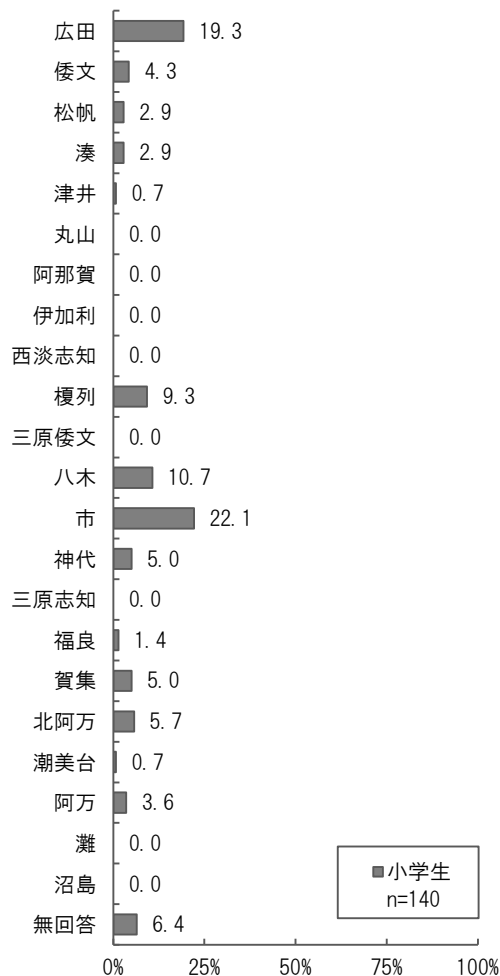
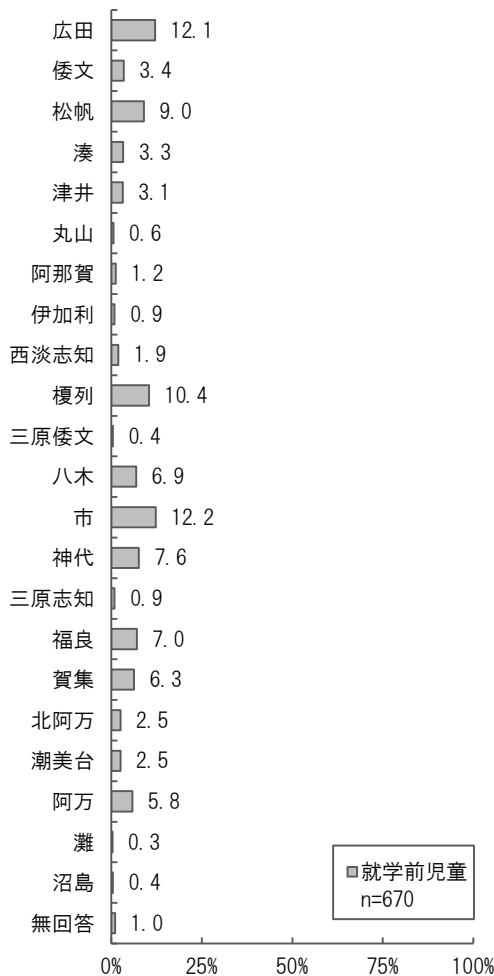
問3.1 末子の年齢



(2) 居住地区

○居住地区は以下のとおりです。

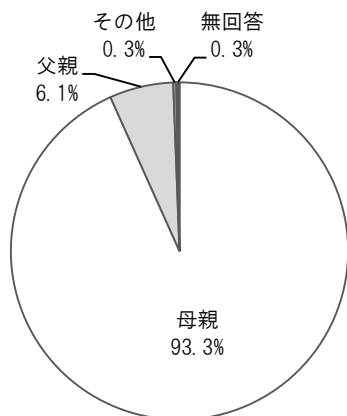
問1[問1] 居住地区



### (3) 調査回答者について

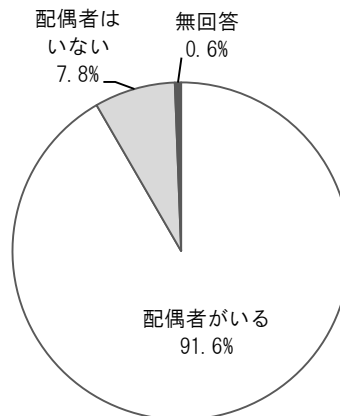
○回答された方は以下のとおりです。

問4 調査回答者（就学前児童）



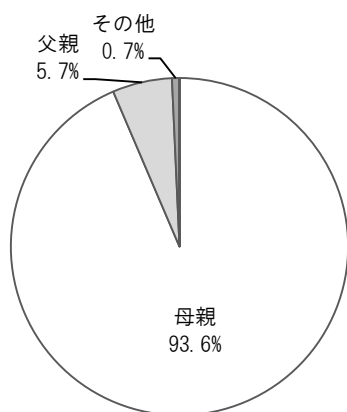
就学前児童  
n=670

問5 配偶者の有無（就学前児童）



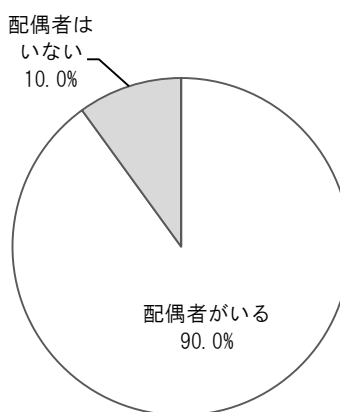
就学前児童  
n=670

[問3] 調査回答者（小学生）



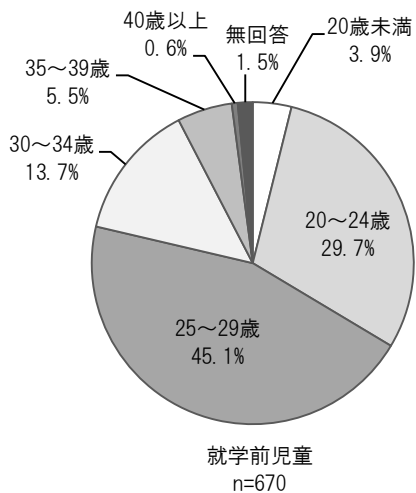
小学生  
n=140

[問4] 配偶者の有無（小学生）

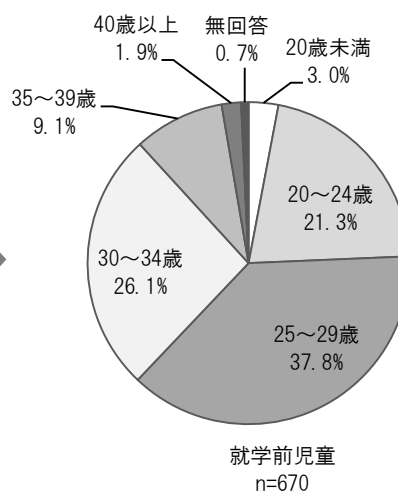


小学生  
n=140

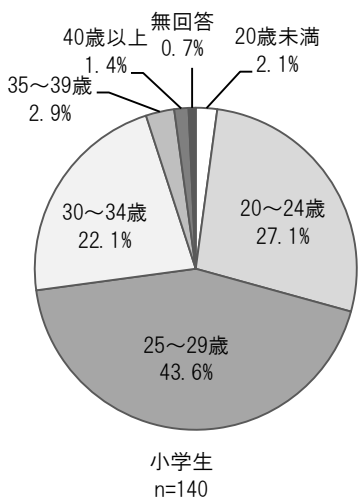
問6.1 母親の初婚年齢（就学前児童）



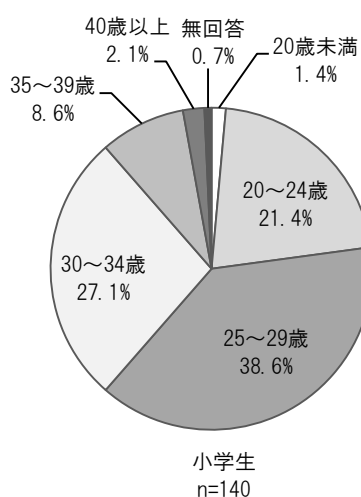
問6-1 第1子出産時の母親の年齢（就学前児童）



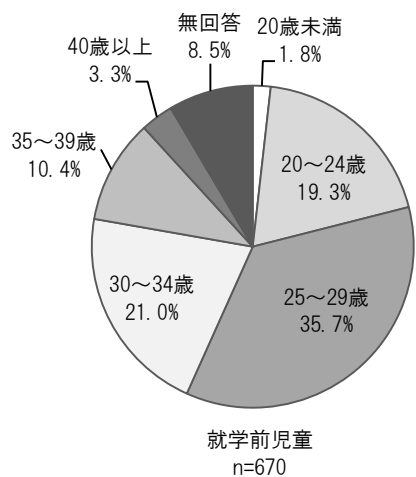
[問5.1] 母親の初婚年齢（小学生）



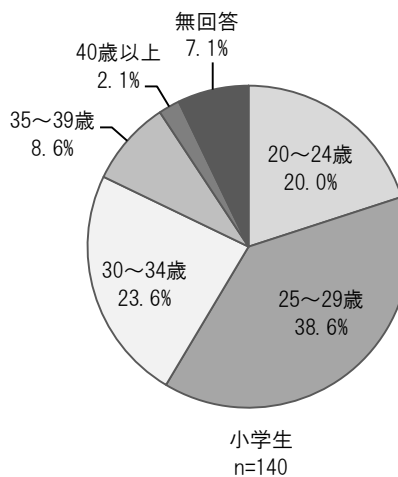
[問5-1] 第1子出産時の母親の年齢（小学生）



問6.2 父親の初婚年齢（就学前児童）



[問5.2] 父親の初婚年齢（小学生）



## 6 調査結果からみた課題・分析

### 課題1 子育て中の保護者からの視点に立った施策展開

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度をみると、就学前児童保護者と小学生保護者ともに「不満+やや不満」よりも「満足度が高い+やや満足」が上回る結果となっています。また平均点（「満足度が高い」を5点とする5点満点）をみると、就学前児童は3.53点、小学生は3.27点となり、「普通（3点）」より高い結果となっています。

さらに評価を引き上げるためには、子育て中の保護者の視点に立った施策展開が必要となります。【p.62問31[問18]】

### 課題2 ニーズに対応した認定こども園、認可保育所、幼稚園等の整備

平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望の比率をみると、すべての事業で利用希望が利用状況を上回っており、特に「認可保育所【私立】」で50.5<sup>ポイント</sup>増、「幼稚園の預かり保育」で48.8<sup>ポイント</sup>増、「認定こども園」で38.8<sup>ポイント</sup>増と大幅に伸びとなっています。その要因として、「無償であれば、利用したい」と回答した方が各事業において1～4割程度いることがあげられます。

国が掲げる教育・保育の無償化を見据え、利用者ニーズに対応できるよう「認定こども園」「認可保育所」「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」等の整備について検討することが必要です。【p.25問16-1、p.29問17】

### 課題3 放課後児童クラブを充実させる事業内容の検討

放課後の過ごし方の希望をみると、就学前児童では小学校低学年のうちは「放課後児童クラブ」を36.1%が希望していますが、小学校高学年になると18.4%に留まり、17.7<sup>ポイント</sup>減少しています。その一方で、「自宅」「塾や習い事」等の希望が増加しています。また、現在利用している小学生の利用状況と利用希望の差をみると、利用終了時間において差が大きく、「18時台」までの利用を希望しています。（低学年時期37.9%・高学年時期39.0%）

安全な放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ」が一定の役割を担っていることから、利用時間等を含めた事業のあり方について検討する必要があります。

【p.25 [問12] p.47問27、問28、[問14、問15]】

### 課題4 就学前児童の母親の就労状況に応じた教育・保育事業の運営

日常的に子育てに関わっている割合が大きい母親の就労状況をみると、85.3%の母が就労しています。その就労時間は「9時間」までが9割を超え、そのうち「8～9時間」が32.4%となっていることから、就業時間終了まで預けられるような教育・保育事業の運営のあり方について検討することが必要です。また、就労日数では「6日以上」が11.2%いることから、土曜日と日曜・祝日の運営が必要です。

【p.13問7、p.17問13、p.18問13-1】

## 課題5 経済的な理由で教育・保育事業を利用できない家庭への支援

---

定期的な教育・保育等を利用しない理由の中で、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」と回答した方は、3.3%となっています。

ごく少数ですが、このような家庭に対して適切な教育・保育事業を利用できるよう、公的な経済的支援の検討が必要です。【p.28問16-3】

## 課題6 子育てに関する公的な相談体制

---

子育てする上で気軽に相談できる相手がいないと回答した方は、就学前児童で3.4%、小学生で5.7%います。気軽に相談できる相手としては「祖父母等の親族」「友人や知人」が多くなっていますが、相談機能の役割を担っている「子育て支援施設の職員」(5.3%)、「市役所の窓口」(0.9%・0.8%)の利用は、非常に少ない状況となっています。

このような状況を脱するためには、子育て中の保護者の視点からみた公的な相談機関のあり方を再検討することが必要です。【p.16問10、問10-1[問9、問9-1]】

## 課題7 「子育て学習・支援センター」に対する利用者増対策

---

地域の子育て支援拠点事業である「子育て学習・支援センター」の利用割合は6.7%となっています。新たな利用希望が14.6%と低率に留まっている一方で、利用者45人中16人(35.6%)が利用回数を増やしたいと回答しています。また、この事業には子育て支援の相談機能もあり気軽に相談できる環境が整っているため、保護者の相談相手として十分な役割が担うことができます。

「子育て学習・支援センター」の利用については、多くはないものの一定の利用があります。約9割の未利用の理由については、本当に必要ないから利用しないのか、利用しづらい状況なのか、検証が必要です。加えて、保護者に対する利用勧奨の取組も必要となります。【p.34問18、p.35問19】

## 課題8 利用率が低い事業に対する利用向上をめざす対策

---

周知度は高いのに利用が少ない事業は、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」「保育所、幼稚園、こども園の園庭等の開放」「子育て支援ハンドブック」「母親学級および保健センターの情報・相談サービス」などがあげられ、その差は30ポイントを超えています。

該当事業の利用率向上のためには、利用者の視点に立った事業内容であるかを再検討するとともに、事業内容を理解してもらえるような周知のあり方を検討する必要があります。【p.36問20】

## **第2章**

# **子育て家庭を取り巻く環境**



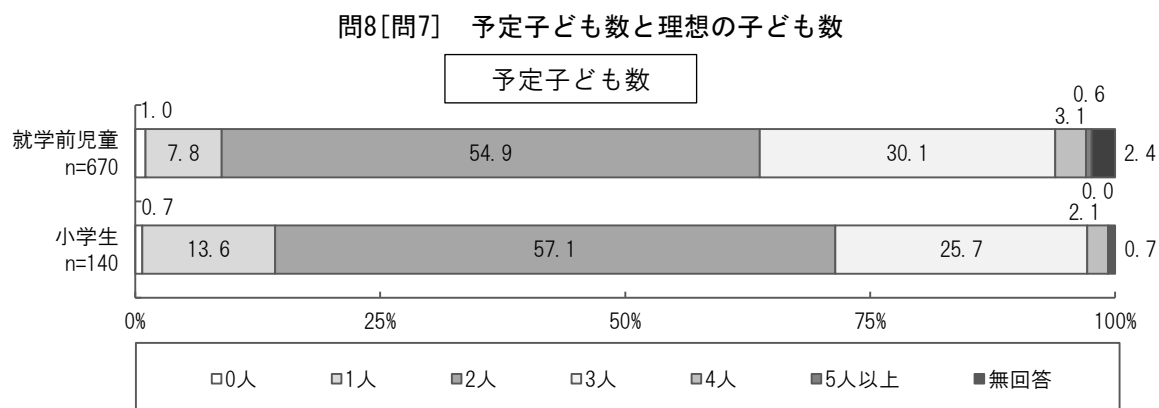
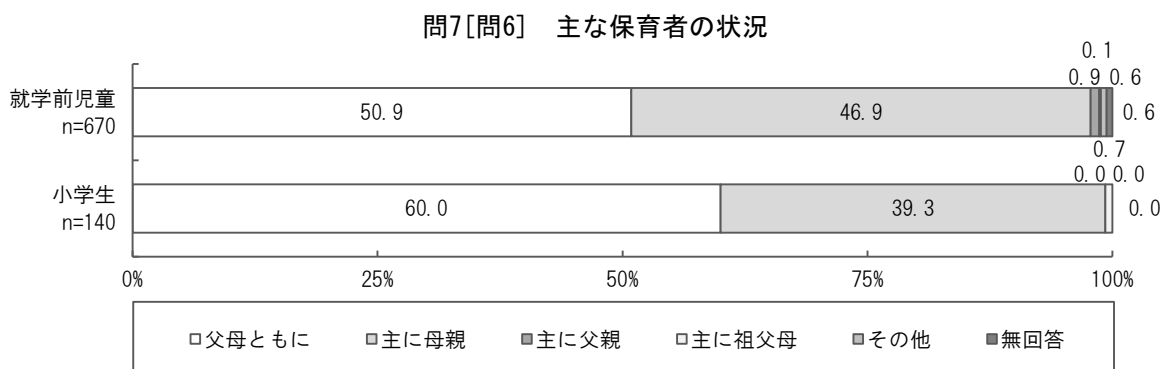


## 第2章 子育て家庭を取り巻く環境

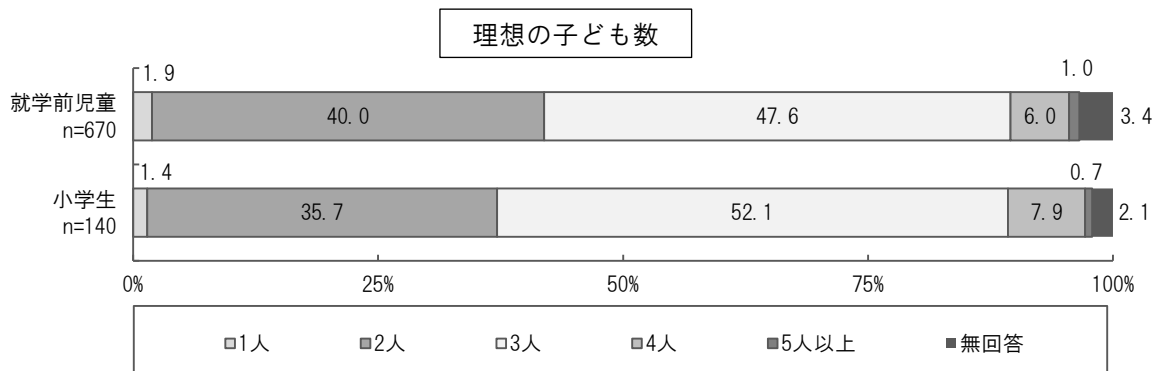
### 1 子育ての環境について

#### (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

- 主な保育者の状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「父母ともに」「主に母親」で9割以上を占めています。
- 予定子ども数をみると、就学前児童・小学生いずれも「2人」(54.9%・57.1%)の割合が最も高く、半数以上を占めています。
- 理想の子ども数をみると、就学前児童・小学生いずれも「3人」(47.6%・52.1%)の割合が最も高くなっています。

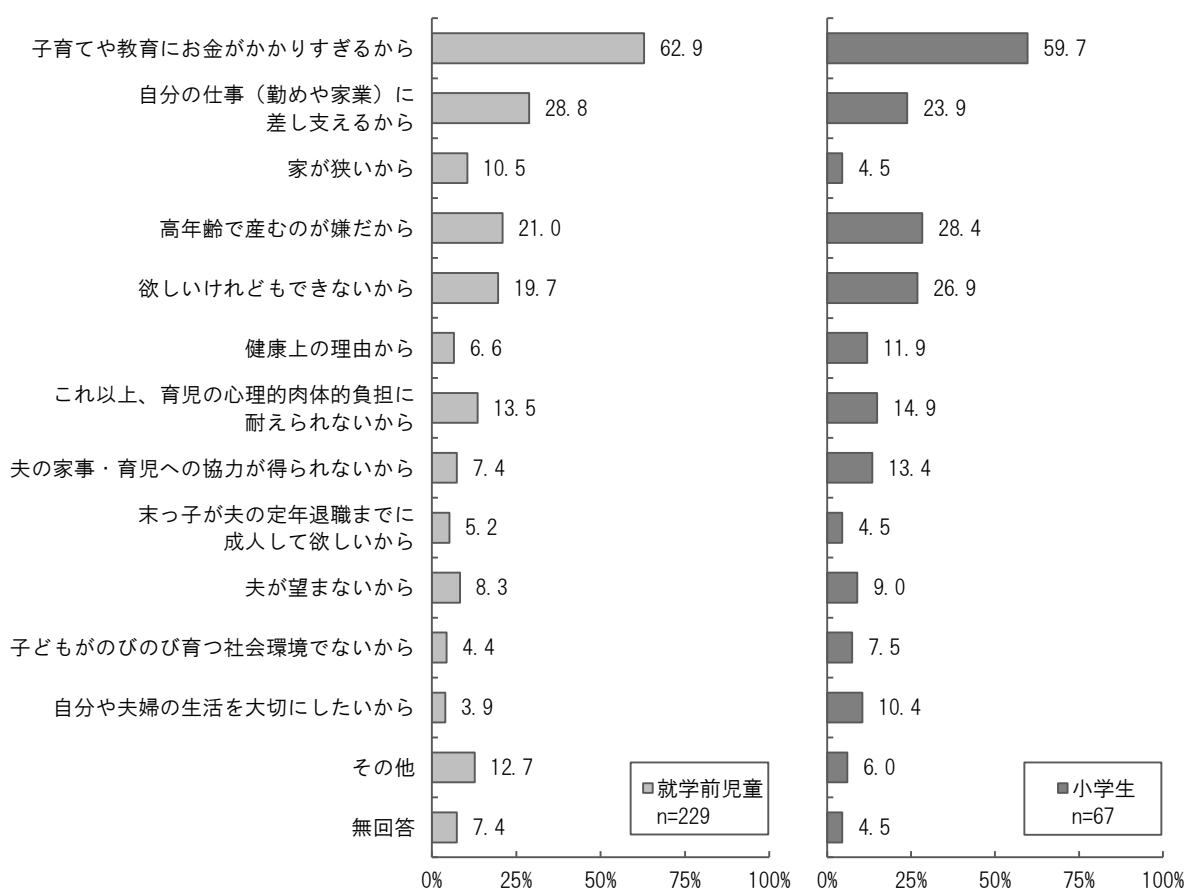


※予定子ども数…夫婦が実際に持つつもりの子どもの数



○予定子ども数が理想子ども数を下回る理由をみると、就学前児童・小学生いずれも「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(62.9%・59.7%)の割合が最も高くなっています。次いで就学前児童では、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」(28.8%)、「高年齢で産むのが嫌だから」(21.0%)、「欲しいけれどもできないから」(19.7%)となっています。小学生では、「高年齢で産むのが嫌だから」(28.4%)、「欲しいけれどもできないから」(26.9%)、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」(23.9%)となっており、順番は違うものの同じ理由が上位4位までに入っています。

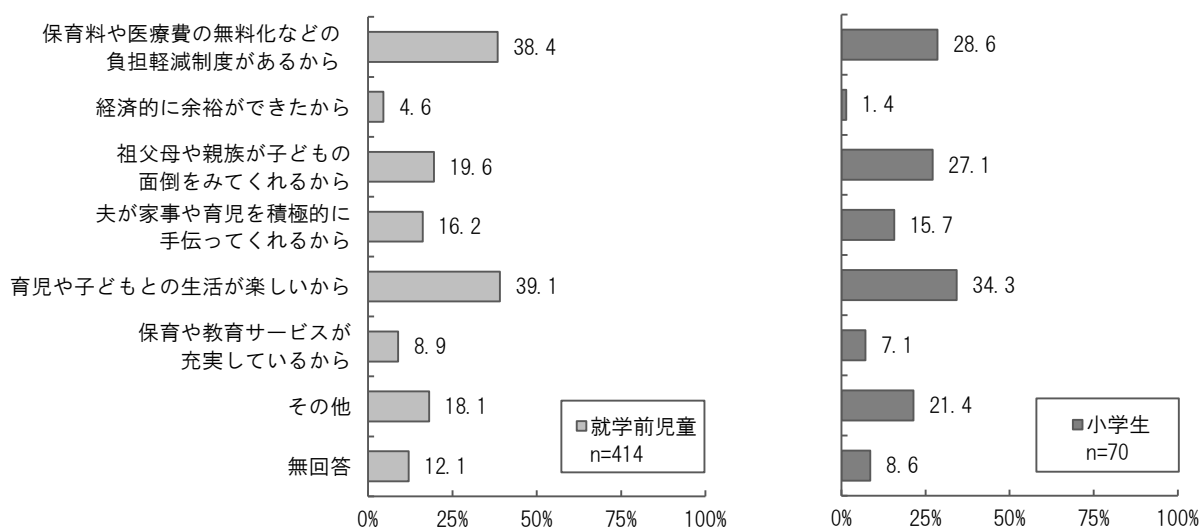
問8-1[問7-1] 予定子ども数が理想子ども数を下回る理由



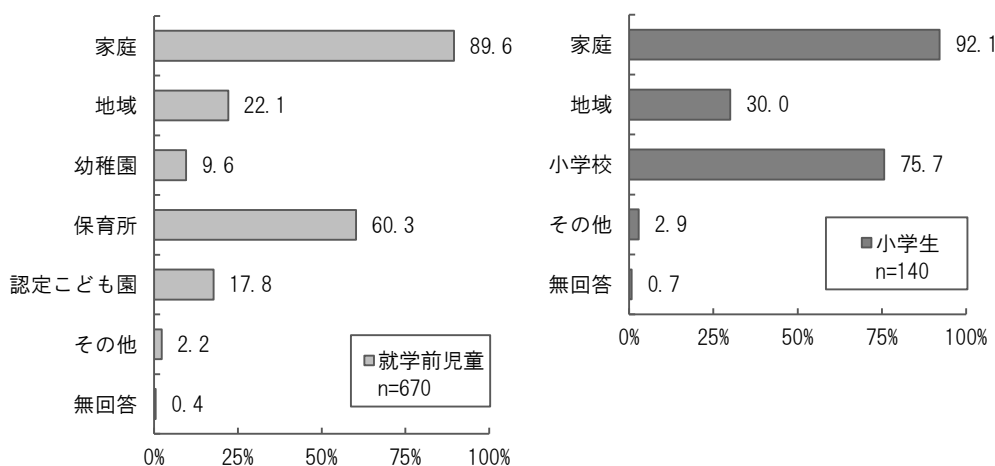
○予定子ども数が理想子ども数を上回る理由をみると、就学前児童・小学生いずれも「育児や子どもとの生活が楽しいから」(39.1%・34.3%)の割合が最も高く、次いで「保育料や医療費の無料化などの負担軽減制度があるから」(38.4%・28.6%)、「祖父母や親族が子どもの面倒をみてくれるから」(19.6%・27.1%)となっています。

○子育てに影響を与えると思う環境は、就学前児童・小学生いずれも「家庭」(89.6%・92.1%)の割合が最も高く、次いで就学前児童では「保育所」(60.3%)、小学生では「小学校」(75.7%)となっています。

問8-2[問7-2] 予定子ども数が理想子ども数を上回る理由



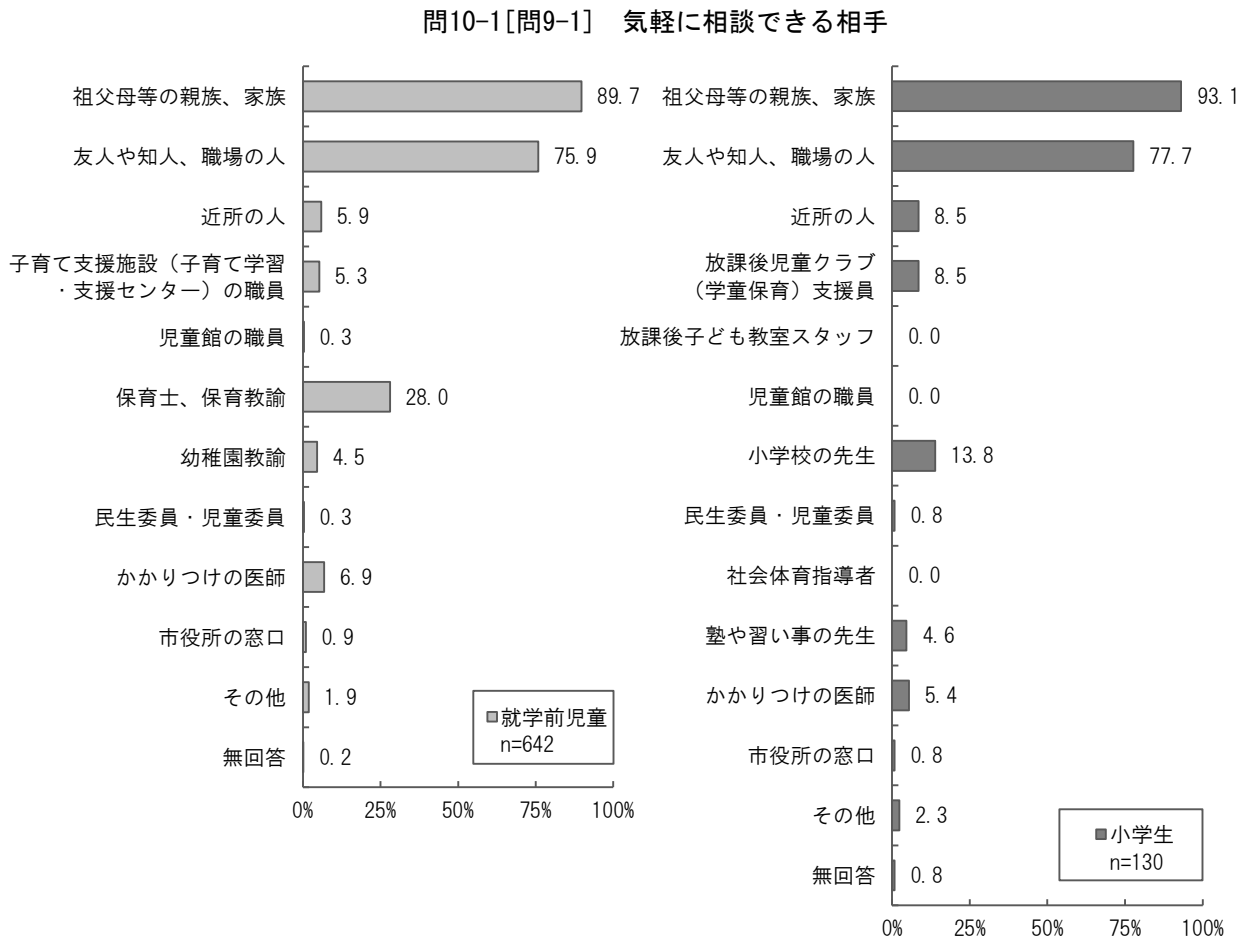
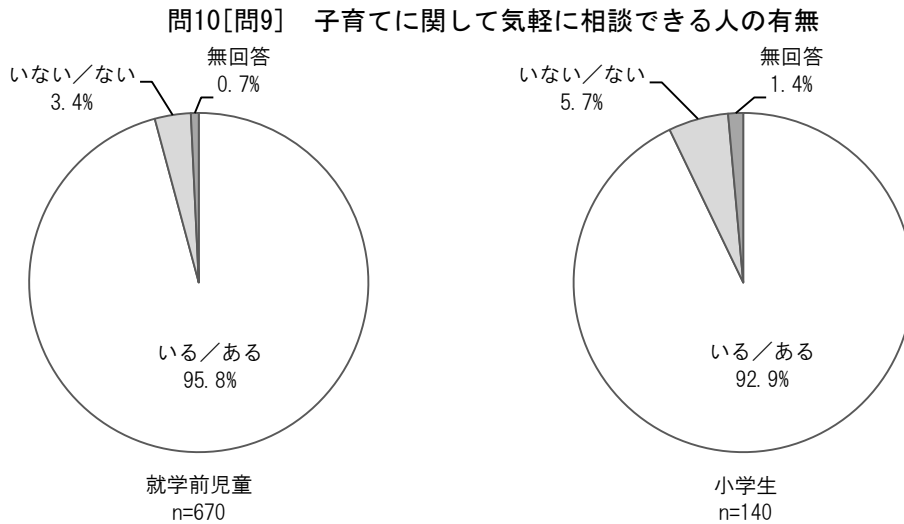
問9[問8] 子育てに影響を与えると思う環境



## (2) 子育てに関する相談者の状況

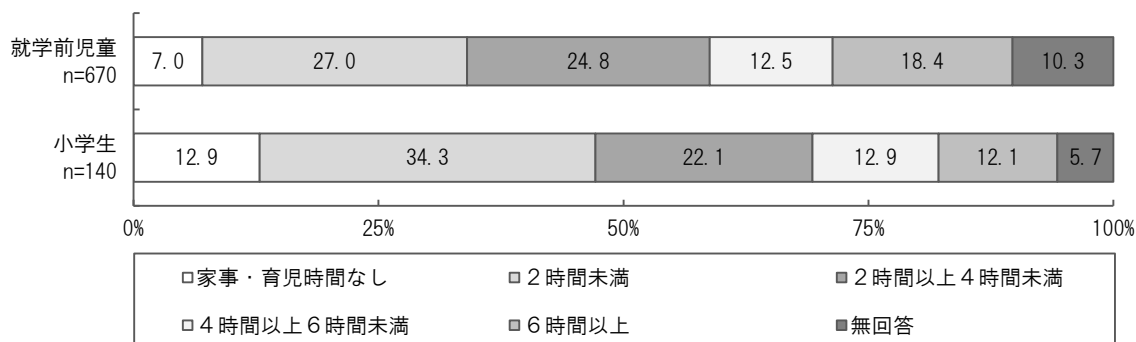
○気軽に相談できる人の有無をみると、就学前児童・小学生いずれも「いる／ある」(95.8%・92.9%)と回答した方は9割以上を占めています。

○気軽に相談できる相手をみると、就学前児童・小学生いずれも「祖父母等の親族」(89.7%/93.1%)の割合が最も高く、次いで「友人や知人、職場の人」(75.9%・77.7%)となっています。



○父親の休日の家事・育児の時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「2時間未満」(27.0%・34.3%)の割合が最も高く、次いで「2時間以上4時間未満」(24.8%・22.1%)となっています。

問11[問10] 父親の休日の家事・育児の時間(1日当たり)



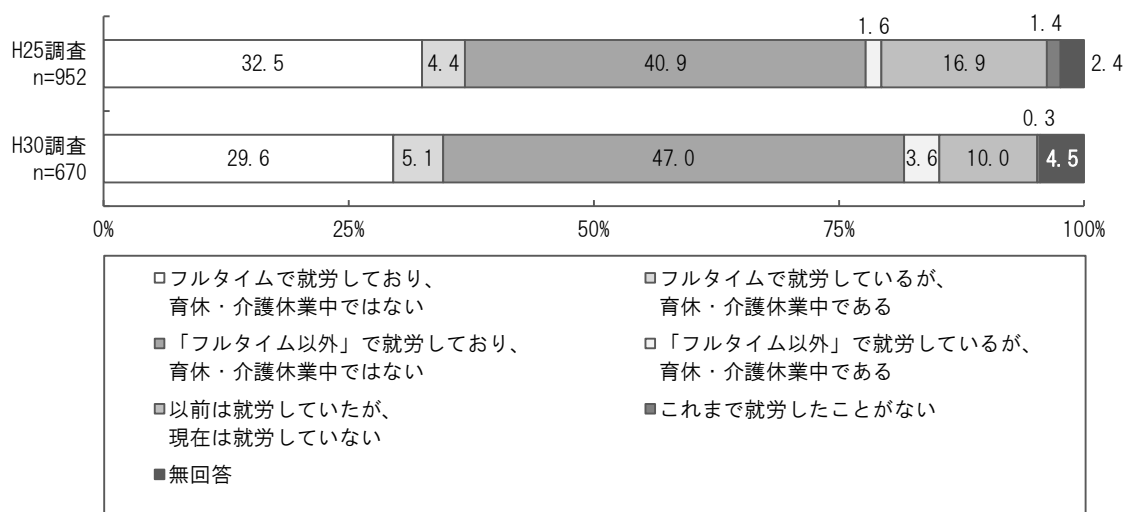
## 2 主な保育者とその就労状況

### (1) 就学前児童の母親の就労状況

○母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「フルタイム以外で就労している」を合わせた現在就労している方は、85.3%となっています。そのうち産休・育休・介護休業を取得中の方は、8.7%となっています。

○前回調査と比較すると、就労している母親の割合は、5.9ポイント高くなっています。また、産休・育休・介護休業を取得中の母親の割合は2.7ポイント高くなっています。

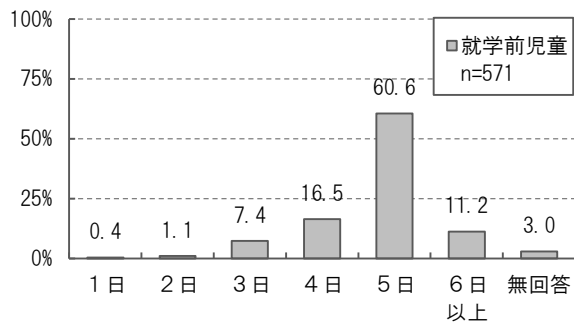
問13 就学前児童の母親の就労状況(経年比較)



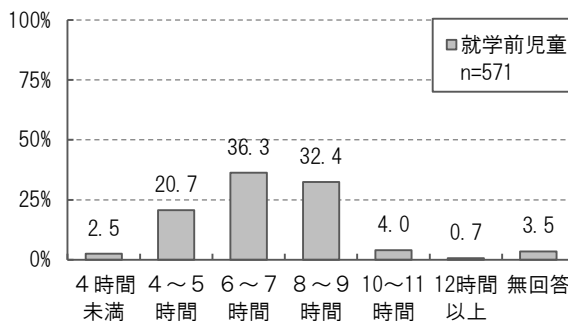
○母親の就労日数と就労時間をみると、「5日」（60.6%）、「6～7時間」（36.3%）の割合が最も高くなっています。

○「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた「フルタイムへの転換希望」がある母親は、36.2%となっています。

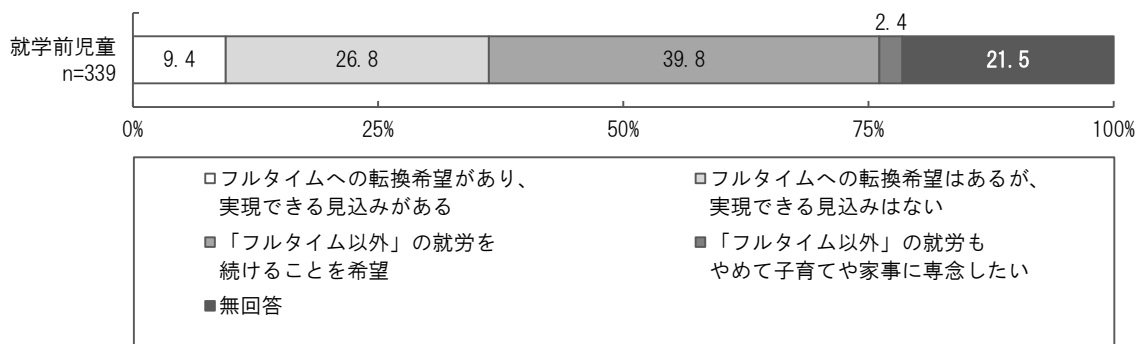
問13-1 母親の就労日数（1週当たり）



問13-1 母親の就労時間（1日当たり）



問14 母親のフルタイム勤務に対する意向

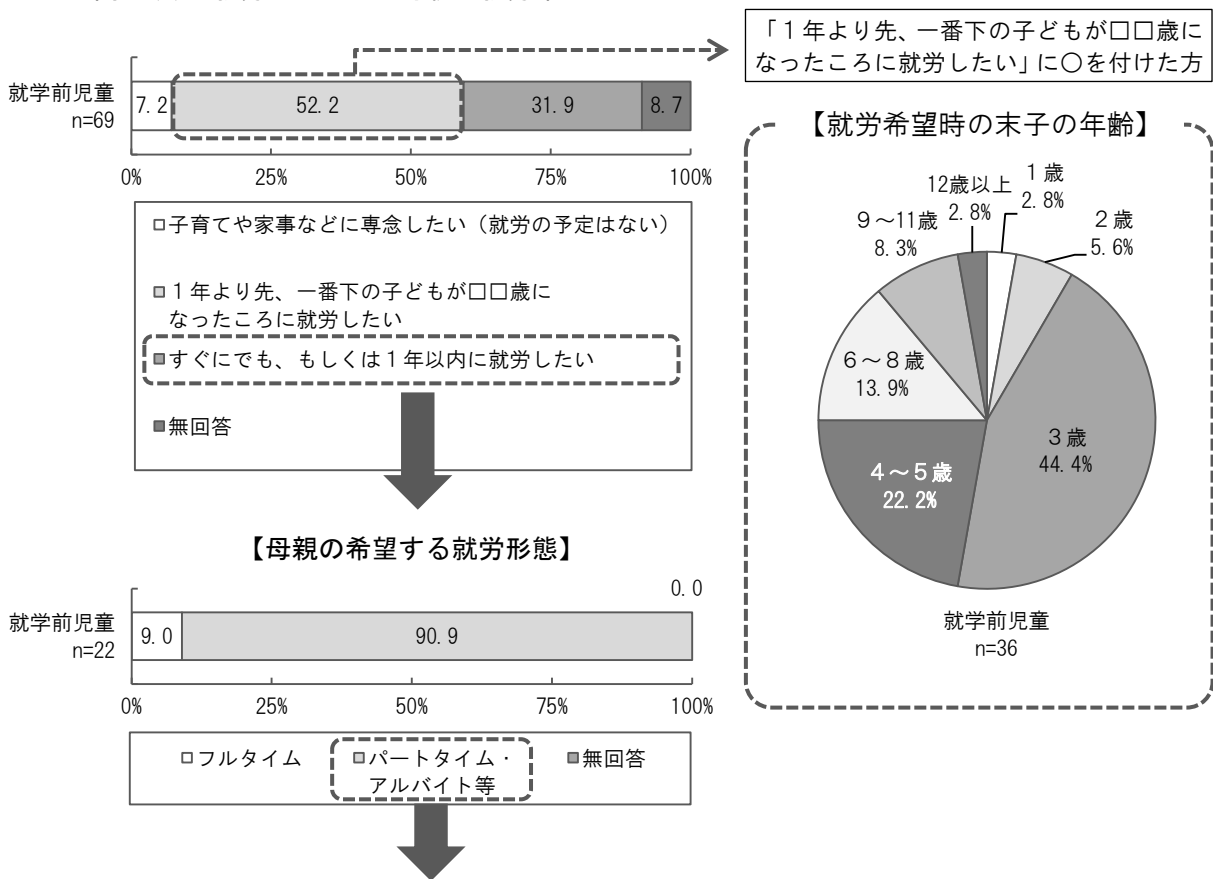


○現在は就労していないが今後の就労希望がある就学前児童の母親は84.1%（「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい（52.2%）」+「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい（31.9%）」となっています。「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」母親が希望する就労時期の子ども年齢は「3歳」（44.4%）の割合が最も高くなっています。「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」母親が希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」（51.7%）、「フルタイム」（3.4%）となっています。

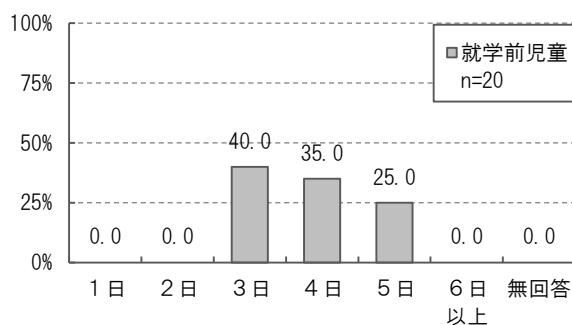
○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の1週当たりの希望就労日数をみると、「3日」「4日」（各36.7%）の割合が最も高くなっています。

○1日当たりの希望就労時間は、「4～5時間」（66.7%）の割合が最も高く、次いで「6～7時間」（23.3%）となっています。

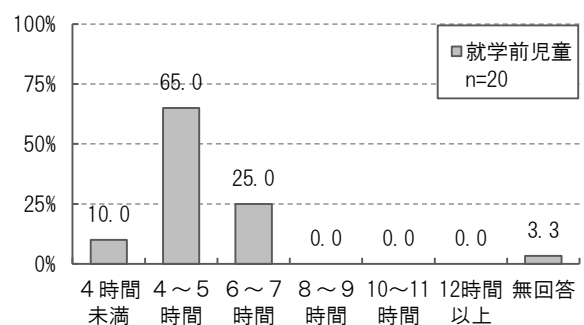
問15(1) 就労していない母親の就労希望



問15(1) パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数（1週当たり）



問15(1) パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間（1日当たり）



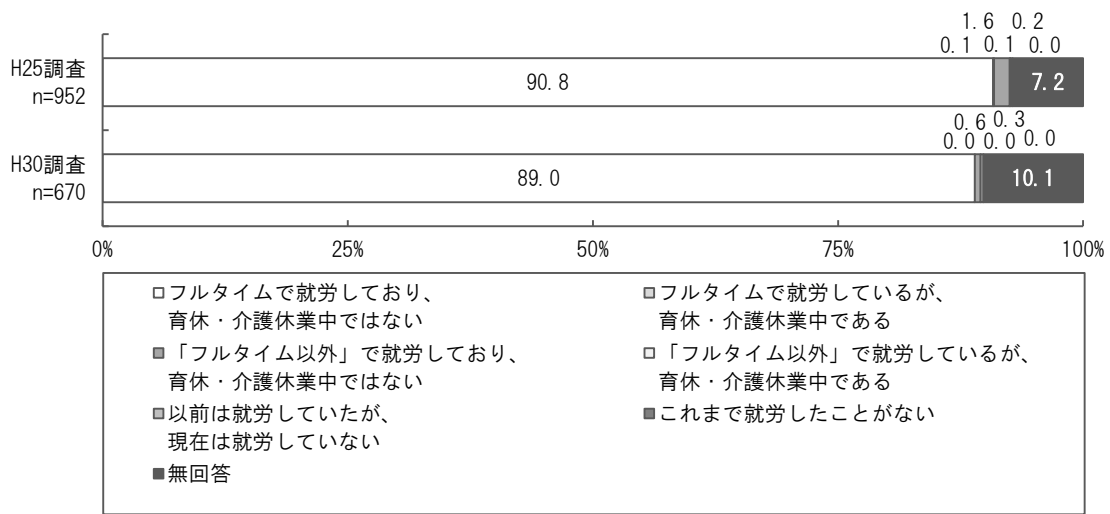
## (2) 就学前児童の父親の就労状況

○父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労している」「フルタイム以外で就労している」を合わせた現在就労している方は、89.6%となっています。

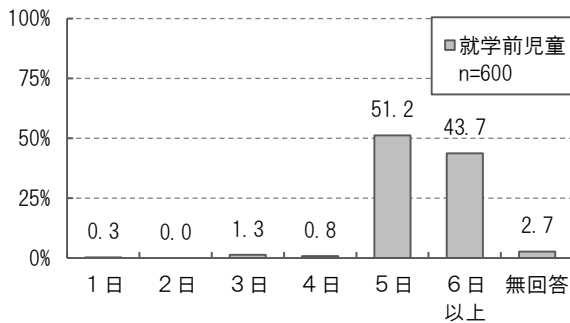
○父親の就労日数をみると、「5日」および「6日」と回答した方が9割以上を占めています。また、就労時間をみると、「8～9時間」（59.0%）の割合が最も高くなっています。

○フルタイム勤務への転換意向をみると、回答者4人のうちの1人が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答しています。

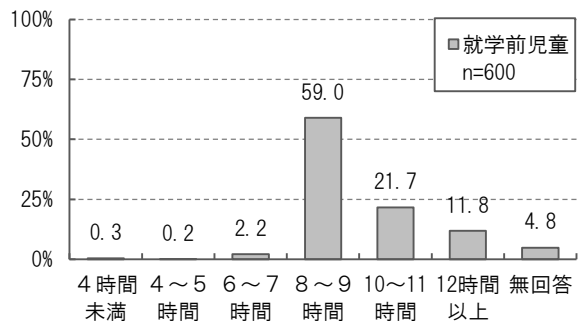
問13 就学前児童の父親の就労状況



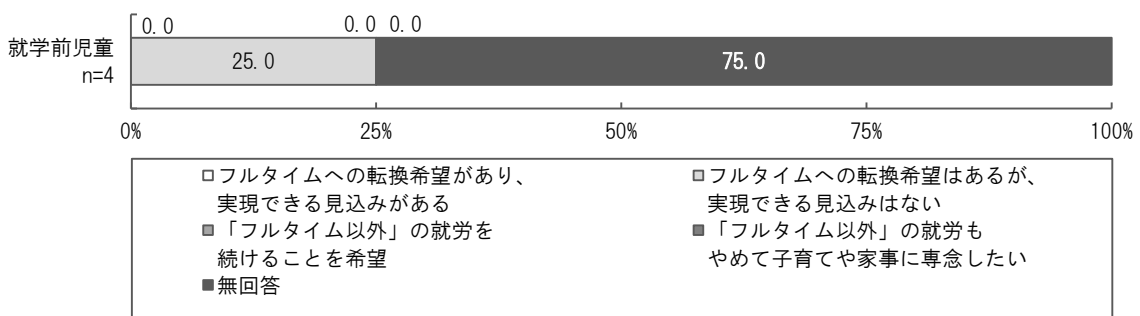
問13-1 父親の就労日数（1週当たり）



問13-1 父親の就労時間（1日当たり）



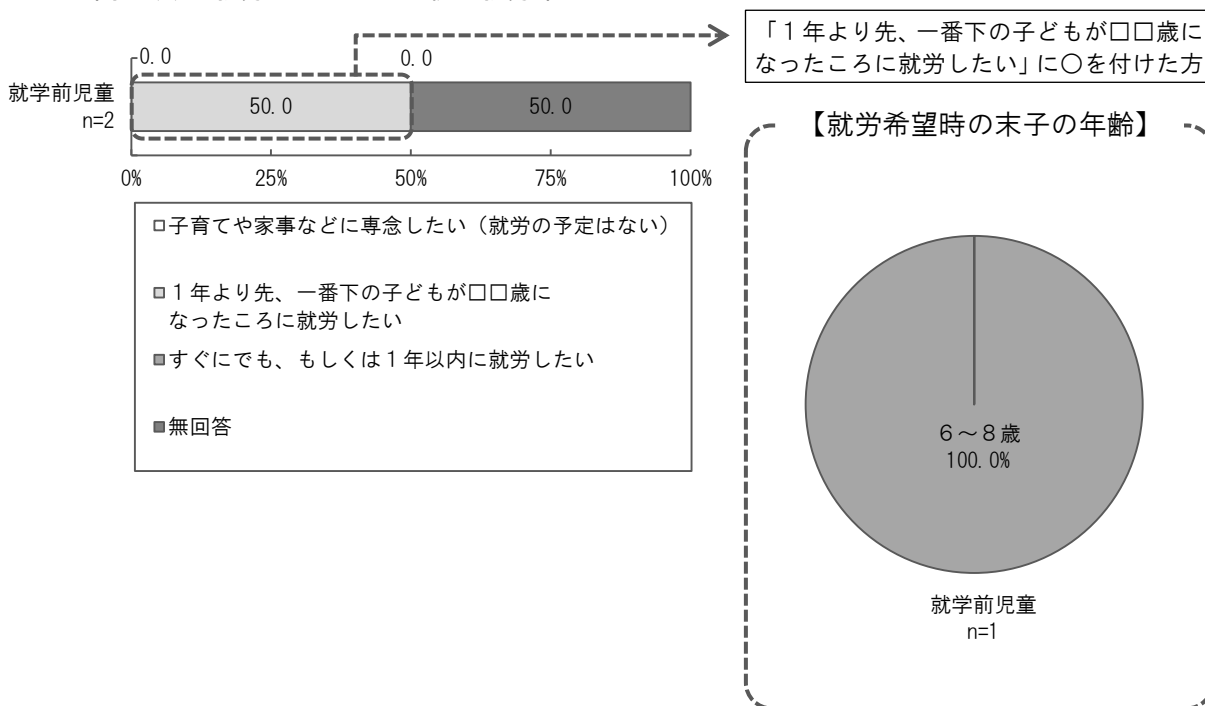
問14 父親のフルタイム勤務に対する意向





○現在就労していない父親の今後の就労意向は、以下のとおりです。

問15(2) 就労していない父親の就労希望



※『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

**第3章**  
**子育て支援サービスの現状と**  
**今後の利用希望**



## 第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

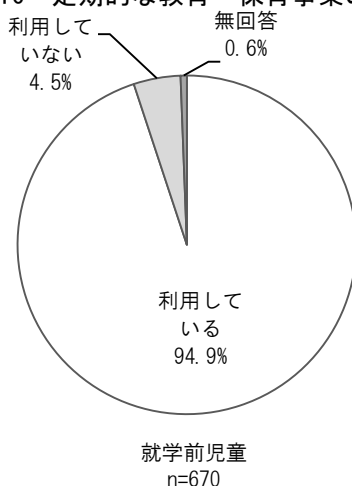
#### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

○定期的な教育・保育事業を「利用している」は94.9%となっています。

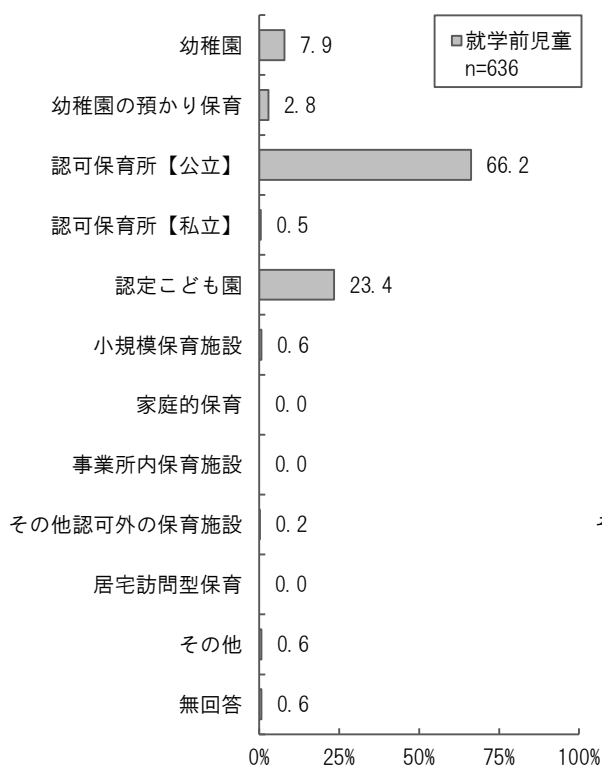
○利用中の事業をみると、「認可保育所【公立】」(66.2%)の割合が高くなっています。

また、最も希望する教育・保育事業においても、「認可保育所【公立】」(30.7%)の割合が高く、次いで「認定こども園」(15.1%)となっています。

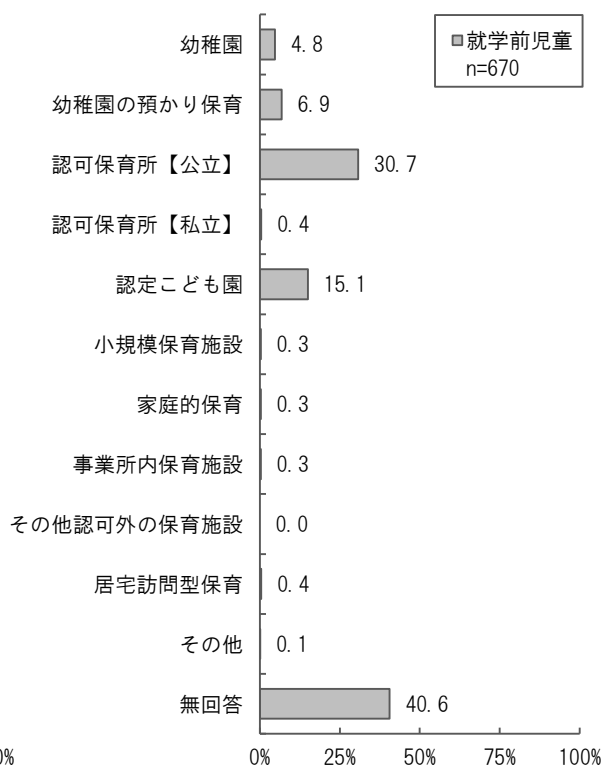
問16 定期的な教育・保育事業の利用状況



問16-1 定期的な教育・保育事業の利用状況



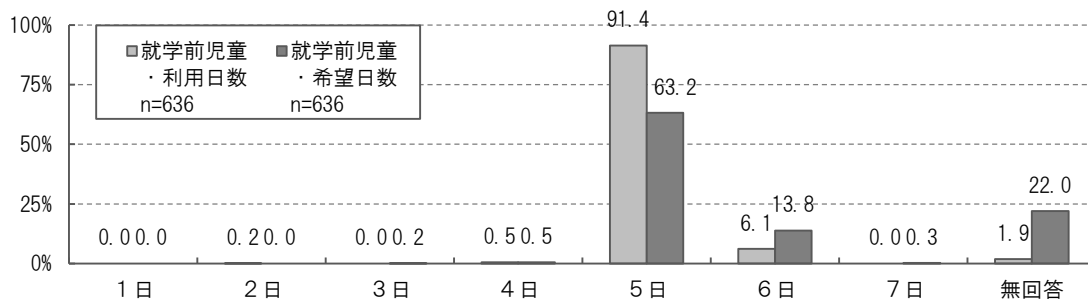
問17.1 最も希望する定期的な教育・保育事業



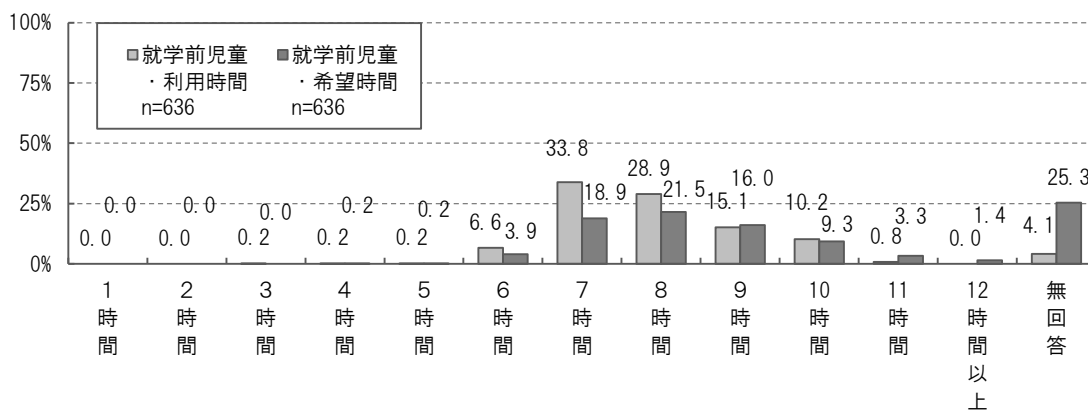
○定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数みると、利用日数・希望日数ともに「5日」(91.4%・63.2%)の割合が最も高く、次いで「6日」(6.1%・13.8%)となっています。

○利用時間と希望時間についてみると、利用時間では「7時間」(33.8%)の割合が最も高く、次いで「8時間」(28.9%)、希望時間では「8時間」(28.9%)の割合が最も高く、次いで「7時間」(18.9%)となっています。

問16-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)



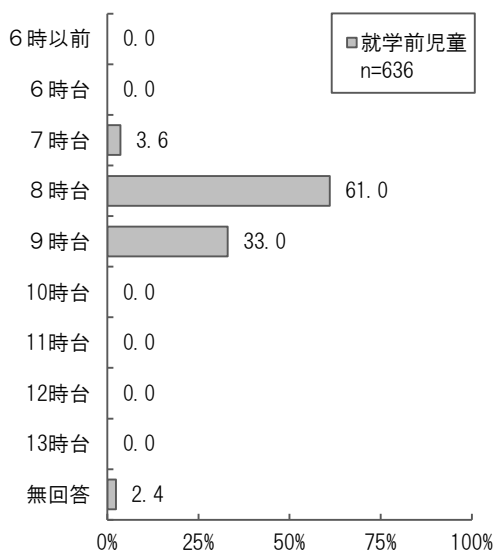
問16-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)



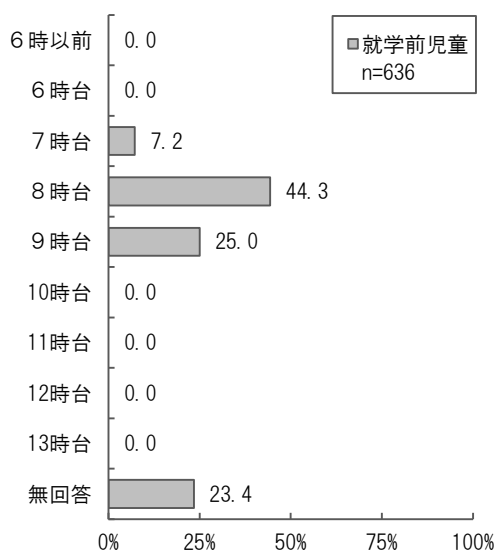
○利用開始時間・希望開始時間ともに「8時台」(61.0%・44.3%)の割合が最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間ともに「16時台~17時台」の割合が高くなっています。

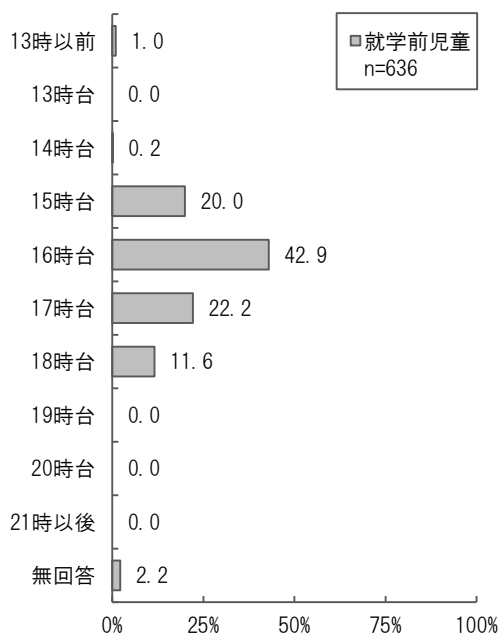
問16-2(1) 利用開始時間



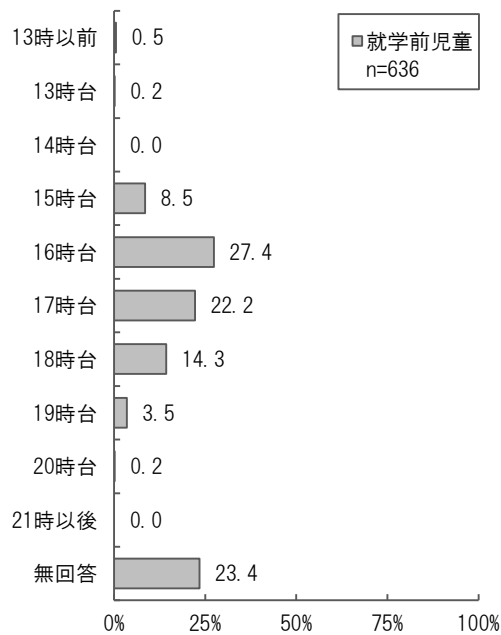
問16-2(2) 希望開始時間



問16-2(1) 利用終了時間



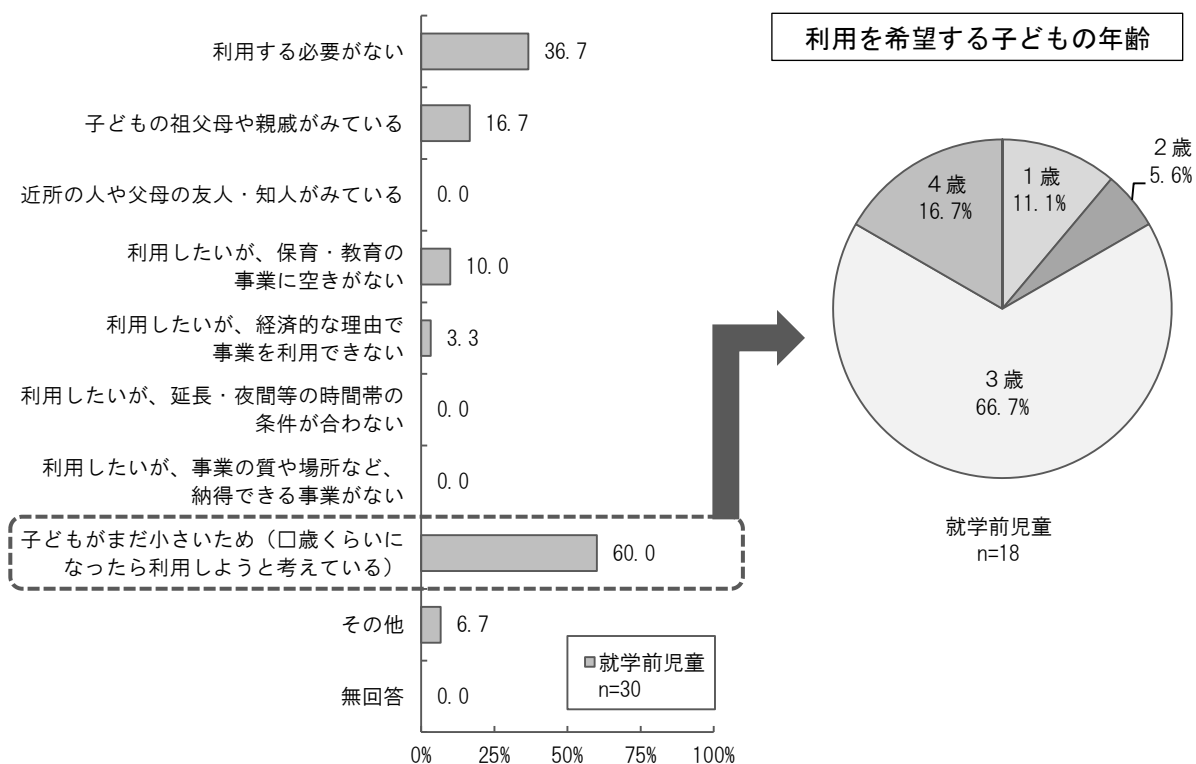
問16-2(2) 希望終了時間



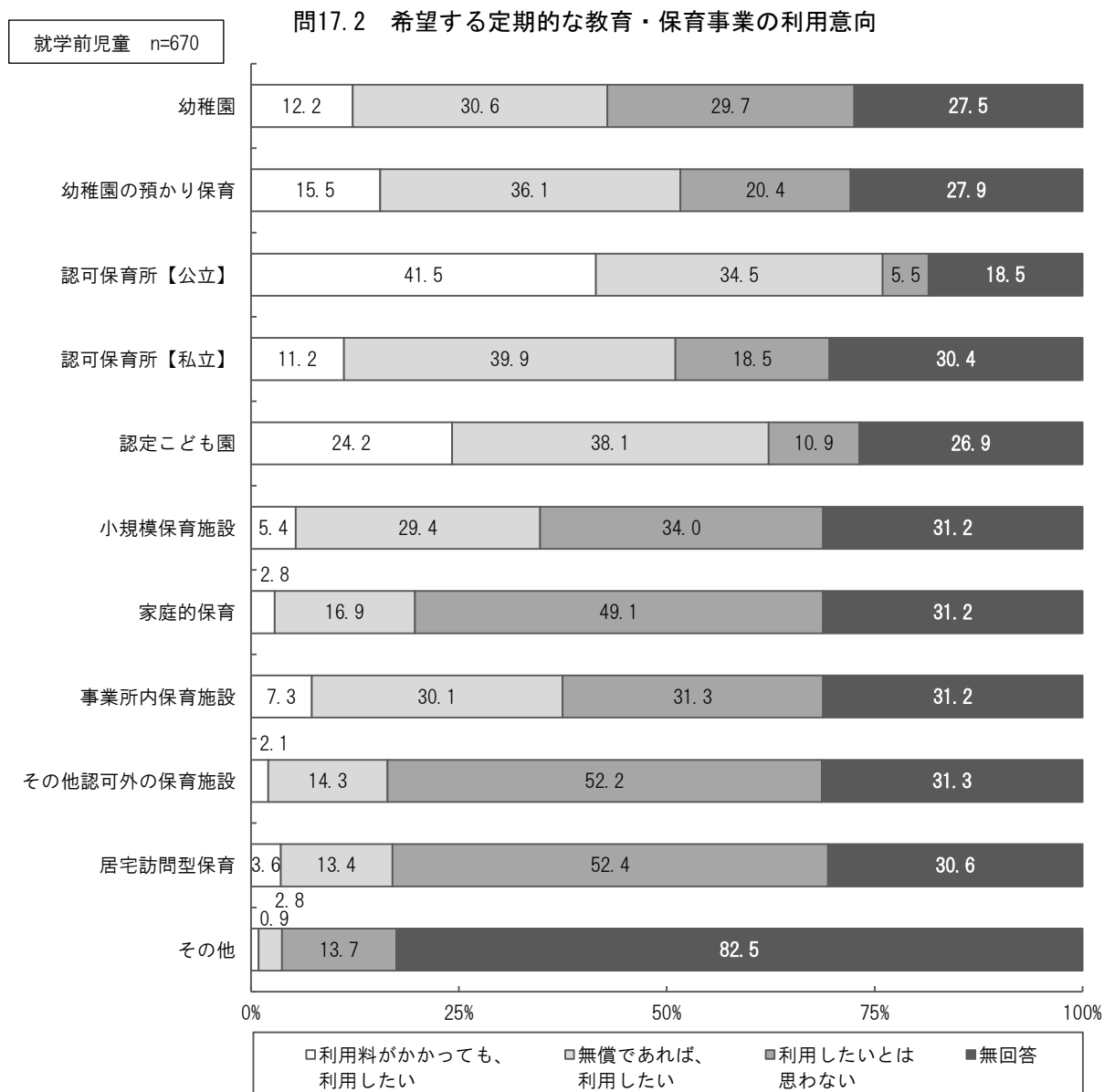
## (2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

- 定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」(60.0%)の割合が高くなっています。
- 「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方の教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢は、「3歳」(66.7%)の割合が最も高くなっています。

問16-3 教育・保育事業を利用していない理由



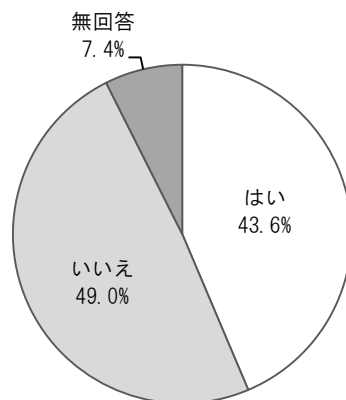
○希望する定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用料がかかっても、利用したい」と回答した事業は、『認可保育所【公立】』（41.5%）、『認定こども園』（24.2%）の割合が高くなっています。





○特に幼稚園の利用を強く希望しているかどうかでは、「はい」が43.6%、「いいえ」が49.0%となっています。

問17-1 特に幼稚園の利用を強く希望している



就学前児童  
n=337

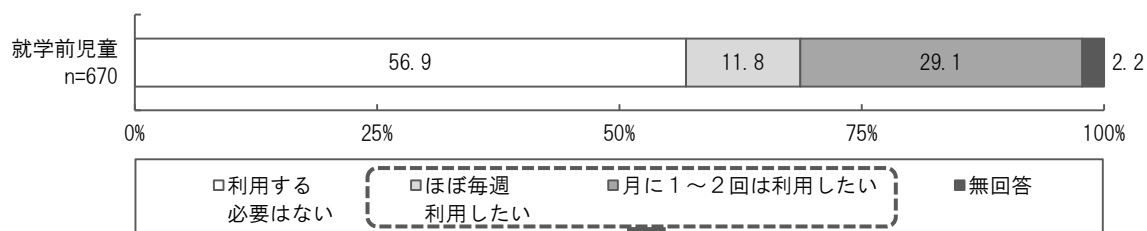
## 2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

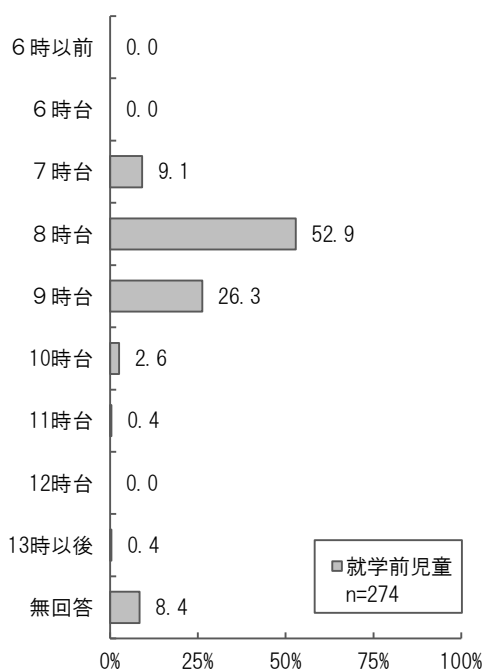
○土曜日の利用希望をみると、「月に1～2回は利用したい」が29.1%、「ほぼ毎週利用したい」が11.8%となっています。

○希望する時間帯をみると、希望開始時間は「8時台～9時台」、希望終了時間は「16時台～18時台」の割合が高くなっています。

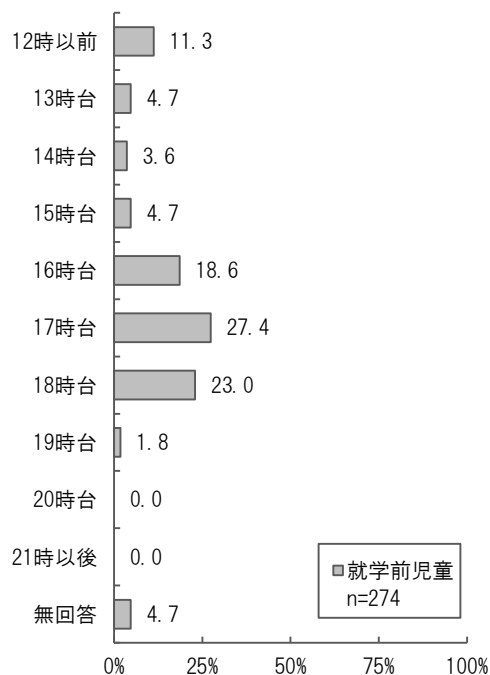
問21(1) 土曜日の利用希望



問21(1) 希望開始時間

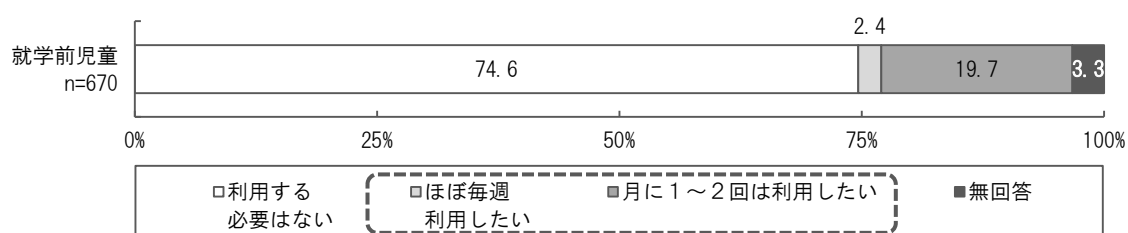


問21(1) 希望終了時間

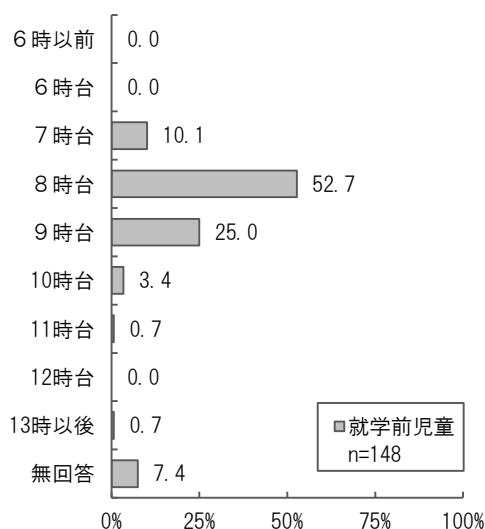


- 日曜・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が7割以上を占めるものの、19.7%の方が「月に1～2回は利用したい」と希望しています。また、「ほぼ毎週利用したい」と定期的な利用を希望している方は2.4%に留まっています。
- 利用を希望者する時間帯をみると、希望開始時間は「8時台～9時台」、希望終了時間は「17時台～18時台」の割合が高くなっています。
- 土曜日と日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」と回答した方の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(67.6%)の割合が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(24.4%)、「息抜きのため」(19.3%)となっています。

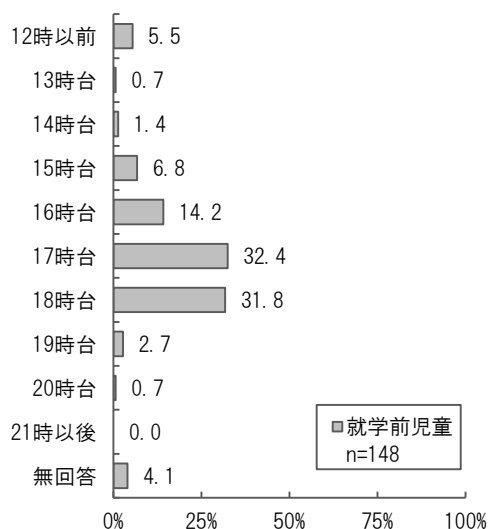
問21(2) 日曜・祝日の利用希望



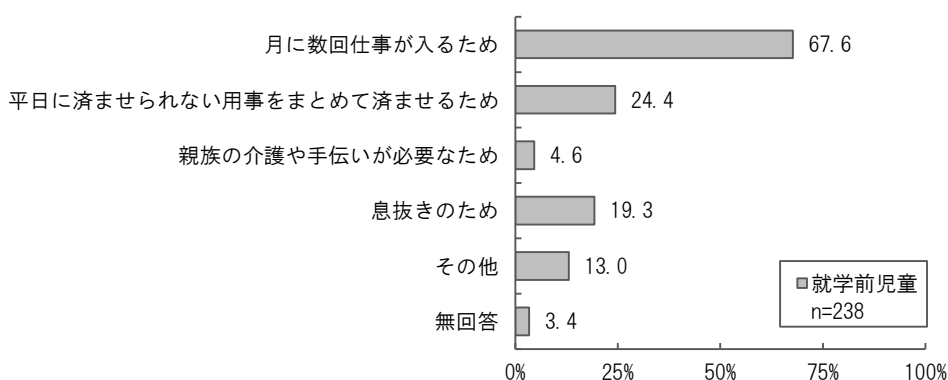
問21(2).1 希望開始時間



問21(2).1 希望終了時間



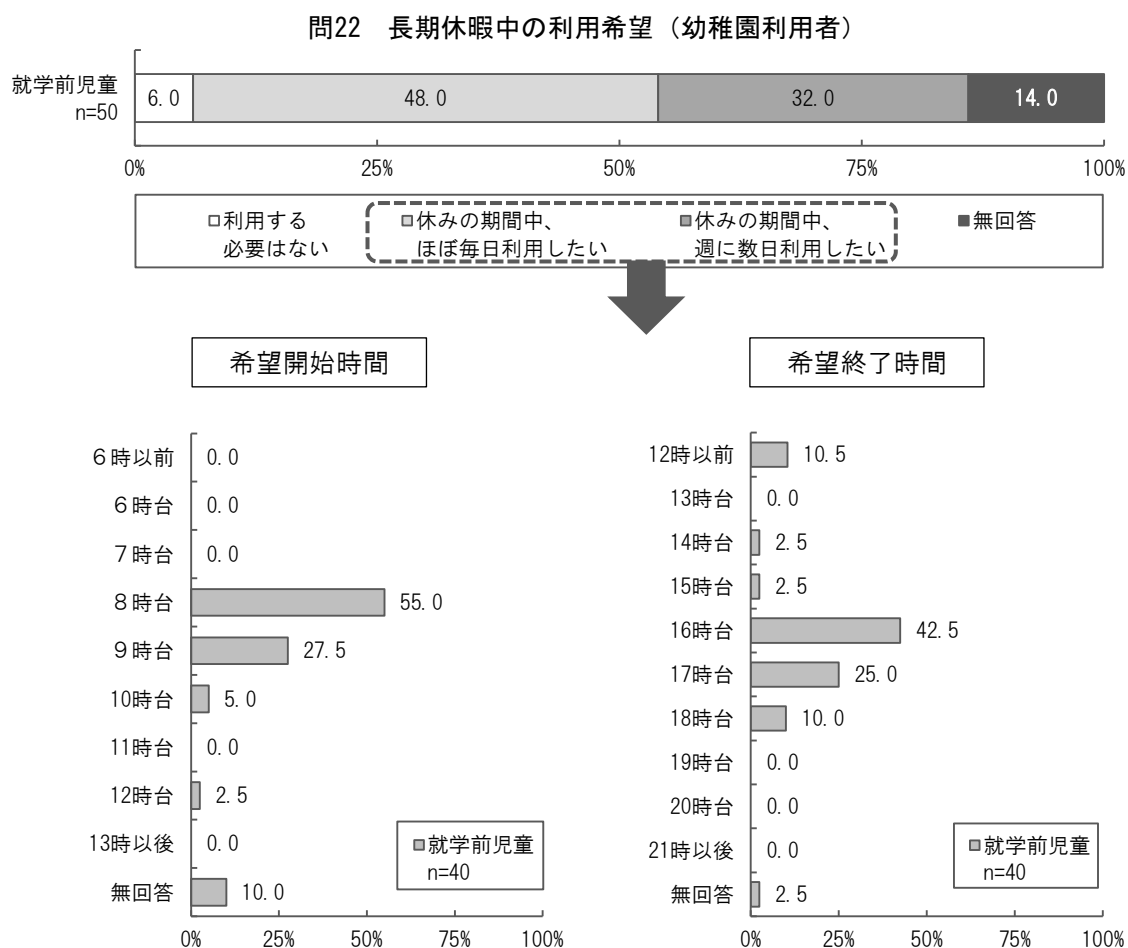
問21-1 毎週ではなく「月に1～2回利用したい」理由



## (2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）

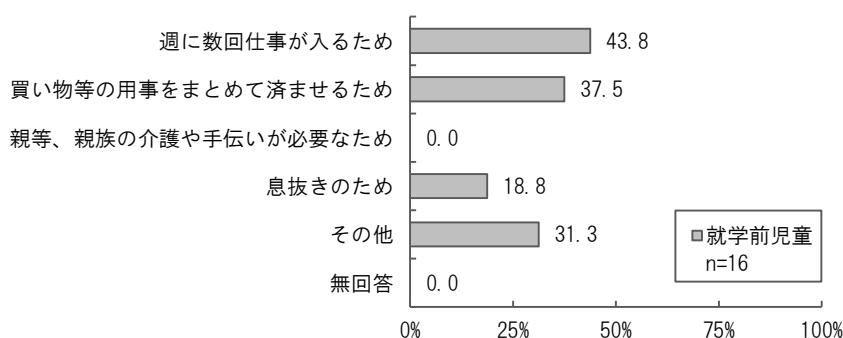
○長期休暇中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が48.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.0%と、8割の方が利用を希望しています。

○利用を希望する時間帯をみると、希望開始時間は「8時台～9時台」、希望終了時間は「16時台～17時台」の割合が高くなっています。



○長期休暇中において「休みの期間中、週に数日利用したい」理由をみると、「週に数回仕事が入るため」（43.8%）が最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（37.5%）、「息抜きのため」（18.8%）となっています。

問22-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由



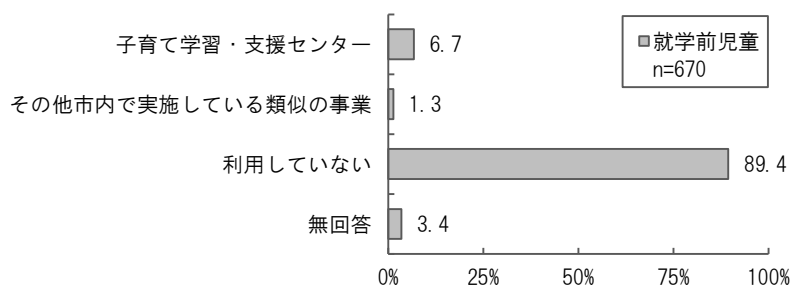
### 3 地域の子育て支援事業の利用状況

#### (1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

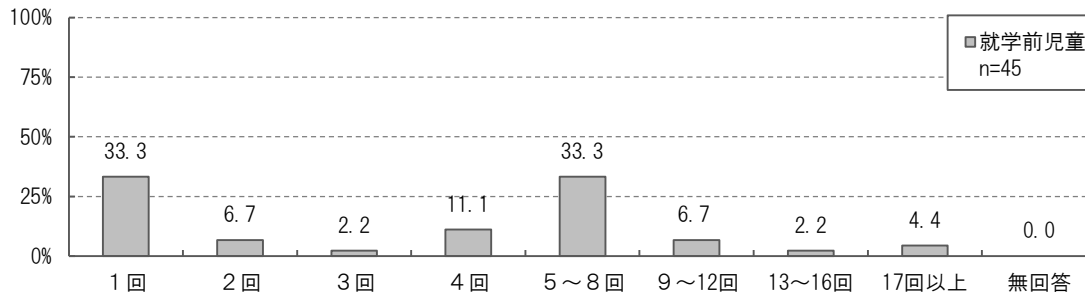
○地域の子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「子育て学習・支援センター」を利用している方は6.7%となっています。

○1ヶ月当たりの利用回数は、子育て学習・支援センター利用者では、「1回」「5～8回」の割合が高くなっています。また、その他市内で実施している類似の事業の利用者では、「1回」「4回」の割合が高くなっています。

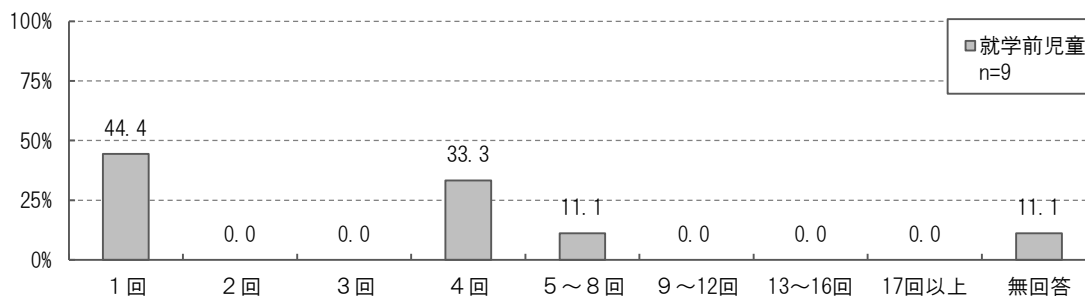
問18 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問18.1 子育て学習・支援センターの利用回数（1ヶ月当たり）



問18.1 類似の事業の利用回数（1ヶ月当たり）

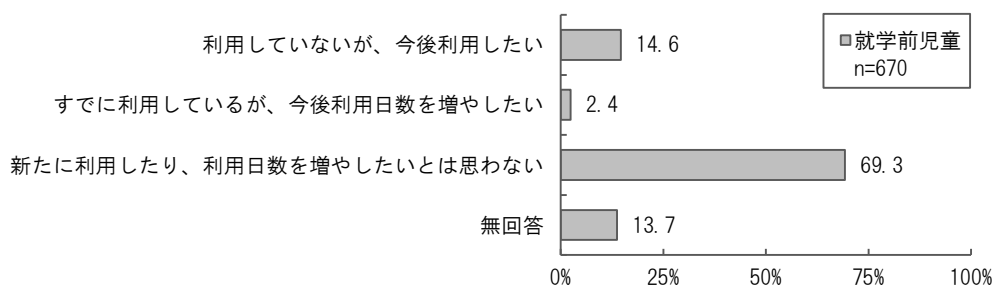


## (2) 今後の利用意向

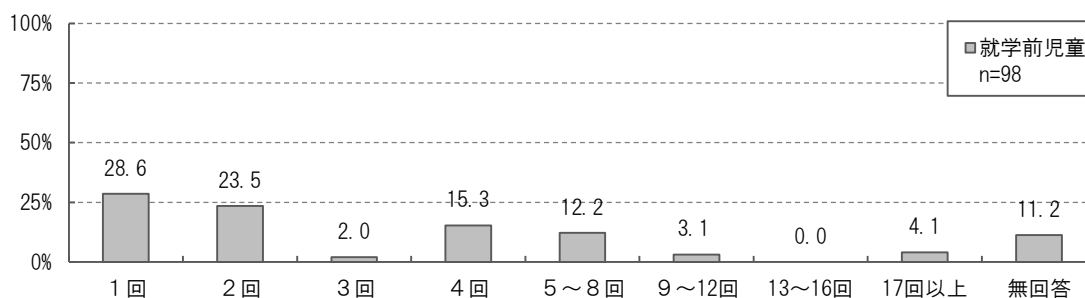
○子育て学習・支援センターの今後の利用意向をみると、「利用していないが今後利用したい」は14.6%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」は2.4%となっています。

○未利用者の1ヶ月あたりの今後の希望利用回数は、「1回」「2回」の割合が高くなっています。また、既利用者が今後増やしたい1ヶ月当たりの利用回数は、「4回」「5～8回」の割合が高くなっています。

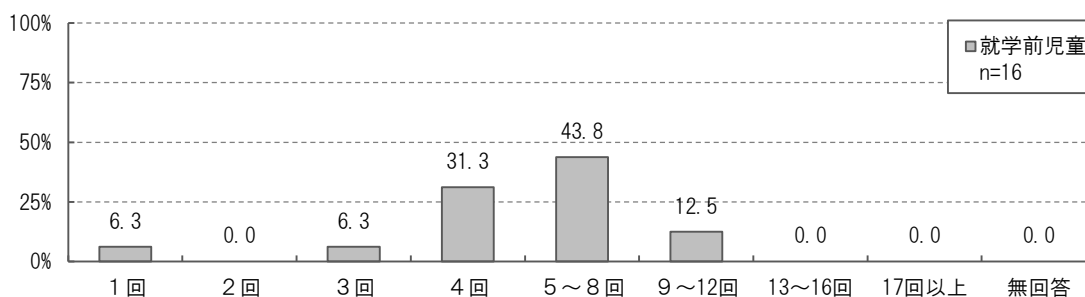
問19 子育て学習・支援センターの今後の利用意向



問19.1 未利用者の今後の希望利用回数（1ヶ月当たり）



問19.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1ヶ月当たり）



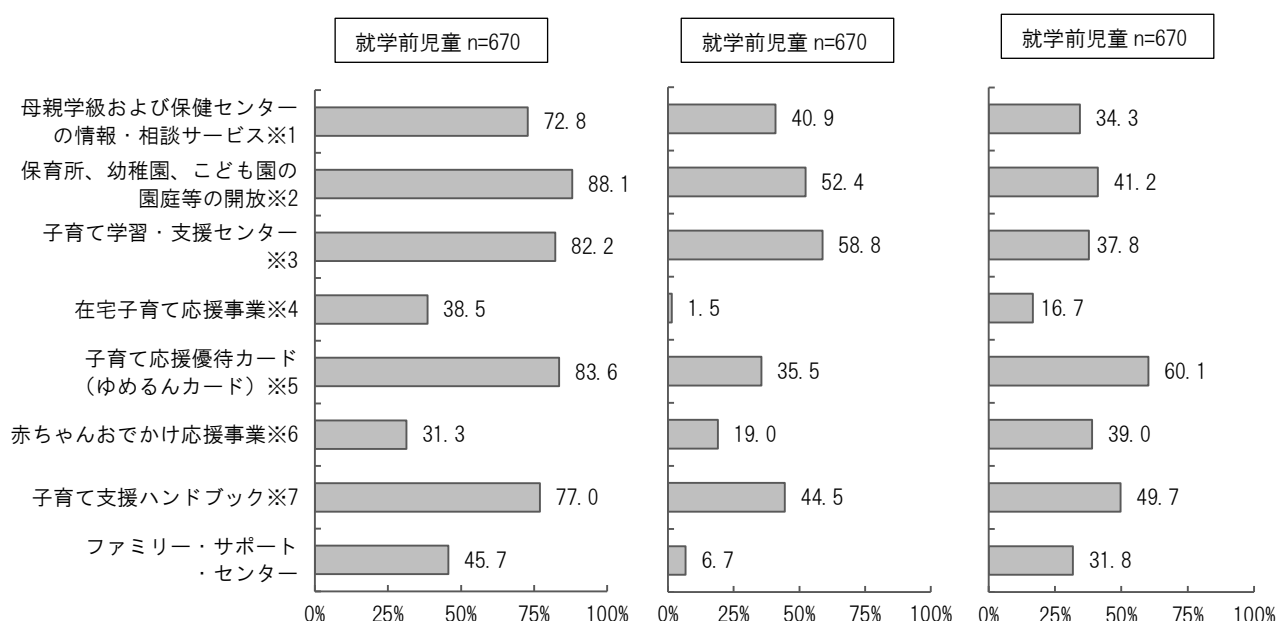
### (3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用意向について

○子育て支援事業の周知度をみると、「保育所、幼稚園、こども園の園庭等の開放」(88.1%)、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」(83.6%)、「子育て学習・支援センター」(82.2%)が上位となっています。

○周知度が高くて利用が少ない事業は、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」(35.5%)があげられます。

○ほとんどの事業も今後の利用希望は、3~4割台となっています。なかでも、「子育て応援優待カード(ゆめるんカード)」(60.1%)の利用意向は特に高く、「在宅子育て応援事業」(16.7%)は低くなっています。

問20 A. 子育て支援事業の周知度 B. 利用したことがある C. 今後利用したい



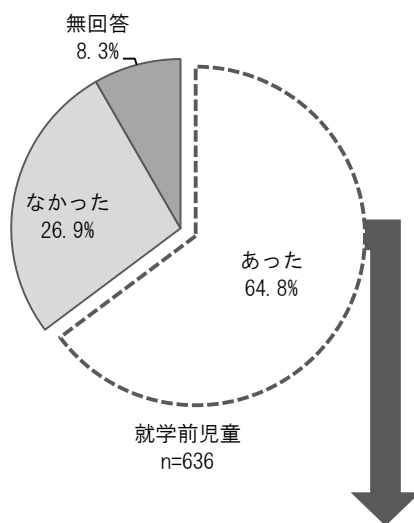
- ※1 母親学級:妊婦歯科健診、ブラッシング指導、栄養指導、沐浴方法、妊娠中の生活や赤ちゃんの育て方について、前期・後期の2回コースで行います。父親も参加できます。
- ※2 園庭開放:未就園児と保護者の方に園庭(保育所、幼稚園、こども園)を開放しています。
- ※3 子育て学習・支援センター:0歳~就学前のお子さんをお持ちの保護者の方が利用できる施設です。安心して心豊かに子育てが楽しめるよう、子育ての交流の場の提供、子育て相談や子育てサークル、ボランティアの育成などを行います。
- ※4 在宅子育て応援事業:保育所・幼稚園等に通所していない満3歳・4歳・5歳(4月1日現在)の子どもを家庭で保育している保護者を応援するために、月額5,000円を助成しています。
- ※5 子育て支援優待カード:18歳未満の子ども1人以上養育している家庭に発行しています。市内協賛店にカードを提示すると、様々な特典を受けることができます。
- ※6 赤ちゃんお出かけ応援事業:0歳児・新生児の保護者の方にオムツ替えタオルを配布しています。また、市内の公共施設等にベビーシート等を設置し、親子でお出かけしやすい環境づくりをしています。
- ※7 子育て支援ハンドブック:南あわじ市の子育てに関する情報・サービス・問い合わせ先を1冊にまとめた冊子です。市役所庁舎や各市民交流センター、図書館などの公共施設や市内ショッピングセンター等に設置しています。

## 4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

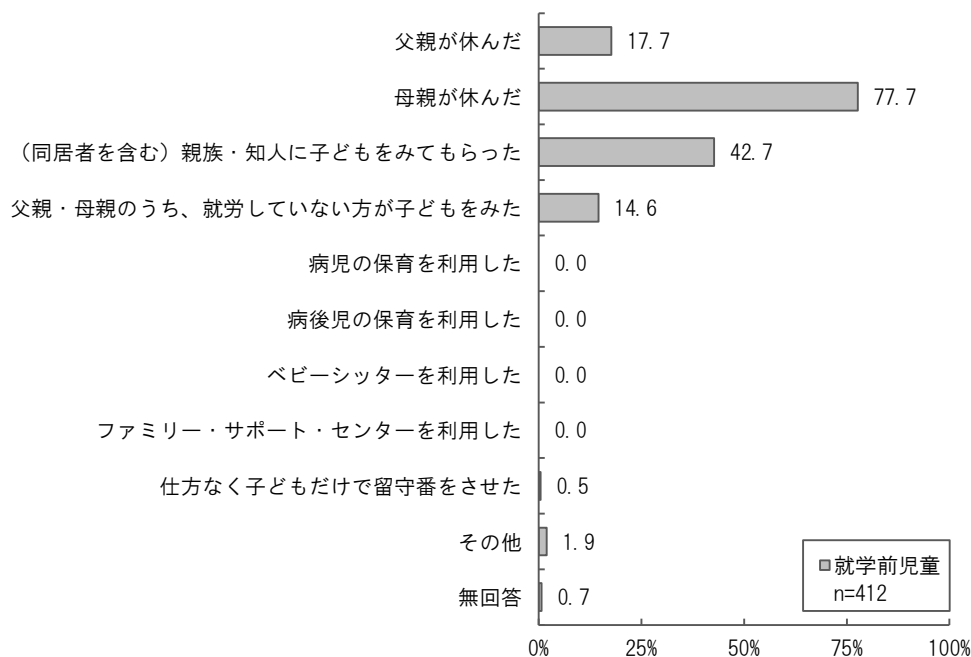
### (1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処について

- 病気やケガで、保育所や幼稚園が利用できなかったことが、「あった」は64.8%となっています。
- その際の対処方法をみると、「母親が休んだ」(77.7%)の割合が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(42.7%)、「父親が休んだ」(17.7%)となっています。

問23 病気やケガで、保育所や幼稚園が利用できなかったことの有無



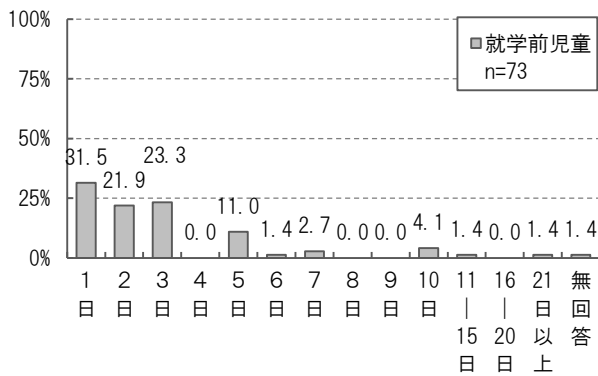
問23-1 この1年間の対処方法



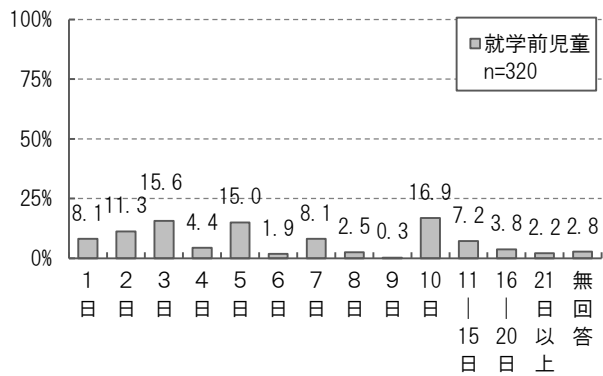


- 対処方法別にこの1年間の対処日数をみると、『父親が休んだ日数』は3日以内（「1日」（31.5%）＋「3日」（23.3%）＋「2日」（21.9%））が7割以上を占めています。
- 『母親が休んだ日数』は「10日」（16.9%）、「3日」（15.6%）、「5日」（15.0%）等と日数にばらつきがありますが、父親より長く休む割合が高くなっています。
- 『（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数』は「1日」（17.0%）、「5日」（15.9%）、「3日」「10日」（各14.8%）、「2日」（14.2%）となっています。
- 『父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数』は「3日」「5日」（各16.7%）、「10日」（15.0%）等となっています。
- 『病児の保育を利用した』『病後児の保育を利用した』『ベビーシッターを利用した』『ファミリー・サポート・センターを利用した』は回答がありませんでした。

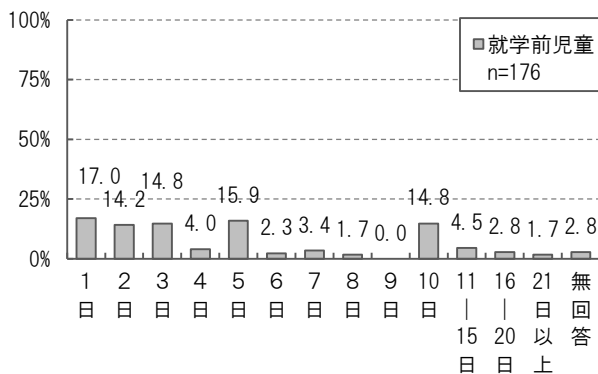
問23-1.1 父親が休んだ日数（年間）



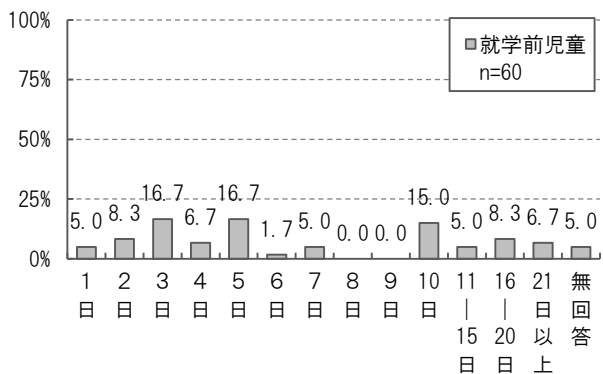
問23-1.2 母親が休んだ日数（年間）



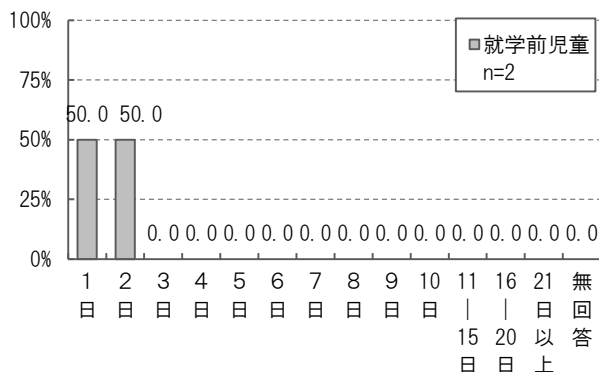
問23-1.3 （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数（年間）



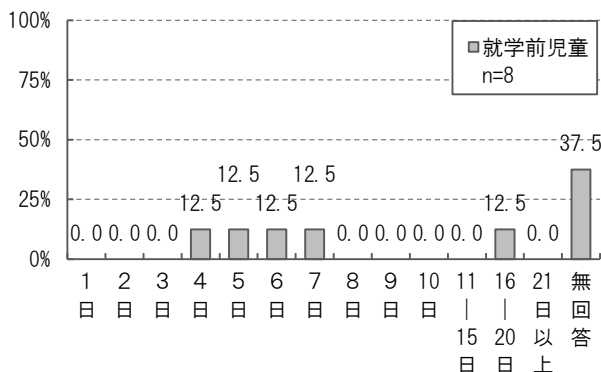
問23-1.4 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数（年間）



問23-1.9 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数（年間）



問23-1.10 その他の日数（年間）

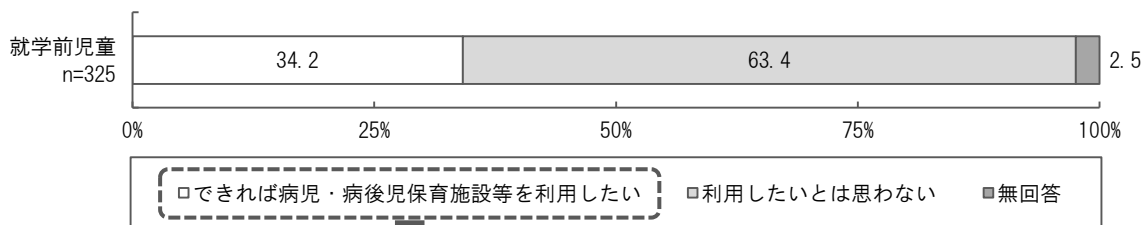


※『病児の保育を利用した』『病後児の保育を利用した』『ベビーシッターを利用した』『ファミリー・サポート・センターを利用した』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

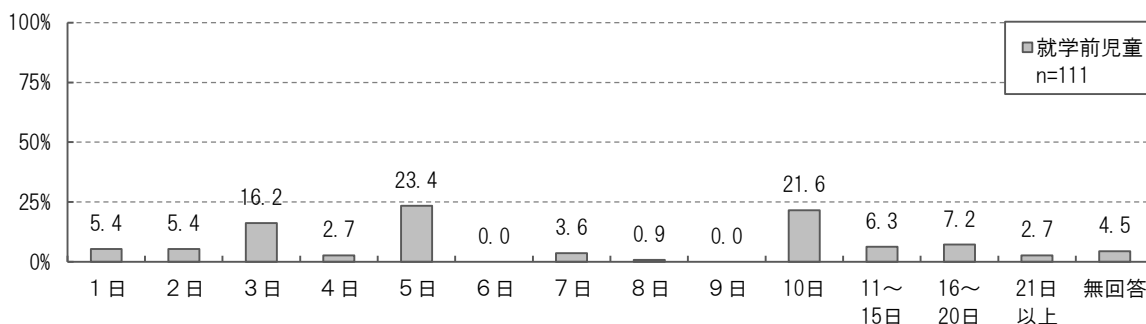
○父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が34.2%となっています。

○その際の年間希望利用日数は、「5日」(23.4%)、「10日」(21.6%)、「3日」(16.2%)となっています。

問23-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



問23-2.2 病児・病後児保育施設の希望利用日数（年間）

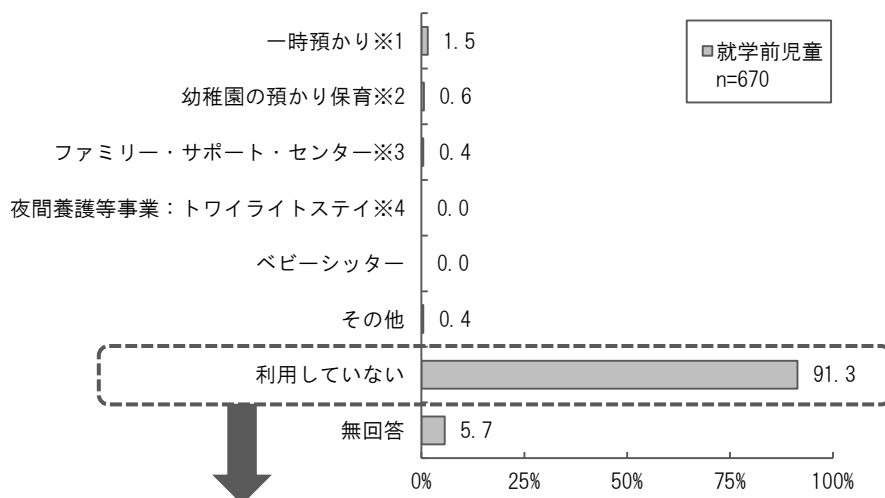


## 5 不規則の一時保育の利用について

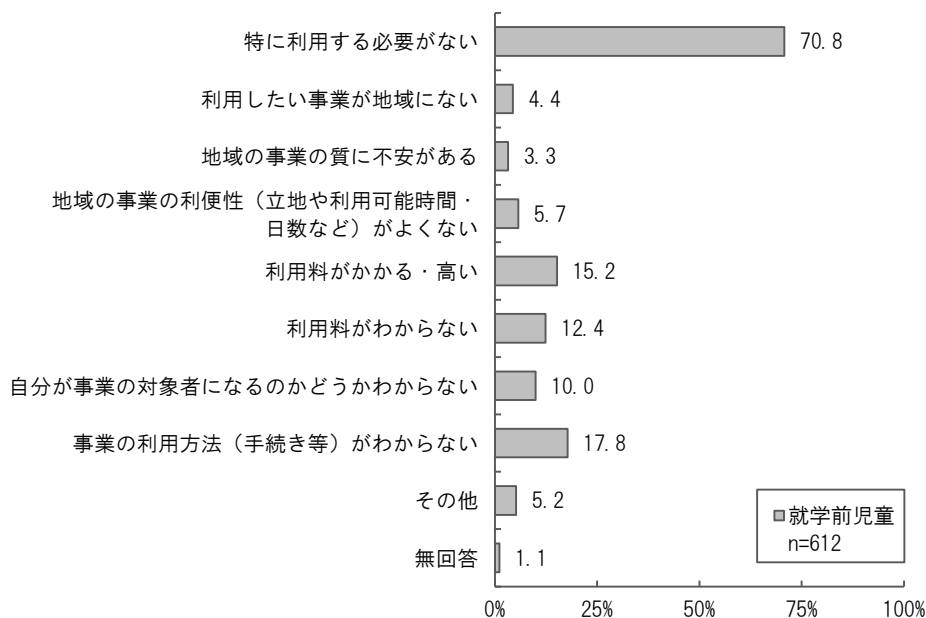
### (1) 不規則に利用している教育・保育事業の状況

- 不規則に利用している教育・保育事業の状況をみると、「一時預かり」(1.5%)、「幼稚園の預かり保育」(0.6%)をはじめ、あまり利用がない状況です。
- 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が約7割を占めています。また、それ以外の理由としては、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(17.8%)、「利用料がかかる・高い」(15.2%)をあげています。

問24 不規則に利用している一時預かり事業



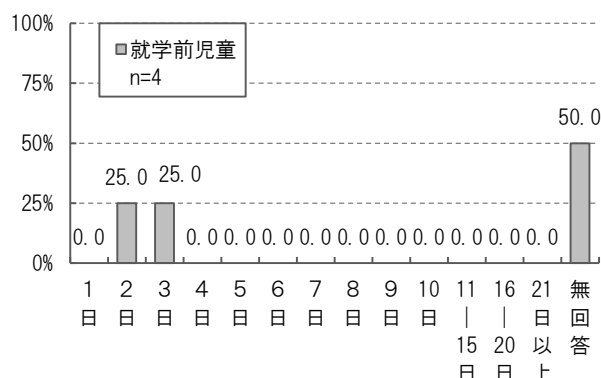
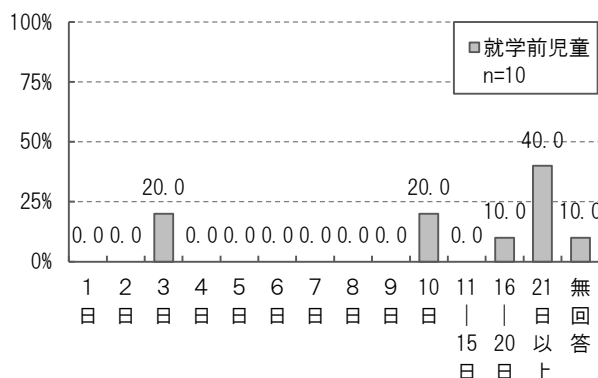
問24-1 現在利用していない理由



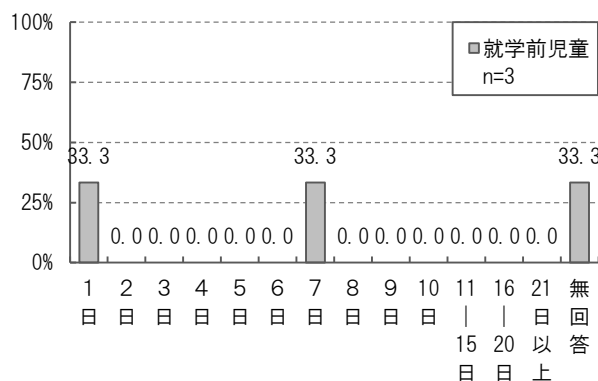
- ※1 一時預かり:私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業
- ※2 幼稚園の預かり保育:通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ
- ※3 ファミリー・サポート・センター:地域住民が子どもを預かる事業
- ※4 夜間養護等事業(トワイライトステイ):児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

○事業別の年間利用日数は以下のとおりです。

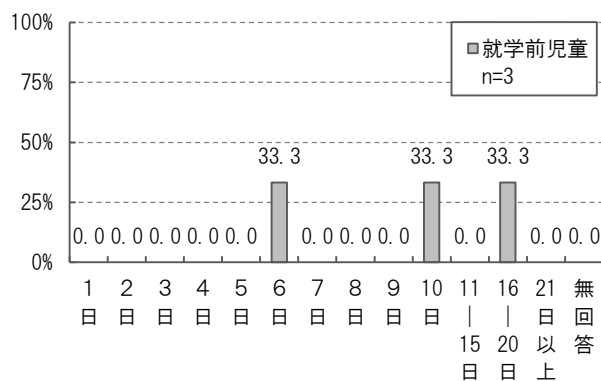
問24.1 「一時預かり」利用日数（年間） 問24.2 「幼稚園の預かり保育」利用日数（年間）



問24.3 「ファミリー・サポート・センター事業」利用日数（年間）



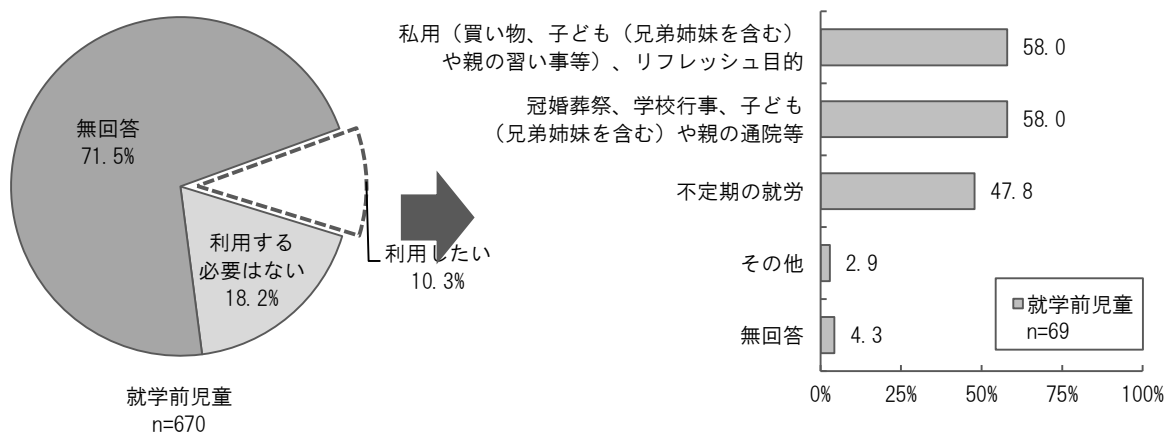
問24.6 「その他」利用日数（年間）



※『夜間養護等事業』『ベビーシッター』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

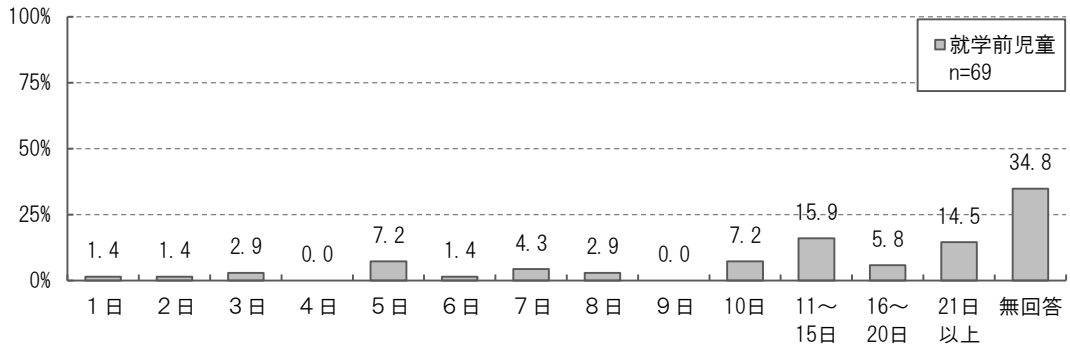
○一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」は10.3%、「利用する必要はない」は18.2%となっています。「利用したい」と回答した方の利用目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（各58.0%）、「不定期の就労」（47.8%）となっています。

問25 一時保育事業の利用希望とその目的



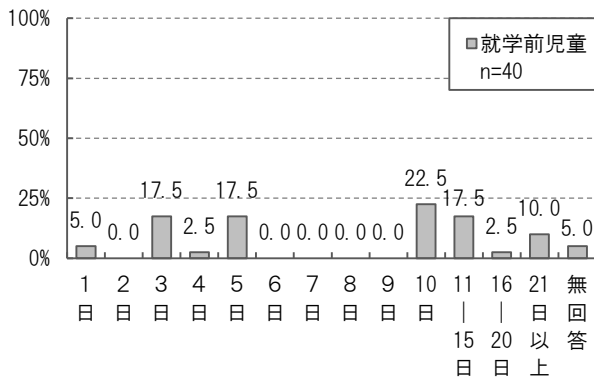
○希望利用年間合計日数は、「11～15日」（15.9％）の割合が最も高くなっています。

問25.1 一時保育事業の希望利用日数（年間）

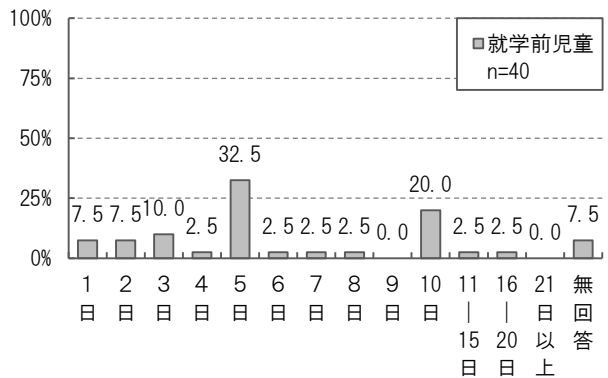


○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「10日」（22.5％）、「3日」「5日」「11—15日」（各17.5％）、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」（32.5％）、『不特定の就労』では「10日」（24.2％）の割合が高くなっています。

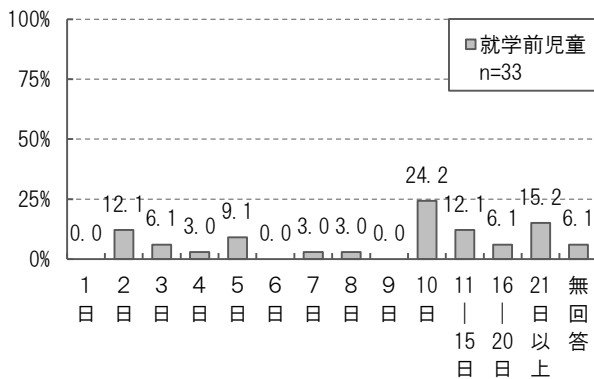
問25.1① 私用、リフレッシュ目的（年間）



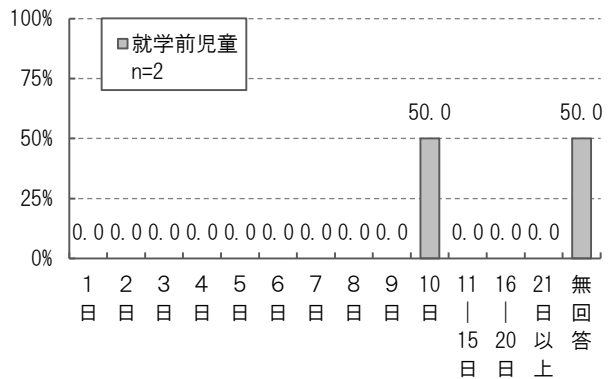
問25.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等（年間）



問25.1③ 不特定の就労（年間）



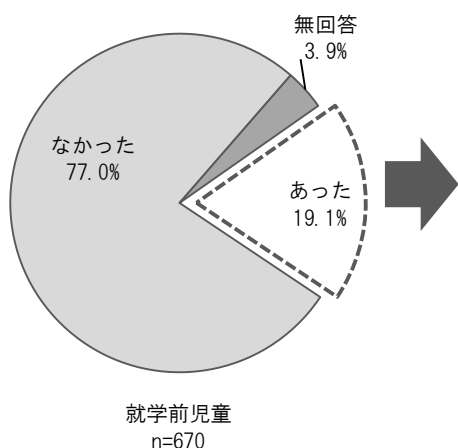
問25.1④ その他（年間）



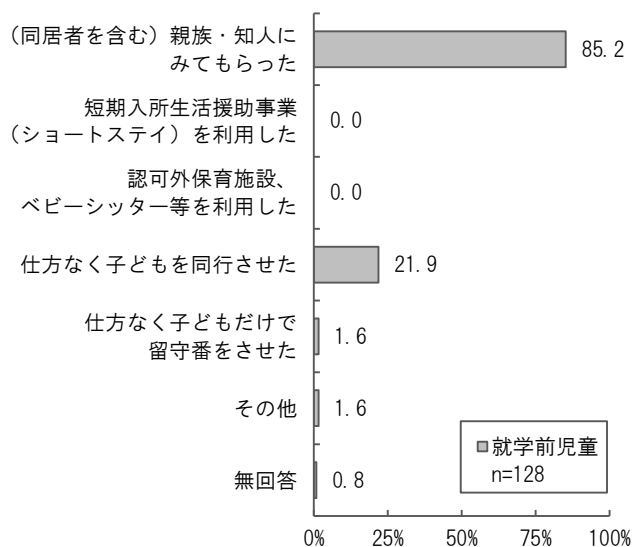
## (2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけでみてもらったことが、「あった」と回答した方は19.1%となっています。そのうち9割近くの方は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答していますが、「仕方なく子どもを同行させた」と回答した方も21.9%いました。

問26 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



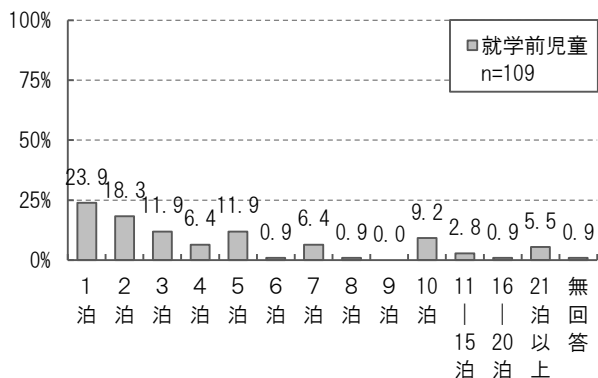
問26.1 この1年間の対処方法



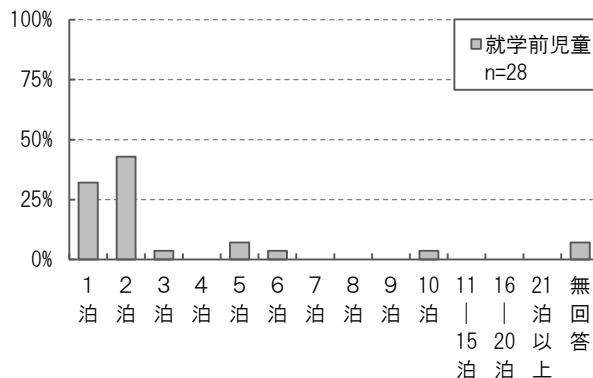
※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

○対処方法別に年間宿泊数を見ると、『(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった』では「1泊」(23.9%)、「2泊」(18.3%)の割合が高くなっています。

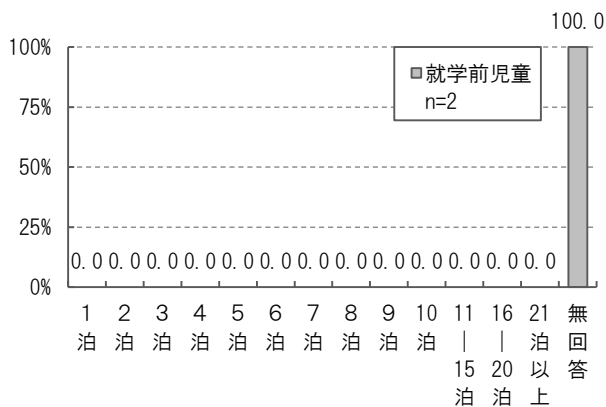
問26.1① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった (年間)



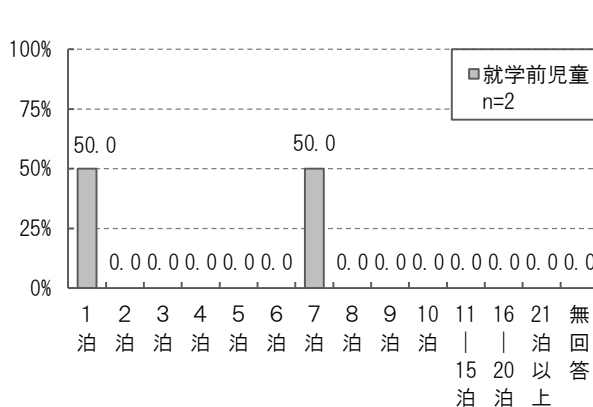
問26.1④ 仕方なく子どもを同行させた (年間)



問26.1⑤ 子どもだけで留守番をさせた (年間)



問26.1⑥ その他 (年間)



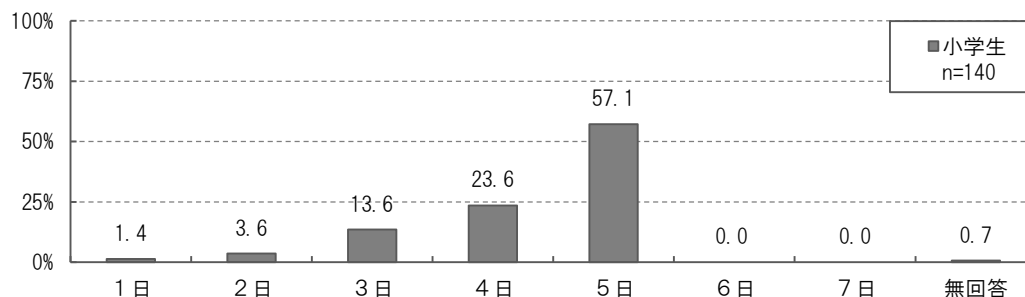
※『短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した』『短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した』は回答がなかったため、グラフを省略しました。

## 6 放課後の過ごし方について

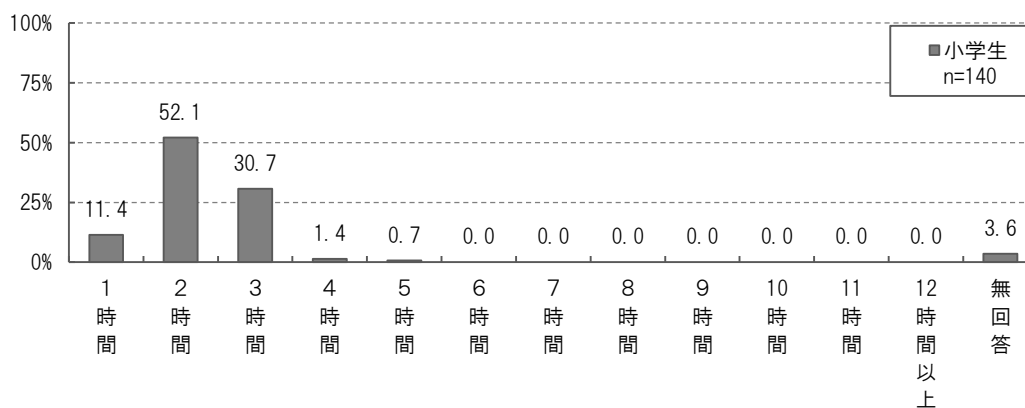
### (1) 平日の放課後の過ごし方について

○放課後児童クラブ（学童保育）の平日利用日数をみると、「5日」（57.1％）の割合が最も高くなっています。利用時間では、「2時間」（52.1％）の割合が最も高く、次いで「3時間」（30.7％）、「1時間」（11.4％）となっています。

[問12] 平日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数（1週当たり）



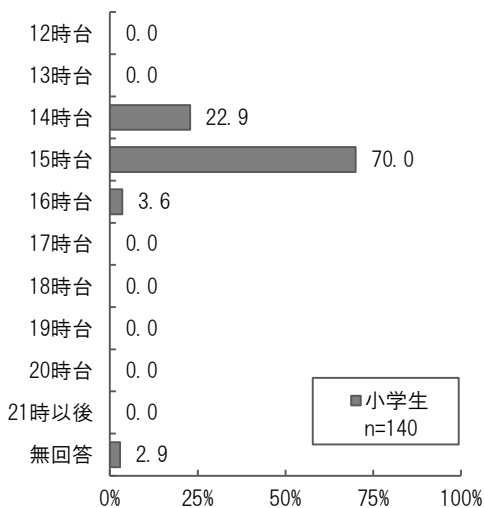
[問12] 平日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用時間（1日当たり）



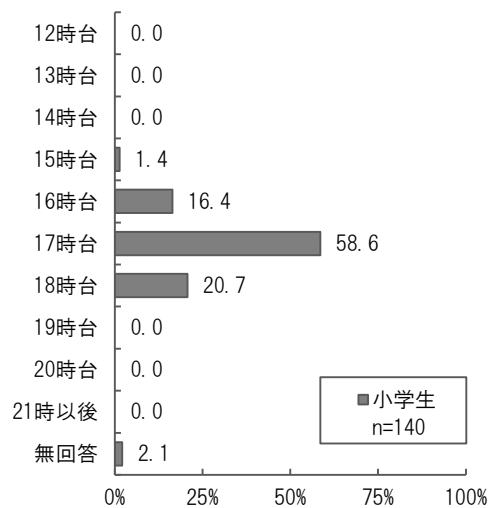


- 利用開始時間は「15時台」（70.0％）の割合が最も高く、利用終了時間は「17時台」（58.6％）の割合が高くなっています。
- 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由をみると、ほとんどが「保護者が働いている」（99.3％）を理由に挙げています。

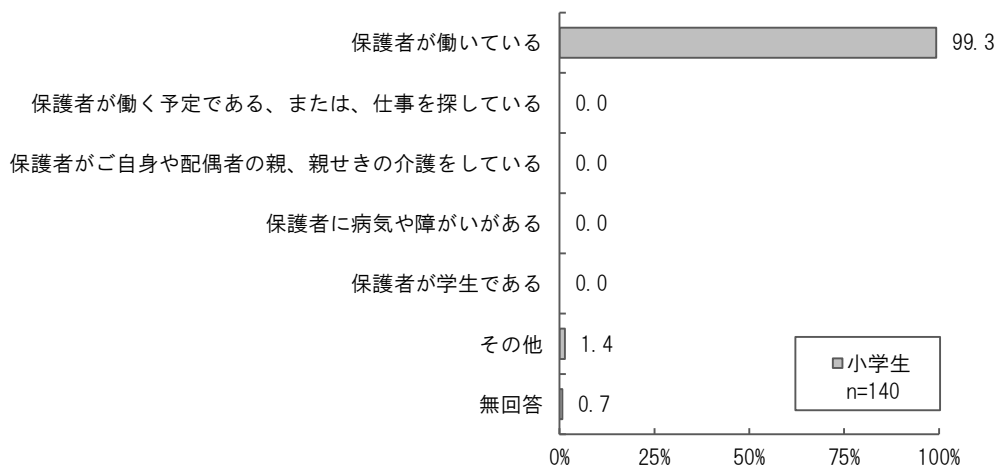
[問12] 利用開始時間



[問12] 利用終了時間



[問13] 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由

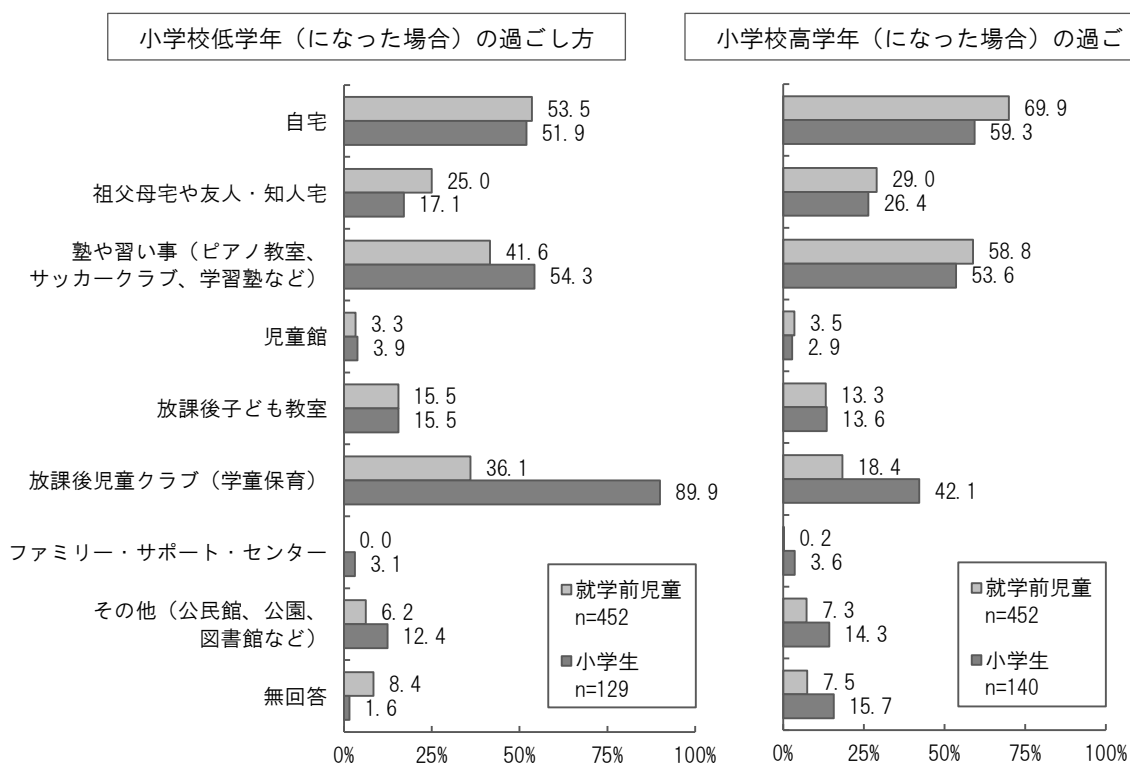


## (2) 平日の放課後の過ごし方の希望

○放課後の過ごし方の希望をみると、就学前児童では低学年のうち「自宅」(53.5%)、「塾や習い事」(41.6%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(36.1%)の希望割合が高くなっています。高学年では、「放課後児童クラブ」(18.4%)が17.7<sup>ポイント</sup>減少する一方で、「自宅」(69.9%)が16.4<sup>ポイント</sup>、「塾や習い事」(58.8%)が17.2<sup>ポイント</sup>増加しています。

○小学生では低学年のうち「放課後児童クラブ」(89.9%)、「塾や習い事」(54.3%)、「自宅」(51.9%)の希望割合が高くなっています。高学年になると、「放課後児童クラブ(学童保育)」(42.1%)が47.8<sup>ポイント</sup>、「塾や習い事」(53.6%)が0.7<sup>ポイント</sup>減少する一方で、「自宅」(59.3%)が7.4<sup>ポイント</sup>増加しています。

問27[問14]・問28[問15] 放課後の過ごし方の希望

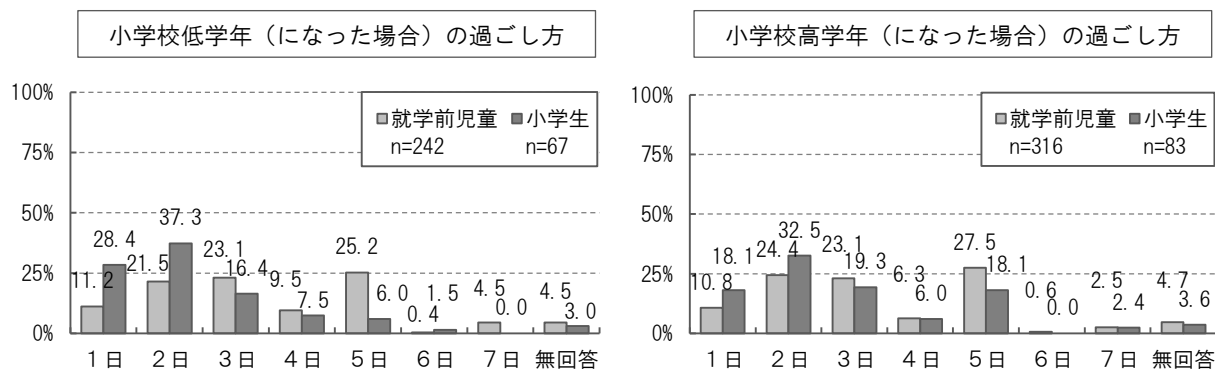


※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。

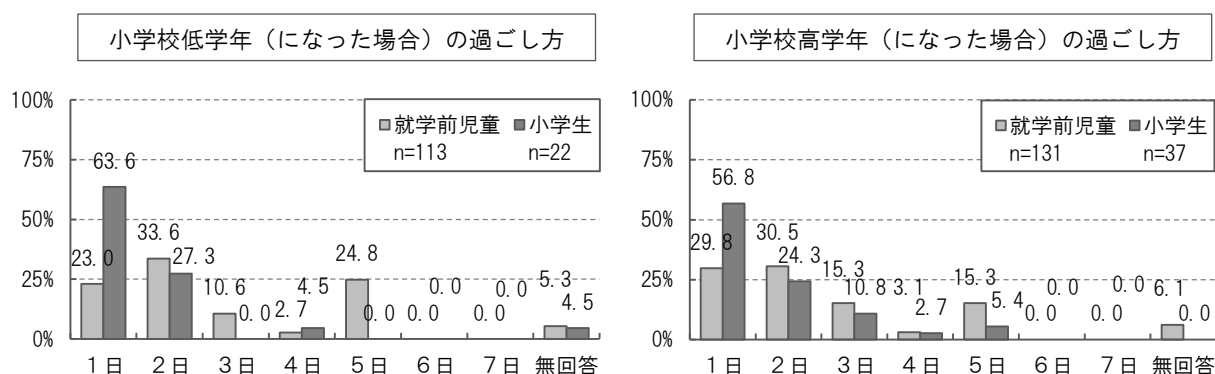
○就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に、1週当たりの希望日数をみると、『自宅』では「5日」（低学年時期25.2%・高学年時期27.5%）、『祖父母宅や友人・知人宅』では「2日」（低学年時期33.6%・高学年時期30.5%）、『塾や習い事』では「2日」（低学年時期43.1%・高学年時期45.9%）の割合が最も高くなっています。『放課後子ども教室』では、低学年時期は「2日」（47.1%）、高学年時期は「1日」（50.0%）の割合が最も高く、『放課後児童クラブ（学童保育）』では「5日」（低学年時期60.1%・高学年時期39.8%）の割合が最も高くなっています。

○小学生の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、『自宅』では「2日」（低学年時期37.3%・高学年時期32.5%）、『祖父母宅や友人・知人宅』では「1日」（低学年時期63.6%・高学年時期56.8%）、の割合が最も高くなっています。『塾や習い事』では「2日」（低学年時期51.4%・高学年時期48.0%）の割合が最も高くなっています。『放課後子ども教室』では、「1日」（低学年時期50.0%・高学年時期47.4%）、『放課後児童クラブ（学童保育）』では「5日」（低学年時期31.0%・高学年時期32.2%）の割合が最も高くなっています。

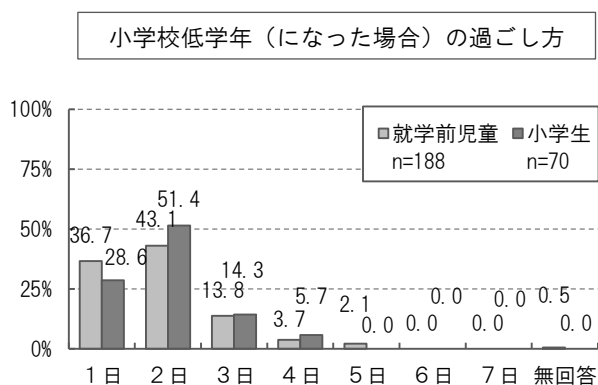
問27.1[問14.1]・問28.1[問15.1] 「自宅」希望日数（1週当たり）



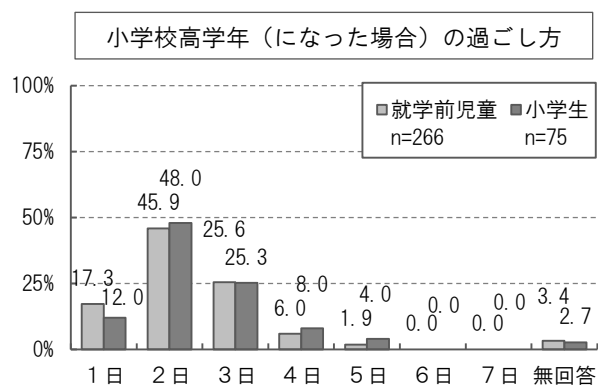
問27.2[問14.2]・問28.2[問15.2] 「祖父母宅や友人・知人宅」希望日数（1週当たり）



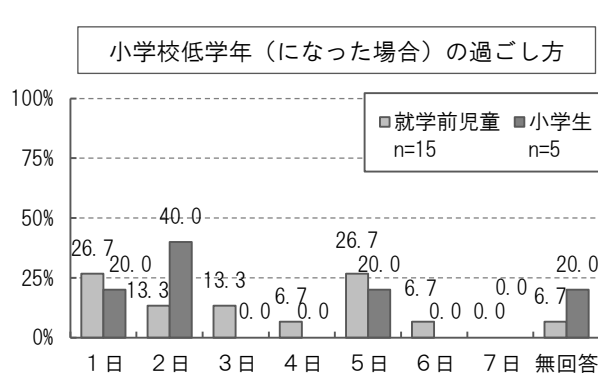
問27.3[問14.3]・問28.3[問15.3]



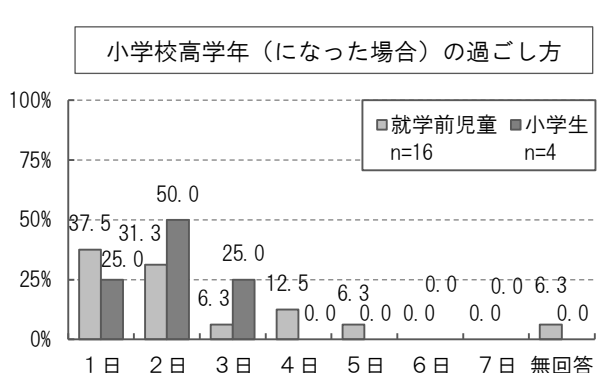
「塾や習い事」希望日数（1週当たり）



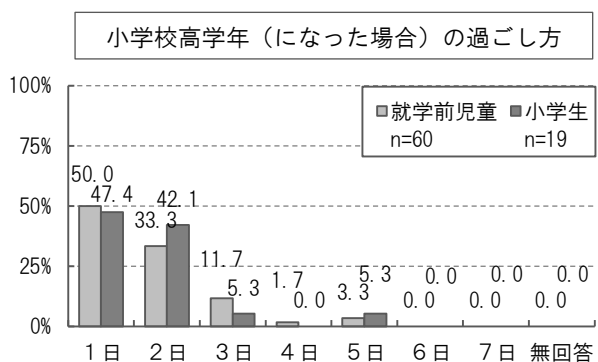
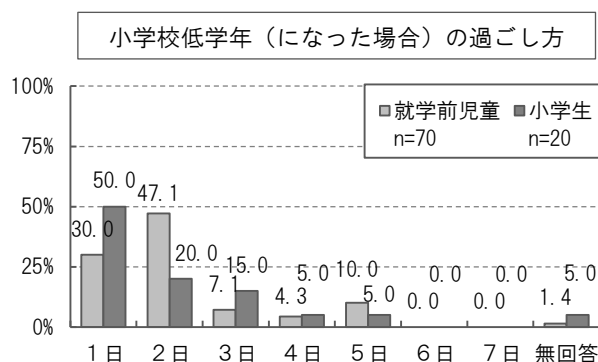
問27.4[問14.4]・問28.4[問15.4]



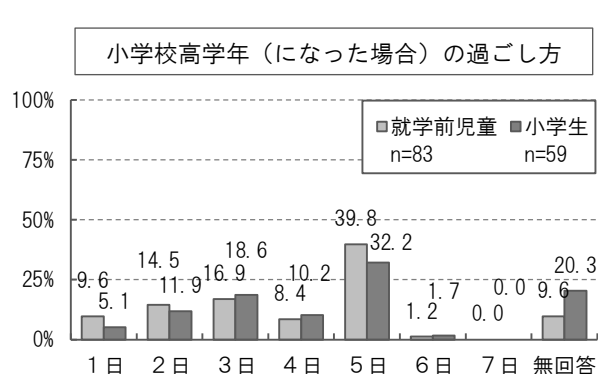
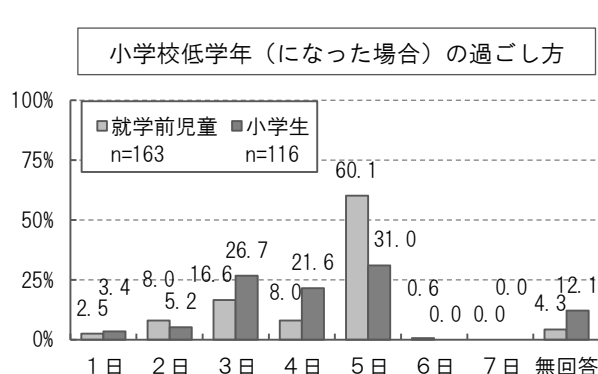
「児童館」希望日数（1週当たり）



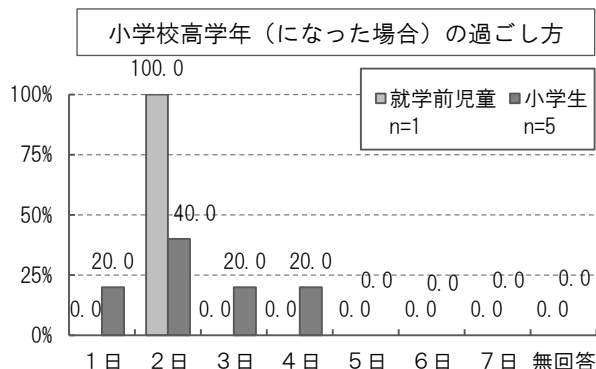
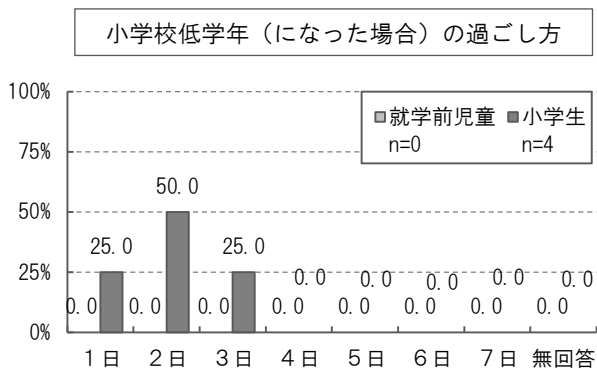
問27.5[問14.5]・問28.5[問15.5] 「放課後子ども教室」希望日数（1週当たり）



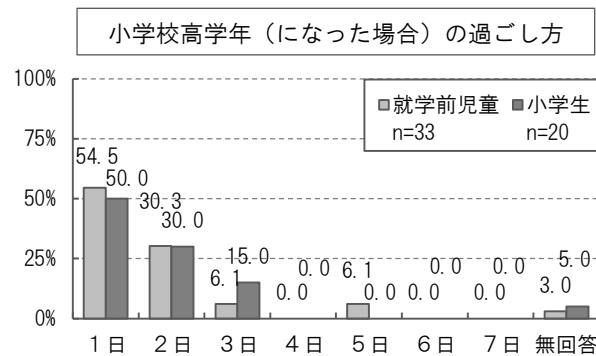
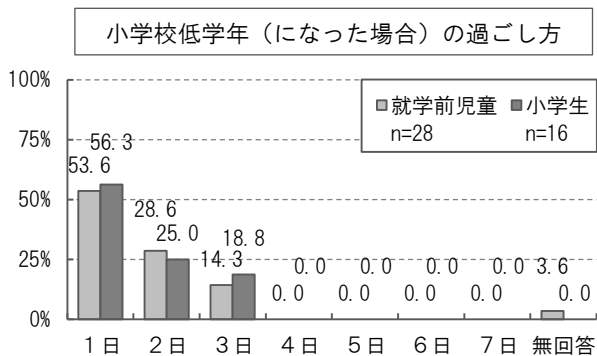
問27.6[問14.6]・問28.6[問15.6] 「放課後児童クラブ（学童保育）」希望日数（1週当たり）



問27.7[問14.7]・問28.7[問15.7] 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）

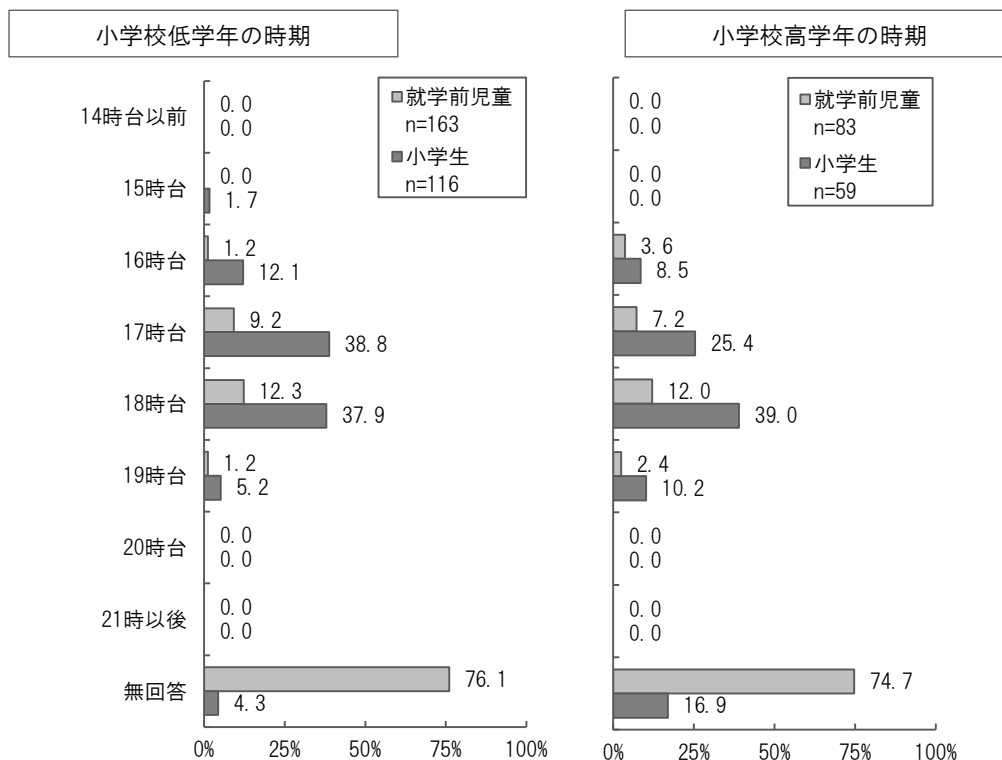


問27.8[問14.8]・問28.8[問15.8] 「その他（公民館、公園など）」希望日数（1週当たり）



○「放課後児童クラブ（学童保育）」の下校時からの希望利用時間帯をみると、就学前児童では「18時台」まで（低学年時期12.3%・高学年時期12.0%）の割合が最も高くなっています。小学生では、低学年時期は「17時台」まで（38.8%）、高学年時期は「18時台」まで（39.0%）の割合が最も高くなっています。

問27.6[問14.6]・問28.6[問15.6] 「放課後児童クラブ（学童保育）」下校時からの利用希望時間

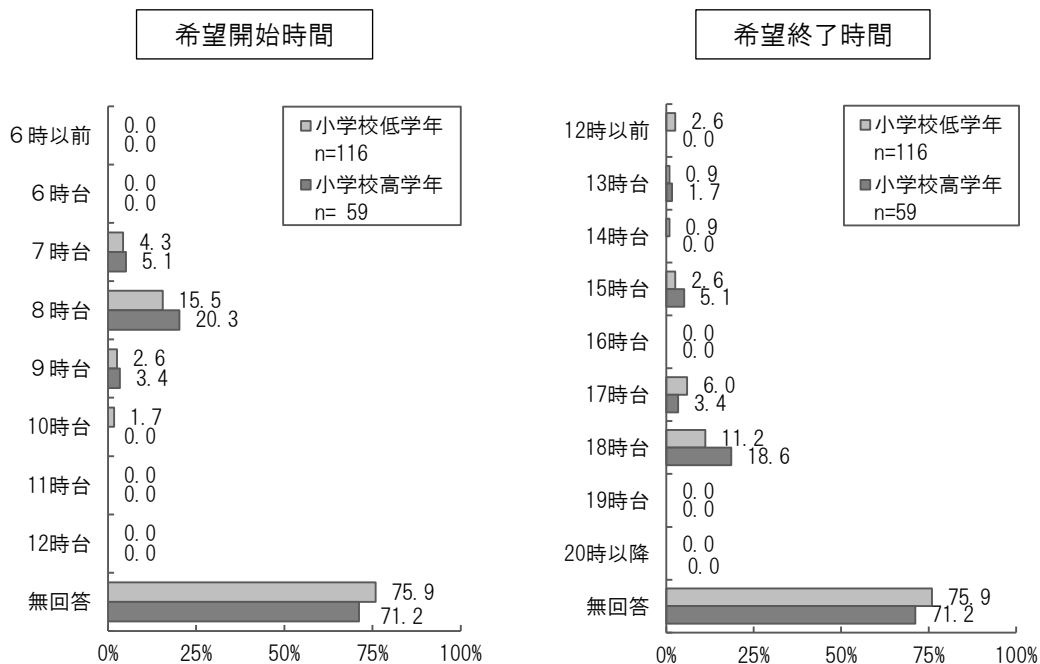


### (3) 土曜日、日曜・長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

○放課後児童クラブの土曜日の利用希望をみると、希望開始時間は、就学前児童・小学生ともに「8時台」(15.5%・20.3%)の割合が最も高くなっています。

○希望終了時間は、就学前児童・小学生ともに「18時台」(11.2%・18.6%)の割合が最も高くなっています。

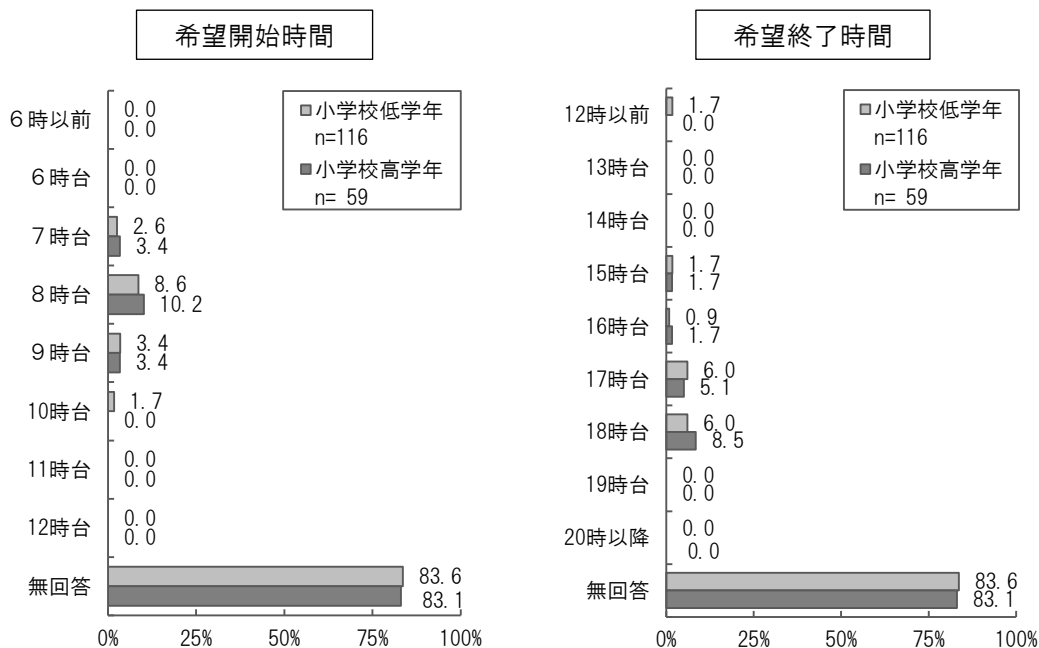
[問14.6]・[問15.6] 放課後児童クラブ(土曜日)の利用希望



○放課後児童クラブの日曜・祝日の利用希望をみると、希望開始時間は就学前児童・小学生ともに「8時台」(8.6%・10.2%)の割合が最も高くなっています。

○希望終了時間は、就学前児童では「17時台」「18時台」(各6.0%)、小学生では「18時台」(8.5%)の割合が最も高くなっています。

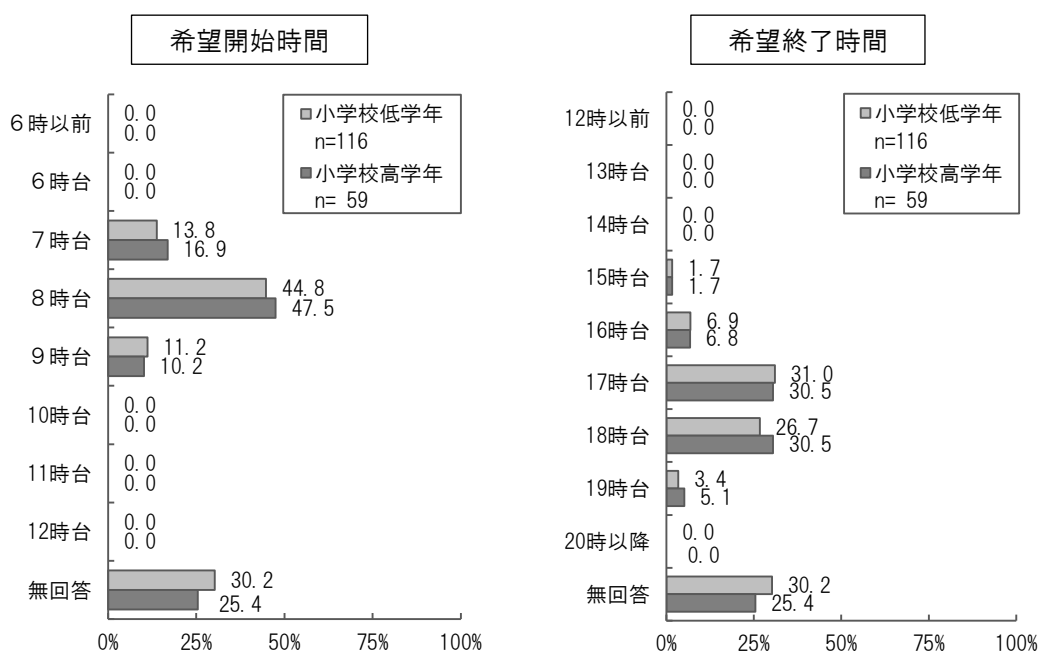
[問14.6]・[問15.6] 放課後児童クラブ(日曜・祝日)の利用希望



○放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、希望開始時間は、就学前児童・小学生ともに「8時台」(44.8%・47.5%)の割合が最も高くなっています。

○希望終了時間は、就学前児童では「17時台」(31.0%)、小学生では「17時台」「18時台」(各30.5%)の割合が最も高くなっています。

[問14.6]・[問15.6] 放課後児童クラブ(長期休暇期間中)の利用希望





## 第4章 育児休業制度の利用状況



## 第4章 育児休業制度の利用状況

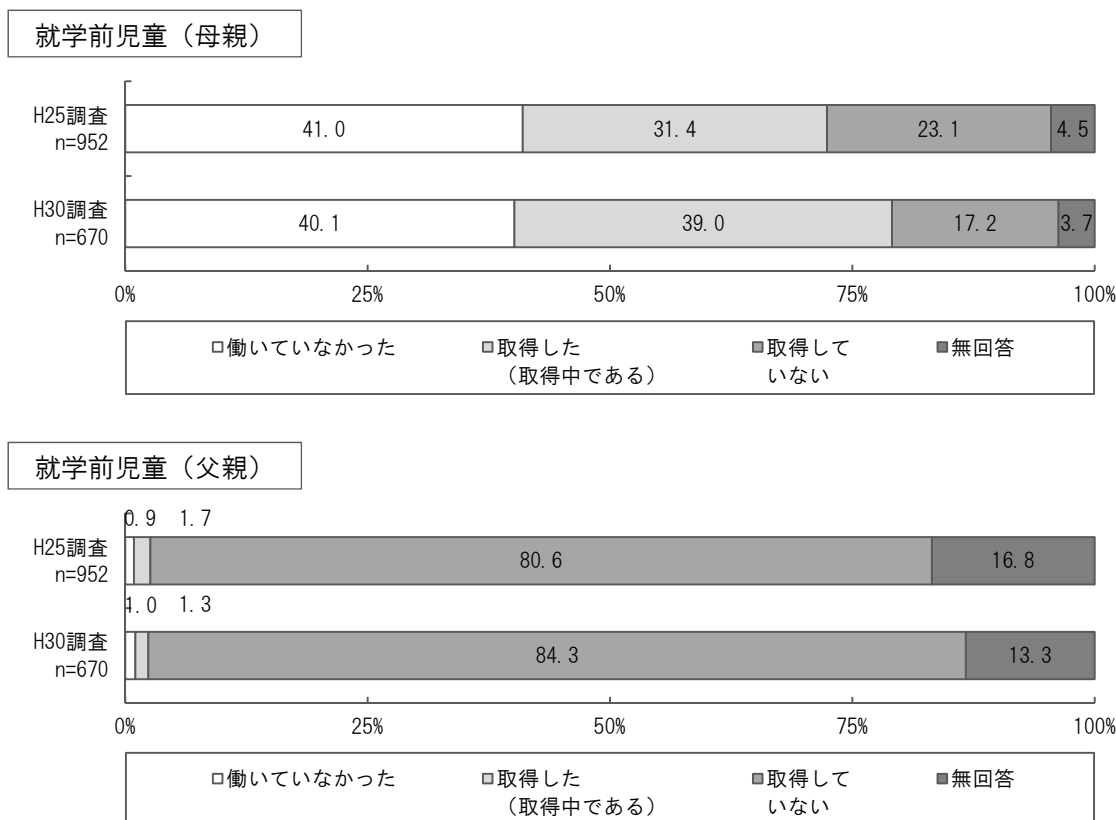
### 1 育児と仕事の両立支援制度について

#### (1) 育児休業制度の利用状況

就学前児童について育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」母親は39.0%、一方父親は1.3%という状況です。

前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は前回調査（31.4%）より7.6ポイント高くなっています。

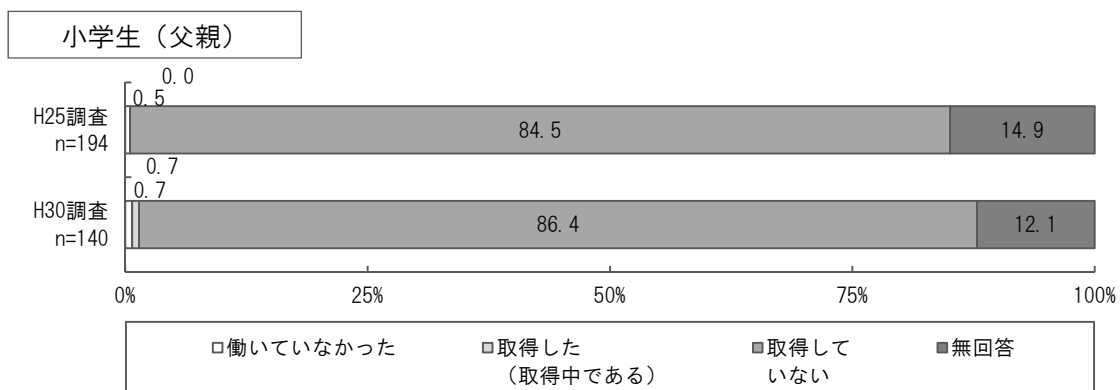
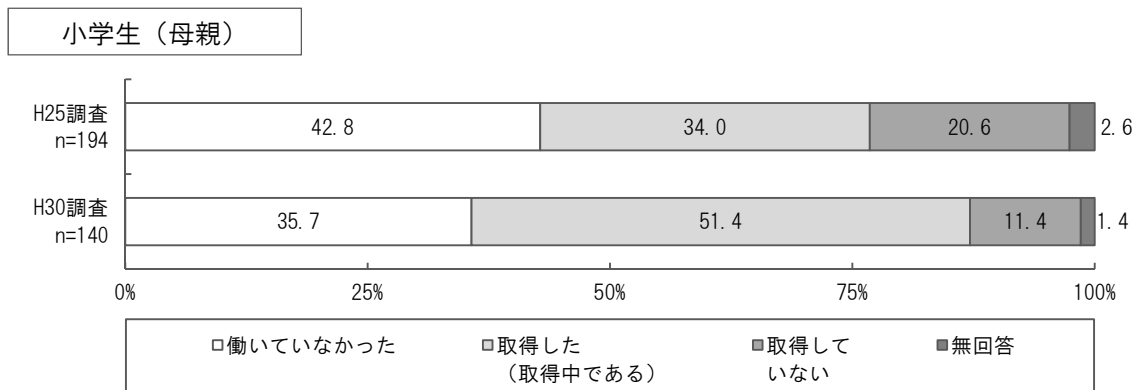
問29 育児休業制度の利用状況（経年比較）



小学生について育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」母親は51.4%、一方父親は0.7%という状況です。

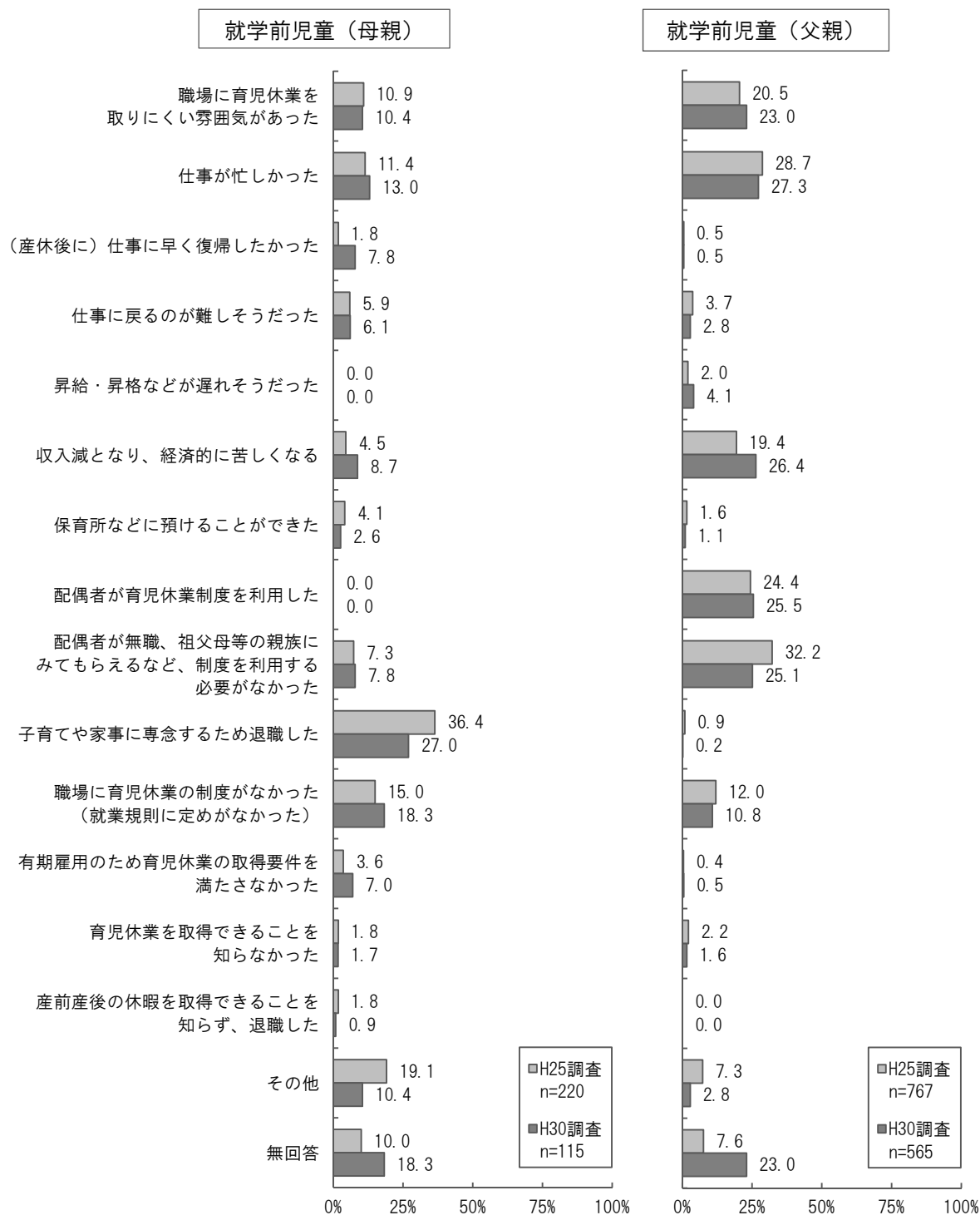
前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は前回調査（34.0%）より17.4<sup>ポイント</sup>高くなっています。

[問16] 育児休業制度の利用状況（経年比較）



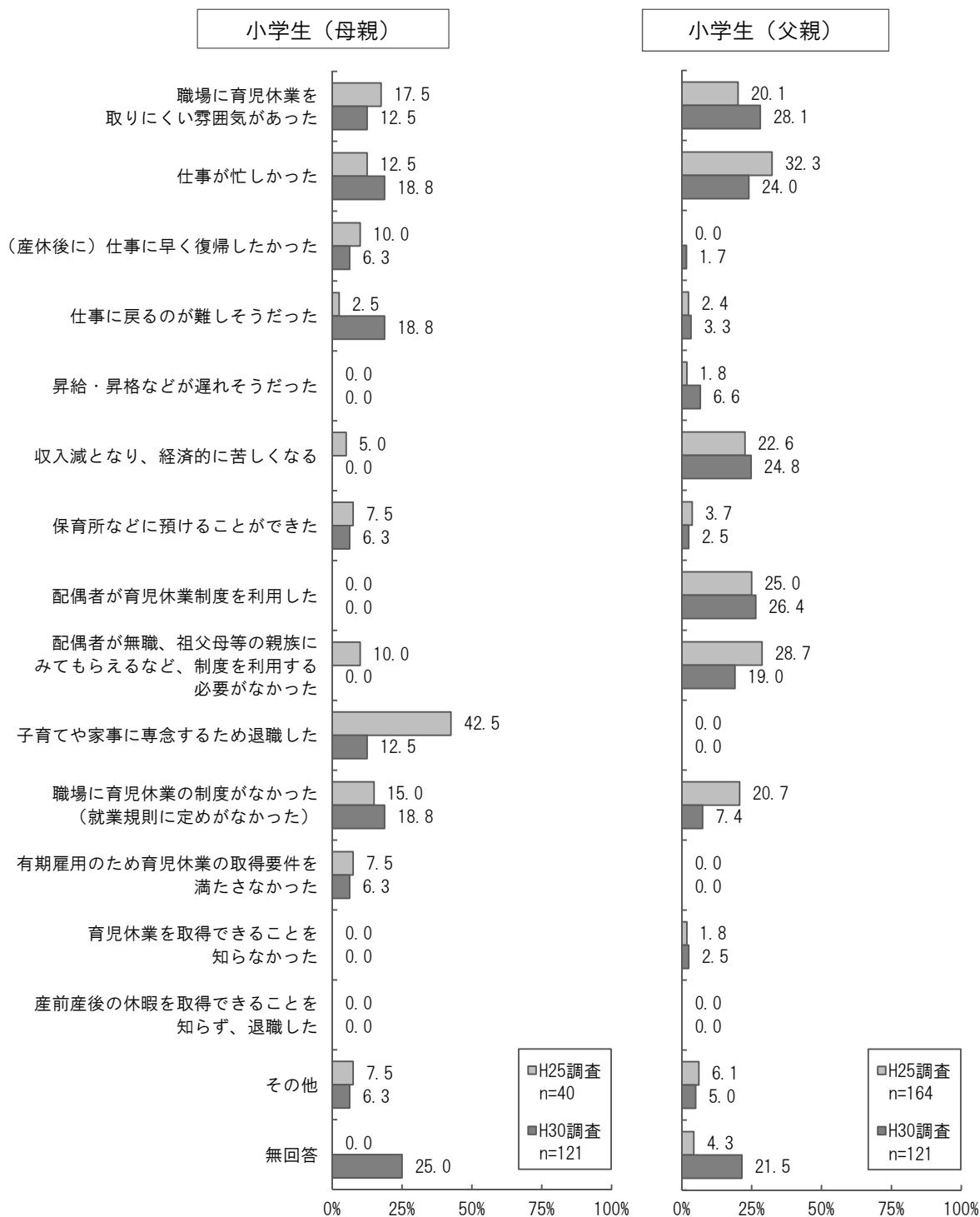
育児休業を取得していない理由について、就学前児童の母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(27.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(18.3%)、「仕事が忙しかった」(13.0%)をあげた割合が高く、一方父親は「仕事が忙しかった」(27.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(26.4%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(25.5%)など、母親の理由との違いがみられます。

問29.3 育児休業を取得していない理由(経年比較)



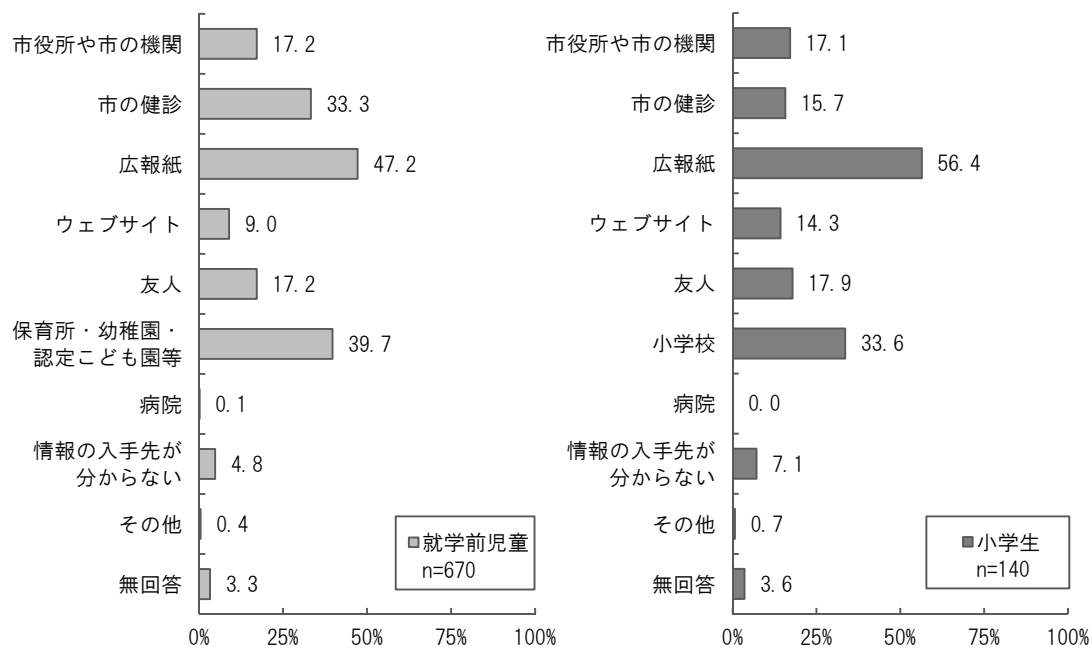
育児休業を取得していない理由について、小学生の母親は「仕事が忙しかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（各18.8%）をあげた割合が高く、一方父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（28.1%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（26.4%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（24.8%）など就学前児童の父親と同様に、母親の理由との違いがみられます。

[問16.3] 育児休業を取得していない理由（経年比較）



市の子育てに関する情報の入手方法をみると、就学前児童・小学生ともに「広報紙」(47.2%・56.4%)が最も高くなっています。次いで、就学前児童では「保育所・幼稚園・認定こども園等」(39.7%)、「市の健診」(33.3%)などとなっています。一方、小学生では、「小学校」(33.6%)、「友人」(17.9%)などとなっています。

問30[問17] 市の子育てに関する情報の入手方法

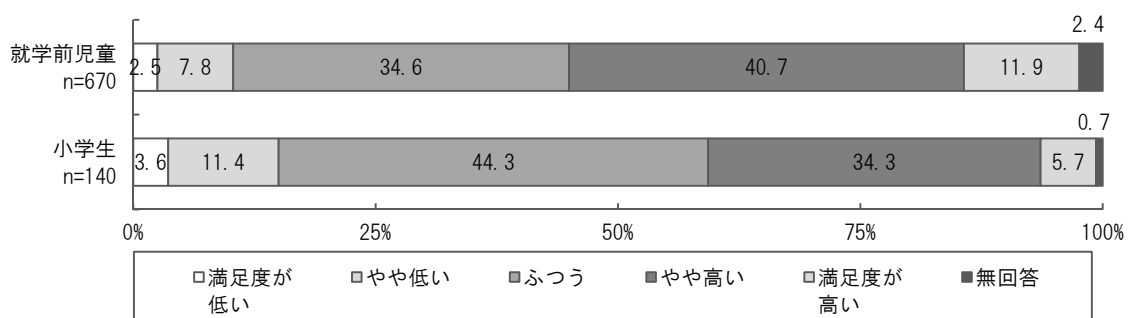


## 2 子育ての環境や支援への満足度

地域における子育ての環境や支援への満足度をみると、就学前児童では「満足度が高い」+「やや高い」が52.6%、「やや低い」+「満足度が低い」が10.3%で、前者が42.3ポイント上回っています。

小学生では「満足度が高い」+「やや高い」が40.0%、「やや低い」+「満足度が低い」が15.0%で、前者が25.0ポイント上回っています。

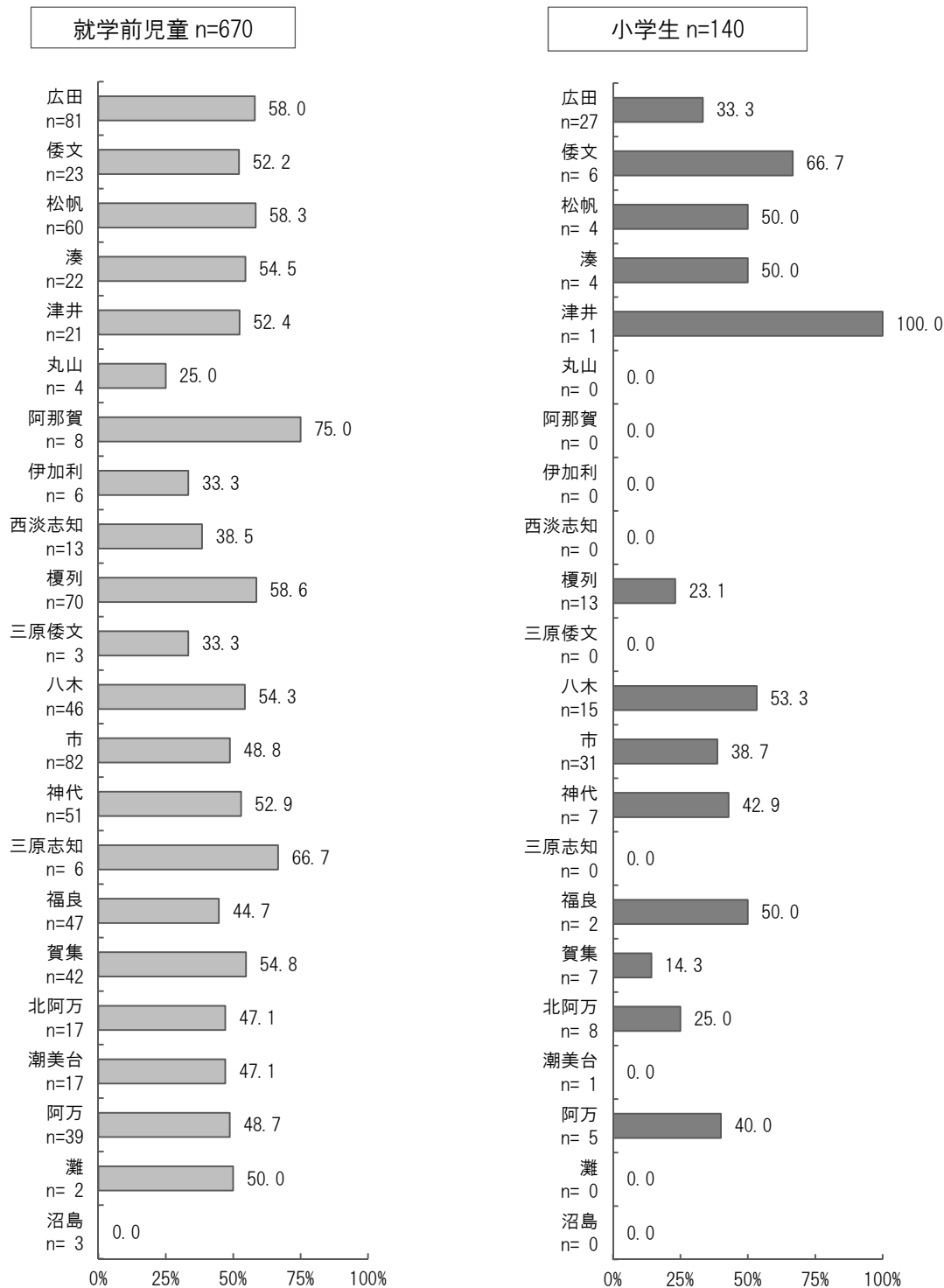
問31[問18] 地域における子育ての環境や支援への満足度





地区別の満足度をみると、就学前児童では「満足度が高い」と「やや高い」の計が高い地区は『阿那賀地区』（75.0%）となっています。

問31[問18] 地区別の満足度（「やや高い」+「満足度が高い」）





**第5章**  
**子ども・子育て支援に関する**  
**自由意見**



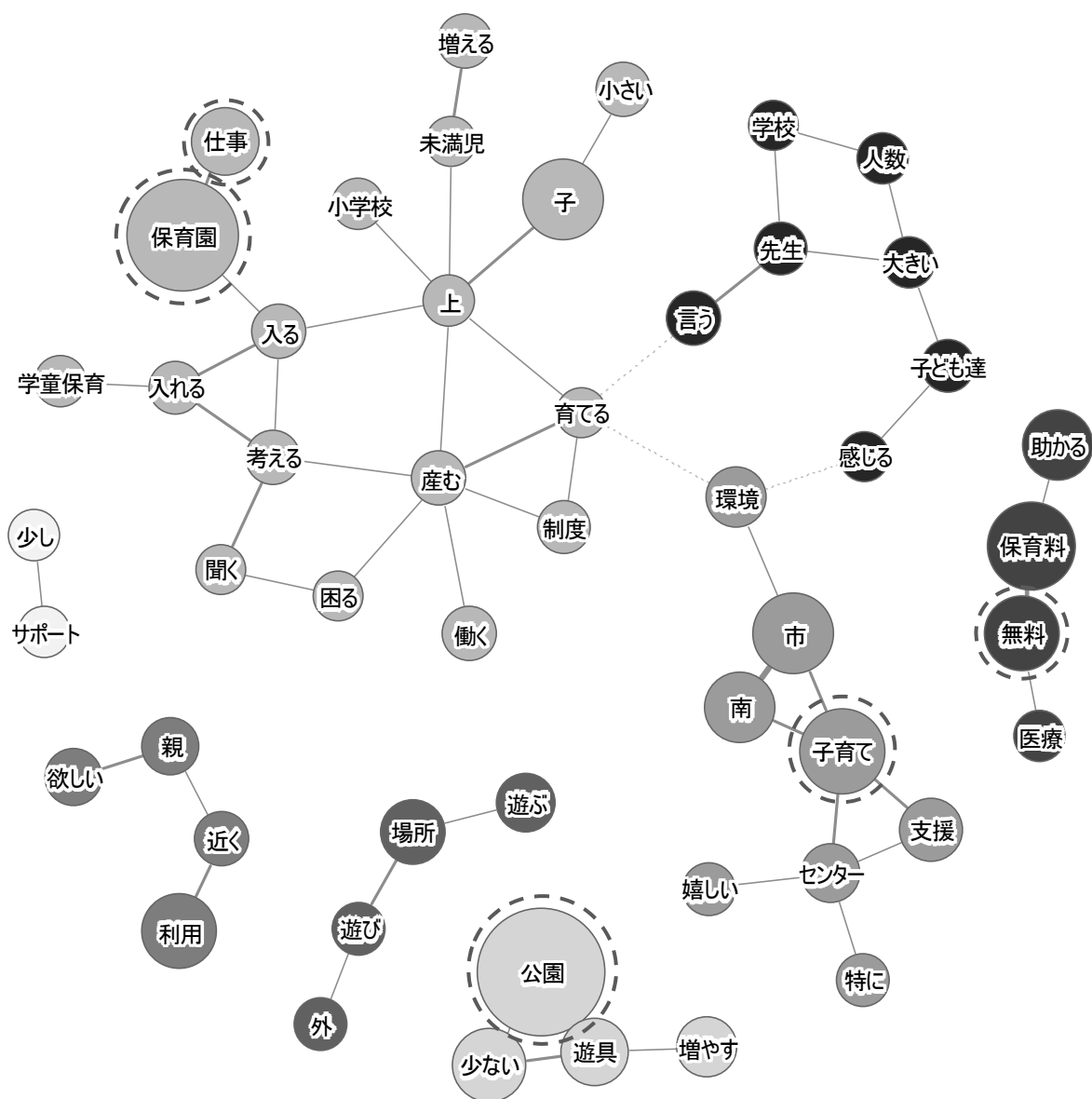
## 第5章 子ども・子育て支援に関する自由意見

### 1 就学前児童の保護者の自由意見

#### (1) 共起ネットワーク

下図は、自由意見における「言葉の出現数と、言葉どうしの結びつき」を表した共起ネットワーク図です。関連性が強いほど太い線、出現数の多い語ほど大きい円となっています。

共起ネットワーク図から関心の高い単語を抽出し、自由意見としてまとめます。



## (2) 就学前児童の保護者の自由意見

アンケート調査の自由意見内容を分類し、出現頻度の高い順に示した結果を下表にまとめました。

### ■抽出語件数

抽出語	公園	保育園	子育て	無料	仕事
件数	32	27	21	15	14

### ■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	件数	代表的な自由意見
公園	32	公園がなく子どもと遊ぶところがない。公園の整備をしてほしい。
		近くに誰でも利用できる公園がほしいです。
		もっと子どもが遊ぶ公園、遊具を増やしてほしい。
		子どもの遊ぶところが全然ない。公園が少ない。公園があっても汚れていたり、汚い。もっと子どもがのびのびと遊べるところがほしい。
		小さい子どもを遊ばせられる遊具のある公園など遊び場が少ない。
保育園	27	会社の始業時間が8時であり、保育園の開所時間が8時からだと祖父母に送迎をお願いしなければならないため、7時から預かってくれるところを作ってほしいです。7時半からの市保育園からでは通勤時間が30分かかるため8時に間に合いません。
		ちどり保育園や志知保育園だけでなく、旧三原、緑地区の保育園でも、一時保育してほしいです。
		希望する保育園に入ることができなかった。合併するなら入れる人数を増やしてほしいです。
		自営の場合でも、小さい子がいると、やりにくい仕事があるので、保育園に行かせることを許可してほしい。
		保育園に保育士さんの人数を増やしてほしいです。
子育て	21	南あわじ市は子育てに関して充実していて住みやすいと思います。
		子育て支援活動に注力しているのは分かるものの特定の人だけが利を得る状況となっており、万人受けが良いとは思えない。子育てでは、分かりにくいリテールな項目は後回しにし、分かりやすく、市民へ還元していただく事務を願う。
		障害がある子どもの親にはまだつめたい。子育てする環境が悪い、支援はまだまだ行き届いていないと感じました。
		色々な子育て支援があるようですが、本当に必要としている支援を見直してほしいです。
		南あわじ市で行っている子育て施策をもっとPRし、子育て世代が住んでみたいと移住してもらえるように環境を整えていただきたい。

抽出語	件数	代表的な自由意見
無料	15	4才（年少）から保育料が無料なので助かる。これからも続けてほしい。
		医療費が無料なので、安心して毎週療育に通えています。ありがとうございます。
		保育料の減額、延長保育を無料にしてほしい。
		おむつ用ごみ袋無料配布はありがたいですが（小）3袋より（大）2袋にしてほしい、子ども3人いたら（小）はやくにたたないので。
		保育料の無料は、とても助かっています。乳幼児医療が、所得制限なしになってくれるといいなと思います。
仕事	14	土、日、急に仕事が入るので預け先に困っています。
		現在、祖父母の助けがなかったら、フルタイムで働くことが難しい状況です。仕事と家事と育児のバランスがもう少しうまく取れるような、環境になってくれることを願っています。
		仕事のため、7時すぎには家を出ないといけないため、7時半～18時30分くらいまで（仕事おわって迎えにいける時間）どの保育園も預けることにしていただくと助かります。
		仕事が忙しいと休みにくいので病児保育もやってほしい。

## 2 小学生の保護者の自由意見

### (1) 小学生の保護者の自由意見

小学生の自由意見は少数のため、共起ネットワークの作成及び抽出語の分類は省略しています。アンケート調査の自由意見を下表にまとめました。

#### ■小学生の保護者の自由意見

自由意見
福良地区は児童館があり、学童の多数が通っています。我が子も現在、週3回通っていますが、長期休暇などはやはり、学童保育は必要になってきます。長期休暇時の学童の利用時間帯も8:00~18:00と通勤している正社員の親にとっては、厳しいものです。保育園は延長があるのに、小学1年生になると、延長がなくなるというのは、親はそこで、パートになるか考えさせられます。
学童保育の参観ができたらいいと思うことがあります。住みたい南あわじに少しでも近づくよう、支援員の資質を見極めて配置して頂きたいと思います。
学童保育の利用において、高学年になっても受け入れてほしいです。低学年優先なので。
学童保育の時間が18:00までとなっていますが、もう少し長く預かってくれたら助かります。時間延長できないでしょうか？
共稼ぎ世帯ですが、学童保育を利用させていただき、大変助かっています。学童保育は3年で終わりというのが慣例になっていますが、学童でなくても3年生以降に学童などで放課後に気軽に何か活動できるような場があったらいいなと思います。
学童保育の18時終了を19時にしてほしい。ほとんどの日は、17時までにはお迎えに行く事が出来るが、ごくごくたまに、18時ギリギリになる事がある。その日だけに限ったことなのですが、もし19時までみてもらえたら、車速を上げて慌てて迎えに行く必要がなくなります。利用者によっては、毎日19時までという場合も出てくるかと思いますが、回答者においては年に数回だけですが、~19時だったら、助かるのになあとと思います。
学童の先生いつもありがとうございます。
以前は正社員でしたが、出産を機に退社し、現在はパートで働いています。保育所も学童も平日18時までの預かりのため、正社員で働くのは不可能でした。働きたい気持ちはありましたが、南あわじ市では夜の預かり利用が出来ないため、女性が正社員として時間を気にせず働く事はなかなか難しいと感じています。
市全体として統一した環境が必要であるが、地域ごとに特色のある教育、保育環境もあってもいいのではないかと思います。〇〇地域では、〇〇といった独自の行事があるなど。
不定期な仕事の場合、土日祝日の保育が難しい。土日祝日に預けることの出来る場がもっと充実してほしい。
公園の遊具を充実化してほしい。
公園が少ないので増えたら色んなお友達もできていいなと思います。鉄棒や学校の授業でもあるのが練習とかできると良いと思います。
今回の給食停止はとても困りました。仕方のないこととはいえ、このような何日にも渡る事態のために、事前の対策を立てていただけると今後ありがたいです。
県外に習い事通いやすいよう費用負担してほしい。
南あわじ市に分娩までできる産院がほしいです。通院するのが大変です。母体にも負担が大きいです。高齢出産になるので、余計にそう思います。
色々なスポーツ活動ができる環境。人数が少なく、やりたいスポーツが出来なくなっている。



# 資料編



# 資料編

## 1 就学前児童の調査票

**就学前児童の保護者の方へ**

**南あわじ市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査のお願い**

市民の皆様におかれましては、平素より本市の教育行政に格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、平成 27 年 3 月に「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援等にかかわる様々な施策・事業を推進してまいりました。

このたび、同計画の取組を検証するとともに、次期計画策定に向けて、市民の皆様の子育てや子育て支援に関する実態、ご意見、ご要望などを把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。調査結果は、すべて統計的に処理され、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にみられたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 31 年 1 月  
南あわじ市長 守本 恵弘

**【ご記入にあたってのお願い】**

- アンケートは、お父さんの保護者の方が記入してください。  
(無記名ですべて、住所・氏名の記入は必要ありません。)
- ご回答は、選択肢に  をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 設問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で  をつけてください。  
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( ) 内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24 時間制(例:午後6時→18 時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手紙ですが所属の幼稚園・保育所・こども園、子育て学習・支援センターに提出いただくか、封筒の返送封筒に入れて、1月21日(月)までにご返送ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせください。  
南あわじ市 市民福祉部 子育てゆめるん課 電話 0799-43-5219

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

(用語の定義)  
この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼稚園：学校教育法に定める、3～5 歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第 22 条)

保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする 0～5 歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第 39 条)

認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 6 項)

子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

教育：期 15 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、期 16 以降においては幼児期の学校(幼稚園、幼保連携型認定こども園)における教育の意味で用いています

1

**お住まいの地域についてうかがいます。**

問 1 お住まいの地区はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 広田	2. 徳文	3. 松帆	4. 湊	5. 津井
6. 丸山	7. 阿那賀	8. 伊那利	9. 西浜志知	10. 櫻
11. 三原徳文	12. 八木	13. 市	14. 神代	15. 三原志知
16. 福良	17. 阿葉	18. 北阿万	19. 美美台	20. 阿万
21. 灘	22. 沼島			

**封筒の宛名のお子さんご家族の状況や考えについてうかがいます。**

問 2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)  
平成  年  月  日 生まれ

問 3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。  
※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。  
※お子さんが 2 人以上の場合は、末子の生年月日をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)  
きょうだい数  人 末子の生年月日 平成  年  月  日 生まれ

問 4 この調査票にご回答いただく方はご本人ですか、宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親  2. 父親  3. その他( )

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる  2. 配偶者がいない

問 6 初婚年齢は何歳でしたか。(□内に数字でご記入ください)  
母親  歳 父親  歳

問 6-1 第 1 子出産時の母親の年齢は何歳でしたか。(□内に数字でご記入ください)  
母親  歳

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に任せているのはご本人ですか。  
※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに  2. 主に母親  3. 主に父親  4. 主に祖父 5. その他( )

問 8 予定子ども数と理想の子ども数は何人ですか。(□内に数字でご記入ください)  
予定子ども数  人 理想の子ども数  人  
※予定子ども数は、夫婦が実際に持つつもりの子どもの数を指します。

2

問 8-1 問 8 で予定子ども数と理想子ども数を下回る世帯の方にはうかがいます。  
その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	2. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
3. 家が狭いから	4. 高齢で雇用の確保が難しいから
5. 欲しけれどもできないから	6. 健康上の理由から
7. これ以上、育児の心理的負担に耐えられないから	8. 夫の家事・育児への協力が得られないから
9. 夫が夫の定年退職までに成人して欲しいから	10. 夫が望まないから
11. 子どもがのびのび育つ社会環境でないから	12. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
13. その他( )	

問 8-2 問 8 で予定子ども数と理想子ども数と同じ、または上回る世帯の方にはうかがいます。  
その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 保育料や医療費の無料化などの負担軽減制度があるから	2. 経済的に余裕ができたから
3. 祖父母や親族が子どもの面倒をみてくれるから	4. 夫が家事や育児を積極的に手伝ってくれるから
5. 育児や子どもとの生活が楽しいから	6. 保育や教育サービスが充実しているから
7. その他( )	

**宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。**

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭  2. 地域  3. 幼稚園  4. 保育所

5. 認定こども園  6. その他( )

問 10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある ⇒ 問 10-1へ 2. いない/ない ⇒ 問 11へ

問 10-1 問 10 で「1. いる/ある」に○をつけた方にはうかがいます。  
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族、家族	2. 友人や知人、職場の人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設(子育て学習・支援センター)の職員
5. 児童館の職員	6. 保育士、保育教諭
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 市役所の窓口
11. その他( )	

3

問11 父親の休日の家事・育児の時間(1日当たり)は何時間ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 家事・育児時間なし	2. 2時間未満	3. 2時間以上4時間未満
4. 4時間以上6時間未満	5. 6時間以上	

問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。**

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(母親、父親それぞれあてはまる番号1つに○)  
※ひとり親家庭の場合は母親または父親のみお答えください。

選択肢	母親	父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度(週40時間以上)の就労)で就労しており、育児・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度(週40時間以上)の就労)で就労しているが、育児・介護休業中である	2	2
3. 「フルタイム以外」で就労しており、育児・介護休業中ではない	3	3
4. 「フルタイム以外」で就労しているが、育児・介護休業中である	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

※正社員・アルバイト等の雇用形態に関わらず、通常時の勤務シフトで週40時間未満の就労であれば、「フルタイム以外」とします。

問13-1 問13で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。  
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。(□内に数字をご記入ください)  
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	1週当たり <input type="text"/> 日程度	1日当たり <input type="text"/> 時間程度
父親	1週当たり <input type="text"/> 日程度	1日当たり <input type="text"/> 時間程度

問14 問13で「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。⇒ 該当し4択、問16へフルタイムへの転換希望はありますか。(母親、父親それぞれあてはまる番号1つに○)

選択肢	母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. 「フルタイム以外」の就労を続けることを希望	3	3
4. 「フルタイム以外」の就労もやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問15 問13で「5」「6」に○をつけた方にうかがいます。⇒ 該当し4択、問16へ就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)  
※該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったときに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

一希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	<input type="checkbox"/>
② ハートタイム・アルバイト等(①以外)	<input type="checkbox"/>
→1週当たり <input type="text"/> 日程度 1日当たり <input type="text"/> 時間程度	

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったときに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

一希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	<input type="checkbox"/>
② ハートタイム・アルバイト等(①以外)	<input type="checkbox"/>
→1週当たり <input type="text"/> 日程度 1日当たり <input type="text"/> 時間程度	

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。**

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問16-1に示した事業が含まれます。

問16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している ⇒ 問16-1へ      2. 利用していない ⇒ 問16-3へ

問16-1 問16で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。  
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。  
※年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)  
※不明の場合、その他に具体的な施設名をご記入ください。

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所【公立】(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	4. 認可保育所【私立】(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
5. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	6. 小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認定を受けた定員が6～19人のもの)
7. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを預かる事業)	8. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
9. その他認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. その他( )	

※ 南あわじ市では現在4、7、10の事業は実施していません。  
※ 南あわじ市の各事業に該当する施設は以下のとおりです。  
6. 小規模保育施設：おしま保育園  
8. 事業所内保育施設：すくすく保育園、若者園保育所  
9. その他認可外の保育施設：翠嵐第一病院、平成病院、中林病院等の保育室

問16-2 問16で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。  
平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。  
※1週当たり何日程度、1日当たり何時間程度(何時台から何時台まで)かを、□内に数字でご記入ください。  
※時間(時刻)は、必ず(例)08時台、18時台のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり  日程度

1日当たり  時間程度(  時  分 ~  時  分 )


(2) 希望

1週当たり  日程度

1日当たり  時間程度(  時  分 ~  時  分 )

問16-3 問16で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)  
※「8」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。  
※理由が複数ある場合は、すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため、子どもの年齢が父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため( <input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている )
9. その他( )



ゆるん  
南あわじ市の子育て支援キャラクター

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(事業ごとにあてはまる番号1つに○)  
※①～⑩の事業のうち、最も利用したい事業1つをカッコ内に丸数字を記入してください。  
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかるものがありますが、回答にあたっては、それぞれの事業が無償である場合も想定した上でお答えください。

教育・保育事業の内容	利用意向		
	1.利用料がかかっても、利用したい	2.無償であれば、利用したい	3.利用したいとは思わない
①幼稚園(通常の就園時間の利用)	1	2	3
②幼稚園+幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1	2	3
③認可保育所(公立)(園が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	1	2	3
④認可保育所(私立)(園が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	1	2	3
⑤認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	1	2	3
⑥小規模保育施設(園が定める最低基準に適合した施設で市町村の認定を受けた定員概ね6～19人のもの)	1	2	3
⑦家庭内保育(保育者の家庭等で以下の子どものみを保育する事業)	1	2	3
⑧事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	1	2	3
⑨その他認可外の保育施設	1	2	3
⑩宅宅型児童保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	1	2	3
※その他( )	1	2	3

問17-1 問17で「①幼稚園」「②幼稚園+幼稚園の預かり保育」に「1」または「2」に○をつけ、かつ①～⑩のいずれかの事業にも「1」または「2」に○をつけたい方へ。  
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育も含む)の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)  
1. はい 2. いいえ

**宛名のお子さんの子育て学習・支援センター等の利用状況についてうかがいます。**

問18 宛名のお子さんは、現在、子育て学習・支援センターを利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

1. 子育て学習・支援センター(親子が集まって遊んだり、相談したり、情報提供を受けたりする事業)  
1週当たり  回 程度 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

2. その他市内で実施している類似の事業(団体名: )  
1週当たり  回 程度 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

3. 利用していない

問19 子育て学習・支援センターについて、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号1つに○)  
※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。  
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい  
1週当たり  回 程度 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
1週当たり 更に  回 程度 もしくは 1ヶ月当たり 更に  回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。  
※①～⑧の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。  
※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①母親学級および保護センターの開催・相談サービス	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
②保育所、幼稚園、こども園の園庭等の開放	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
③子育て学習・支援センター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
④在宅子育て応援事業	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑤子育て応援カード(ゆめんカード)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑥赤ちゃんおでかけ応援事業	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑦子育て支援ハンドブック	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑧ファミリー・サポート・センター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

※「赤ちゃんおでかけ応援事業」…赤ちゃん連れでお出かけしやすいように、新生児の保護者へおむつ替えタオルなどを配布したり、公共施設にベビーベッド、トイレ用ベビーシートなどを設置したりしています。

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。  
(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○  
※希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。  
(例) 08時台、18時台のように24時間制でご記入ください。  
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。  
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含まれません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯  
時 分  
分 分

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯  
時 分  
分 分

問21-1 問21の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方へ。  
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手回しが必要のため 4. 息抜きのため  
5. その他( )

問22 「幼稚園」を利用している方へ。  
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)  
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。  
(例) 08時台、18時台のように24時間制でご記入ください。  
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない  
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯  
時 分  
分 分

問22-1 問22で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方へ。  
毎日はなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため  
3. 親等、親族の介護や手回しが必要のため 4. 息抜きのため  
5. その他( )

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ)**

問23 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているご養育者の方(問16で「1」に○をつけた方)へ。  
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)  
1. あった ⇒ 問23-1へ 2. なかった ⇒ 問24へ

問23-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間にを行った対応方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ、おおよその日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日と数えます。)

1年間の対応方法	日数	
	日	回
1. 父親が休んだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 母親が休んだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. (両者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 病児の保育を利用した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 病後児の保育を利用した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. ベビーシッターを利用した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. その他( )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問23-2 問23-1で「1」「2」のいずれかに○をつけた方へ。  
その際、保育施設等の利用について、どのように思いましたか。(あてはまる番号1つに○)  
※日数についても口内に数字でご記入ください。(1年間で考えください)  
※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒  日  
2. 利用したいとは思わない

**宛名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問24 宛名のお子さんについて、定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の遠発、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日
4. 夜間看護等事業: トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保育する事業)	<input type="text"/> 日
5. ハビシューター	<input type="text"/> 日
6. その他( )	<input type="text"/> 日
7. 利用していない	

問24-1 問24で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるかどうかかわらない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他( )	

問25 宛名のお子さんについて、私用、親の遠発、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。  
(あてはまる番号・丸数字すべてに○)  
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。  
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
① 私用(親の用、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の近い事等)、 リフレッシュ目的 (例) 放課後児童クラブ、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の遠発 等	<input type="text"/>	<input type="text"/>
② 定期的な就労	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③ 不定期の就労	<input type="text"/>	<input type="text"/>
④ その他( )	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2. 利用する必要はない

問26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを預りだけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんでしたが(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)  
※それぞれの箱数も口内に数字でご記入ください。

1年間の対応方法	泊数
1. あった	
① (同郷者を含む)親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業)	<input type="text"/> 泊
③ 上記、②以外の保育事業 (認可外保育施設、ハビシューター等)を利用した	<input type="text"/> 泊
④ 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 泊
⑥ その他( )	<input type="text"/> 泊
2. なかった	

**宛名のお子さんが4歳児(平成26年4月1日以前に生まれた方)以上の方に、  
放課後の過ごし方の希望をうかがいます。**

⇒ 4歳児未満の方は、頁29へ

問27 宛名のお子さんが小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する適当な日数を口内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。  
(例) 18時台のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
2. 祖父母宅や友人・知人家	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
4. 児童館	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
5. 放課後子ども教室 <sup>※1</sup>	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
6. 放課後児童クラブ(学童保育) <sup>※2</sup>	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日 以下校時から
7. ファミリー・サポート・センター	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
8. その他(公民館、公園、図書館など)	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日

※1「放課後子ども教室」…学校帰りには毎日1~2回、宿題をしたり、遊んだり、いろいろな事を学ぶ場です。ボランティアスタッフと一緒に楽しく過ごす場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2「放課後児童クラブ」…保護者が仕事などの理由により、児童が放課後、家に帰っても保護者がいない小学校の児童を受け入れる事業です。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問28 宛名のお子さんが小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する適当な日数を口内に数字でご記入ください。  
(例) 18時台のように24時間制でご記入ください。  
※18時台のことになりますので、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
2. 祖父母宅や友人・知人家	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
4. 児童館	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
5. 放課後子ども教室	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日 以下校時から
7. ファミリー・サポート・センター	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
8. その他(公民館、公園、図書館など)	選 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 日

**育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
※取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親(いづれかに○)	(2) 父親(いづれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

⇒ 取得していない理由  
(下から番号を選んで記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が終わった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に復帰するのが遅れそうだった
5. 育児・育児などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

次頁にも選択肢があります

10. 子育てや家事に専念するための退職した

11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できなかった
14. 産前産後の休暇(産前8週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他 母親( )
父親( )

問30 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまる番号2つまでに○)

1. 市役所や市の機関	2. 市の健診	3. 広報紙
4. ウェブサイト	5. 友人	6. 産前産後・幼稚園・認定こども園等
7. 病院	8. 情報の入手先が分からない	9. その他( )

問31 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
同封の封筒(切手は貼らず)に入れ、  
所属の幼稚園・保育所、こども園、子育て学習・支援センターに  
提出いただくか、  
1月21日(月)までに郵便ポストへご投函ください。

## 2 小学生の調査票

**小学生の保護者の方へ**

**南あわじ市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査のお願い**

市民の皆様におかれましては、平素より本市の教育行政に格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、平成 27 年 3 月に「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援等にかかわる様々な施策・事業を推進してまいりました。

このたび、国計画の取組を検証するとともに、次期計画策定に向けて、市民の皆様の子育てや子育て支援に関する実態、ご意見・ご要望などを把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。調査結果は、すべて統計的に処理され、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にみられたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 31 年 1 月  
南あわじ市長 守本 憲弘

**【ご記入にあたってのお願い】**

- アンケートは、お父さん、お母さん、お祖父さん、お祖母さんが記入してください。（無記名です。住所・氏名の記入は必要ありません。）
- ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 設問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：午後6時→18 時）で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや封印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手紙ですがご利用の児童保育へ提出するか、同封の返送封筒に入れて、1月21日（月）までにご返送ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

**南あわじ市 市民福祉部 子育てゆめる課 電話 0799-43-5219**

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

**（用語の定義）**  
この調査票における用語の定義は以下のとおり

**子 育 て**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

**教 育**：家庭での教育を含めた広い意味の教育

**保 育 所**：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第 39 条）

**お住まいの地域についてうかがいます。**

問 1 お住まいの地区はどこですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 田中	2. 徳文	3. 松原	4. 湊	5. 津井
6. 丸山	7. 岡部	8. 伊加利	9. 西浜志知	10. 榎列
11. 三原徳文	12. 八木	13. 市	14. 神代	15. 三原志知
16. 福良	17. 興興	18. 北岡万	19. 湖美台	20. 岡万
21. 瀬	22. 忍島			

1

**封筒の宛名のお子さんご家族の状況や考えについてうかがいます。**

問 2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）  
平成 □ □ 年 □ □ 月 □ □ 生まれ

問 3 この調査票にご回答いただく方は何人ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）  
1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問 4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）  
1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問 5 初婚年齢は何歳でしたか。（□内に数字でご記入ください）  
母親 □ □ 歳 父親 □ □ 歳

問 5-1 第 1 子出産時の母親の年齢は何歳でしたか。（□内に数字でご記入ください）  
母親 □ □ 歳

問 6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのは何人ですか。  
※お父さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）  
1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父 5. その他（ ）

問 7 予定子ども数と理想子ども数は何人ですか。（□内に数字でご記入ください）  
予定子ども数 □ 人 理想子ども数 □ 人  
※予定子ども数は、夫婦が実際に持つつもりの子どもの数を指します。

問 7-1 問 7 で予定子ども数と理想子ども数を下回る世帯の方についてうかがいます。  
その理由は何か。（あてはまる番号すべてに○）

- 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
- 家が狭いから
- 高齢で産むのが嫌だから
- 欲しいけれどもできないから
- 健康上の理由から
- これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられ、夫の家事・育児への協力が得られないから
- 夫の収入が足りないから
- 夫が望まないから
- 子どもがひびひやアトピーで悩んでいるから
- 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- その他（ ）

問 7-2 問 7 で予定子ども数と理想子ども数と同じ、または上回る世帯の方についてうかがいます。  
その理由は何か。（あてはまる番号すべてに○）

- 保育料や幼稚園費の無償化などの負担軽減策があるから
- 経済的に余裕ができたから
- 祖父母や親類が子どもの面倒をみてくれるから
- 夫が家事や育児を積極的に手伝ってくれるから
- 育児や子どもとの生活が楽しいから
- 保育や教育サービスが充実しているから
- その他（ ）

2

**宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。**

問 8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）  
1. 家庭 2. 地域 3. 小学校 4. その他（ ）

問 9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（あてはまる番号1つに○）  
1. いる/ある ⇒ 問 9-1 へ 2. いない/ない ⇒ 問 10 へ

問 9-1 問 9 で「いる/ある」に○をつけた方についてうかがいます。  
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- 祖父母等の親族、家族
- 友人や知人、職場の人
- 近所の人
- 放課後児童クラブ（学童保育）支援員
- 放課後子ども教室スタッフ
- 児童館の職員
- 小学校の先生
- 民生委員・児童委員
- 社会体育指導者
- 読や読い事の先生
- かかりつけの医師
- 市役所の窓口
- その他（ ）

問 10 父親の休日の家事・育児の時間（1日当たり）は何時間ですか。（あてはまる番号1つに○）  
1. 家事・育児時間なし 2. 2時間未満 3. 2時間以上4時間未満  
4. 4時間以上6時間未満 5. 6時間以上

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。**

問 12 宛名のお子さんの平日の放課後児童クラブ（学童保育）の週当たり利用日数、利用している時間帯をお答えください。（□内に数字でご記入ください）  
（例）18 時のように 24 時間開通でご記入ください。

1 週当たり □ 日程度  
1 日当たり □ □ 時間程度（ □ 時 □ 分 ~ □ 時 □ 分）

3

問13 宛名のお子さんが放課後児童クラブ（学童保育）を利用している理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 保護者が働いている
2. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
3. 保護者がご自身や配偶者の病、親せきの介護をしている
4. 保護者に病気や障がいがある
5. 保護者が学生である
6. その他（ ）

問14 宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にかがいます。⇒ 小学校4～6年生の方は、問15へ放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する適当な日数を口内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。  
（例）18時台のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅  日  日  日
2. 祖父母宅や友人・知人宅  日  日  日
3. 塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）  日  日  日
4. 児童館  日  日  日
5. 放課後子ども教室  日  日  日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）  日  日  日

利用したい時間帯

【平日】	下校時～	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【土曜日】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【日曜・祝日】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【夏・冬休み】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）  日  日
8. その他（公民館、公園、図書館など）  日  日

※1「放課後子ども教室」…学校内に毎日毎週1～2回、宿題をしたり、遊んだり、いろんな事を学ぶ場です。ボランティアスタッフと一緒に楽しく過ごす場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。  
※2「放課後児童クラブ」…保護者が仕事などの理由により、児童が放課後、家に帰っても保護者がいない小学校の児童を受け入れる事業です。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問15 すべての方（お子さんが小学校1～3年生の方も含む）にかがいます。小学校4～6年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する適当な日数を口内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。  
（例）18時台のように24時間制でご記入ください。  
※小学校1～3年生の方は、たいむ先生のことにながさず、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅  日  日
2. 祖父母宅や友人・知人宅  日  日
3. 塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）  日  日
4. 児童館  日  日
5. 放課後子ども教室  日  日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）  日  日

利用したい時間帯

【平日】	下校時～	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【土曜日】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【日曜・祝日】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【夏・冬休み】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）  日  日
8. その他（公民館、公園、図書館など）  日  日

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問16 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）  
※取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親（いずれかに○）	(2) 父親（いずれかに○）
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働いていなかった</li> <li>2. 取得した（取得中である）</li> <li>3. 取得していない</li> </ol> <p>⇒ 取得していない理由（1から番号を選んで記入ください） （いくつでも）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働いていなかった</li> <li>2. 取得した（取得中である）</li> <li>3. 取得していない</li> </ol> <p>⇒ 取得していない理由（1から番号を選んで記入ください） （いくつでも）</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった</li> <li>2. 仕事が忙しかった</li> <li>3. （産休後）仕事に早く復帰したかった</li> <li>4. 仕事に求めるのが難しくなった</li> <li>5. 昇給・昇格などが遅れそうだった</li> <li>6. 収入減となり、経済的に苦しくなる</li> <li>7. 保育園などに預けることができた</li> <li>8. 配偶者が育児休業制度を利用した</li> <li>9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかった</li> <li>10. 子育てや家事に専念するため退職した</li> <li>11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）</li> <li>12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった</li> <li>13. 育児休業を取得できることを知らなかった</li> <li>14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した</li> <li>15. その他 母親（ ） 父親（ ）</li> </ol>	

問17 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 市役所や市の機関
2. 市の健診
3. 広報紙
4. ウェブサイト
5. 友人
6. 小学校
7. 病院
8. 情報の入手先が分からない
9. その他（ ）

問18 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。（あてはまる番号1つに○）


満足度が低い ← 満足度が高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

問19 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
ご利用の学童保育に提出いただくか、同封の封筒（切手は貼らず）に入れ、1月21日（月）までに郵便ポストへご投函ください。

ゆめろん



南あわじ市学童保育





第二期南あわじ市  
子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査結果報告書

発行日 平成 31 年 3 月

発行元 南あわじ市 市民福祉部 子育てゆめるん課

住 所 〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22 番地 1

TEL 0799-43-5219

FAX 0799-43-5319

URL [http:// www.city.minamiawaji.hyogo.jp](http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp)

